JUSTIO
複合機

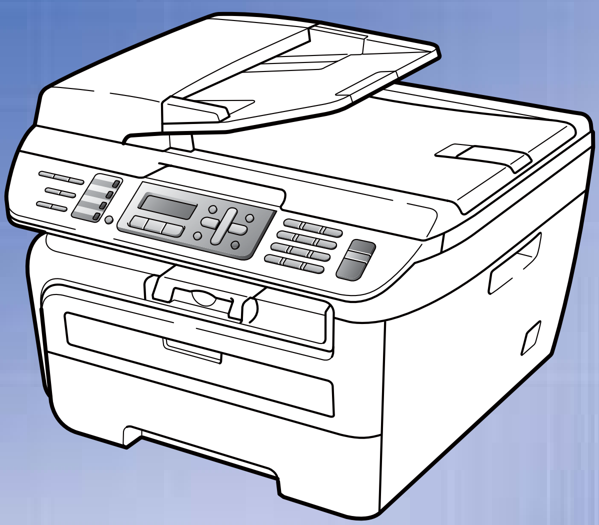
brother

MFC-7340
MFC-7840W

ユーザーズガイド

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

付属のCD-ROMから「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を見ることができます。本製品の使い方やネットワーク、ソフトウェアの設定など知りたい情報をすばやく探せます。
詳しくは本書2ページを参照してください。



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 6章「こんなときは」で調べる 133ページ

2 サポート　ブラザー　検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

Version A JPN

やりたいことがすぐ探せる！ やりたいこと目次 10P

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』で設置が終了したら、目的に応じてユーザーズガイドを活用してください。「画面で見るマニュアル」（HTML形式）の詳しい説明は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）の表示画面と操作」P.24 を参照してください。

冊子

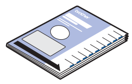
はじめにお読みください

「かんたん設置ガイド」

・設置する
・パソコンへの接続
・ドライバのインストール

ファクス/コピーの基本的な使い方を知りたい

「ユーザーズガイド」（本書）



・ファクスを送る
・コピーする
・日常のお手入れ
・消耗品や部品の交換

使いたい機能をすばやく探せます

HTML（CD-ROM）

「画面で見るマニュアル」（HTML形式）

以下の内容が含まれています

■「ユーザーズガイド」

・ファクス/プリンタ/コピーの使いかた
・トラブルがおきたときの対処方法
・消耗品の注文

■「パソコン活用ガイド」

・プリンタとして使う
・スキャナとして使う
・パソコンからファクスを送受信する
・Control Centerで便利に使う

■「ネットワーク設定ガイド」（MFC-7840Wのみ）

・ネットワークにつないで使う
・ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定

サポートサイトからダウンロードしてください

PDF

「パソコン活用ガイド」

「かんたん設置ガイド」

「ネットワーク設定ガイド」（MFC-7840Wのみ）

「ユーザーズガイド」

補足

ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF 版）、ネットワーク設定ガイド（PDF 版）、および最新のユーザーズガイドは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

「画面で見るマニュアル」を閲覧するには

CD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」を閲覧したいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合
パソコンにドライバをインストールすると、「画面で見るマニュアル」も自動的にインストールされます。

閲覧方法
(1) 画面左下の[スタート]メニューから、[プログラム(すべてのプログラム)]－[Brother]を選択する
(2) 本製品の機種名「MFC-XXXX」を選択する
(3)「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を選択して、クリックする

補足
付属のCD-ROMからも[画面で見るマニュアル]を閲覧することができます。メイン画面が表示されたら、[画面で見るマニュアル]－[画面で見るマニュアル(HTML形式)]を選んでください。

Macintosh®の場合
(1) 付属のCD-ROMをMacintosh®のCD-ROMドライブにセットする
(2)「Documentation」をダブルクリックする
(3)「MFC-XXXX_JpnTop.html」をダブルクリックする
「画面で見るマニュアル」が表示されます。

最新のドライバや、ファームウェア(本体ソフトウェア)を入手するときは?

弊社ではソフトウェアの改善を継続的におこなっております。
最新のドライバやファームウェアをサポートサイト(ブラザーソリューションセンター)よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

ドライバを新しくすることで、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルのあるときは、ファームウェア(本体ソフトウェア)を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、http://solutions.brother.co.jp/ へ

目　次

ファクス受信

電話帳

ナンバー・ディスプレイ

転送機能

その他の機能

画面で見るマニュアル（HTML 形式）の閲覧方法は、P.3 を参照してください。

- ●プリンタ
- ● PC-FAX
- ●リモートセットアップ
- ●ネットワーク（MFC-7840W のみ）

やりたいこと目次

各機能をご利用になる前に「第1章 ご使用の前に」を必ずお読みください。

ファクス

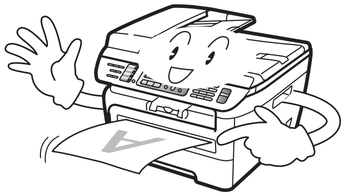
簡単に送信したい。（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル）

P.78

着信音を鳴らさずにファクスを受信する。（自動受信）

P.53

- 電話のときは、呼出音が鳴ります。

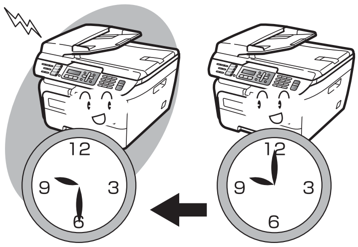


画質を調整したい。（画質調整）

P.84

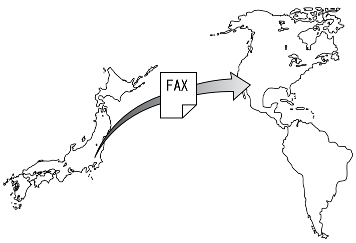
指定した時刻に送信したい。（タイマー送信）

P.92



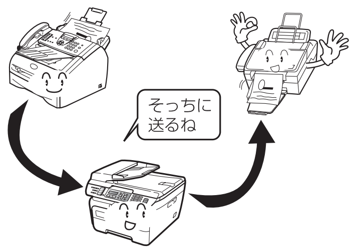
海外に送信したい。（海外送信）

P.91



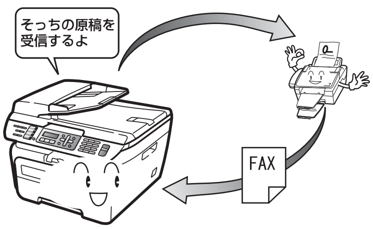
外出先で受信したい。（ファクス転送）

P.108



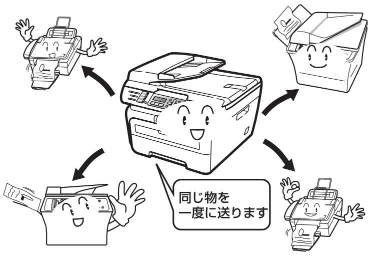
受信側ファクシミリからの操作で原稿を受け取りたい。（ポーリング）

P.98



複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。（同報送信）

P.87

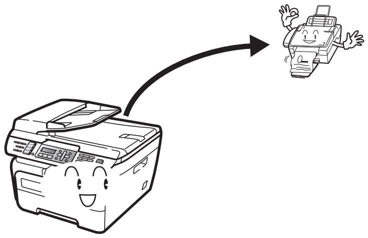


ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい。

P.68

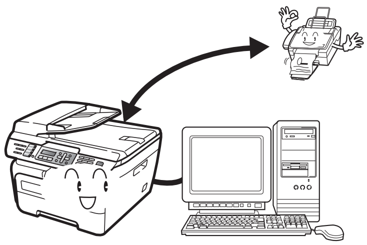
ファクスを送信する前に番号を確認してから送りたい。

P.82



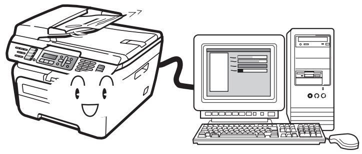
パソコンからファクスを送受信したい。（PCファクス）

受信についてはP.112、送信については画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。



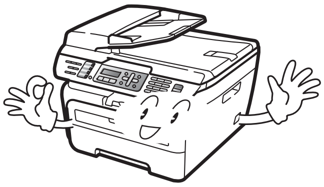
パソコンを使って短縮ダイヤルなどの設定を簡単に行いたい。

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。



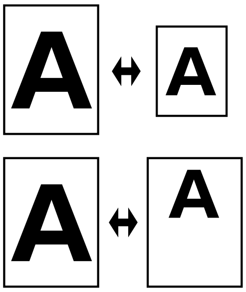
コピー

たくさんの文書を連続コピーしたい。（ADF：自動原稿送り装置）P.126

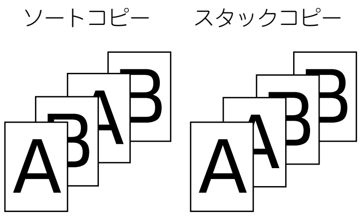


拡大/縮小コピーしたい。

P.128

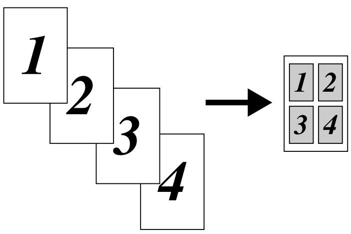


効率よく複数部コピーしたい。P.130



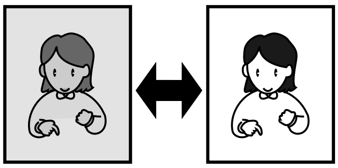
2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙にまとめてコピーしたい。（2 in 1、4 in 1）

P.130



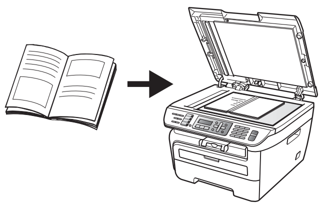
コントラストを変えたい。

P.129、P.132



本などの原稿を原稿台ガラスからコピーしたい。

P.127

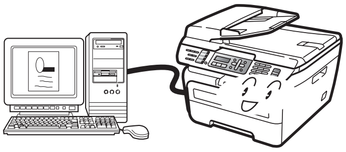


本書の使い方・目次
ご使用の前に
ファクス・電話帳
転送・リモコン機能
レポート・リスト
コピー
こんなときは
付録（索引）

プリンタ

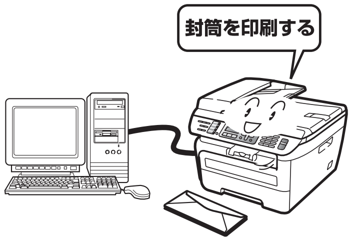
パソコンからプリントしたい。

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。



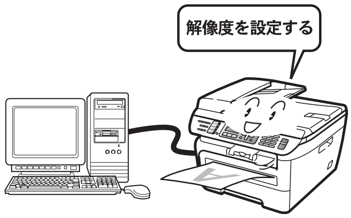
封筒に印刷したい。

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。



設定を変更してプリントしたい。

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

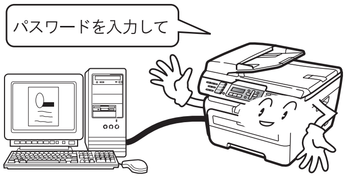


ネットワークプリンタとして使いたい。（MFC-7840Wのみ）

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

パスワードを入力したデータだけを印刷するように設定したい。（セキュリティ印刷）（MFC-7840Wのみ）

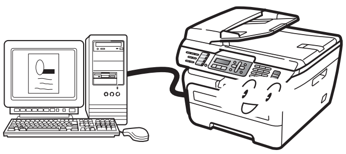
詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。



スキャナ

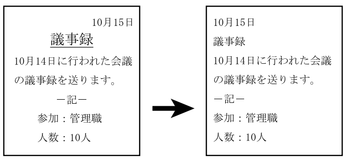
文字や写真をそのままパソコンのデータにしたい。

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。



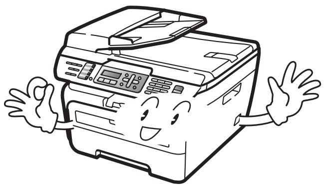
画像ファイルをテキストファイルに変換したい。

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。



スキャンしたデータをFTP送信、保存したい。（MFC-7840Wのみ）

詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。



消耗品の回収リサイクルのご案内

http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザー　回収　［検索］

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製消耗品がございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

回収対象となる消耗品
・トナーカートリッジ　・ドラムユニット

安心と信頼の修理サービス

無償　ブラザーサービスエクスプレス

SERVICE EXPRESS　複合機　1年間無償保障

製品ご購入後１年間無償保証いたします。※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

有償　サービスパック3・4・5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入/ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入いただけます。

有償　サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

※ 各サービスパックには、技術料/部品代が含まれます。
※ 出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
出張修理契約には、出張料が含まれております。
※ サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問合せください。
TEL：052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

放散に関する認定基準

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。
（トナーは本製品用に推奨しております TN-26J を使用し、印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

VCCI 規格

この機器は、クラス B 情報技術装置です。この機器は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968 年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラス I レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

⚠ 警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検･調整･修理は、販売店にご依頼ください。

電源高調波

JIS C 61000-3-2 適合品
本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

無線 LAN ご使用時のご注意（MFC-7840W をお使いの方）

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、「お客様相談窓口」へお問い合わせください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意（MFC-7840W をお使いの方）

・無線 LAN では、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
・その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
・メールの内容
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

・本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
・セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

電波の種類と干渉距離（MFC-7840W をお使いの方）

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。（IEEE802.11b のとき）
「OF」：変調方式が OFDM 方式を表す。（IEEE802.11g のとき）
「4」：想定される与干渉距離が 40m 以下であることを表す。
「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線モジュール内蔵について（MFC-7840W をお使いの方）

本製品は、日本電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
このユーザーズガイドには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される内容を示します。
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

「してはいけないこと」を示しています。	「分解してはいけないこと 」を示しています。	「水ぬれ禁止」を示しています。	「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。

「しなければいけないこと」を示しています。	「電源プラグを抜くこと」を示しています。	「アースをつなぐこと」を示しています。
「感電の危険があること」を示しています。	「火災の危険があること」を示しています。	「やけどの危険があること」を示しています。

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口へご連絡ください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。
- ユーザーズガイド等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブP.215へご注文ください。

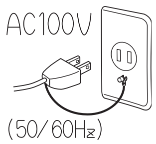
ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

電源について

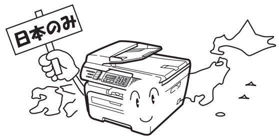
⚠ 警 告

火災や感電、やけど、故障の原因になります。

電源はAC100V、50Hzまたは60Hzでご使用ください。
DC 電源やインバータ(DC-AC 変換装置)を接続して使用しないでください。
本製品を接続するコンセントが AC 電源または DC 電源のどちらかわからないときは、電気工事士資格をお持ちの方にご相談ください。

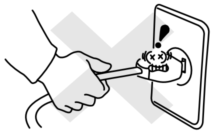


国内のみでご使用ください。
海外ではご使用になれません。



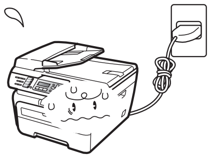
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

本体内部には高圧電流が流れています。本体の内部を清掃するときは、電話線を外した後、電源コードを抜いてください。また電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。

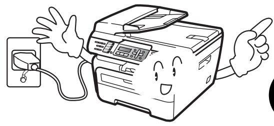


電源コードを破損するようなことはしないでください。
以下のことをしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

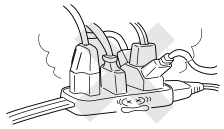
- 加工する　• 無理に曲げる
- 高温部に近づける　• 引っ張る
- ねじる　• たばねる
- 重いものをのせる　• 挟み込む
- 金属部にかける
- 折り曲げをくり返す
- 壁に押しつける



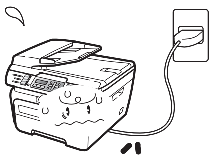
電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。



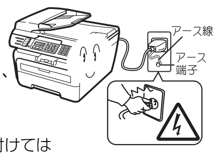
タコ足配線はしないでください。



本製品を電源コードの上にのせないでください。



アース線を取り付けてください
万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本製品を守るため、アース端子にアース線を取り付けてください。
アース線の接続は、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、アース線を外すときは、必ず電源スイッチを OFF し、電源コードをコンセントから抜いた後でアース線を外してください。



■ 取り付けられるところ
● 電源コンセントのアース端子
● 銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
● 接地工事（第３種）が行われているアース端子

■ 絶対に取り付けてはいけないところ
● 電話専用アース線
● 避雷針
● ガス管

電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布でふいてください。プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因となります。

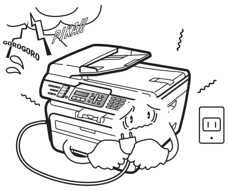
アース線のない延長用コードを使用しないでください。
保護機能が無効になります。

同梱されている電源コードセットは、本製品専用です。本製品以外には使用しないでください。
また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットを本製品に使用しないでください。

⚠ 注 意

故障の原因となります。

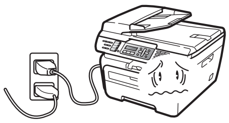
雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。



いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

! お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。



このような場所に置かないで

⚠ 警 告

以下の場所には設置しないでください。火災や感電、故障や変形の原因となります。

水のかかる場所や湿度の高い場所
ふろ場や加湿器などのそばに設置しないでください。

医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

火気や熱器具、揮発性可燃物、アルコール、シンナーなどの近くには設置しないでください。

⚠ 注 意

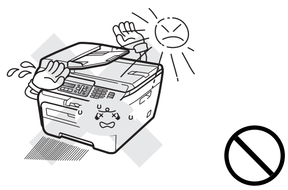
故障や変形の原因となります。

温度の高いところ

直射日光のあたるところ、暖房設備などのそば、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。結露するおそれがあります。
本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

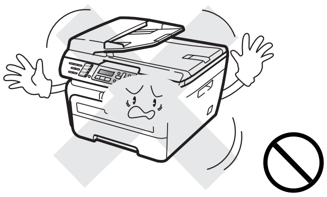
温度：10 ～ 32.5 ℃
湿度：20 ～ 80%
（結露なし）

◎エアコン、換気口などの近く
◎ホコリ、鉄粉の多い場所
◎じゅうたんやカーペットの上



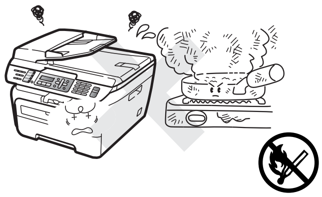
不安定な場所

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所など



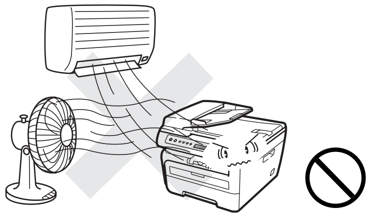
油飛びや湯気の当たる場所

調理台などのそば



風が直接当たる場所

扇風機、クーラー、換気口など

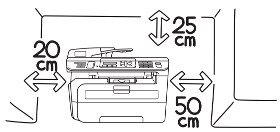


換気の悪い場所

換気の悪い場所で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり快適な環境が保てない原因となります。印刷動作中には化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分に行ってください。
また、本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

壁のそば

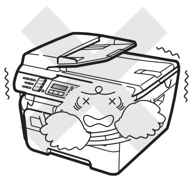
本製品を正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。



! お願い

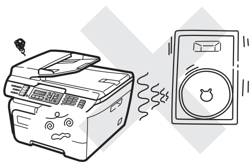
故障や変形の原因となります。

いちじるしく低温な場所には設置しないでください。（製氷倉庫など）



磁気の発生する場所

テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど



電波障害時の対処

近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

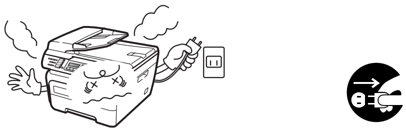
- 本製品をテレビから遠ざける。
- 本製品またはテレビなどの向きを変える。
- 本製品をコードレス電話の親機から遠ざける。

もしもこんなときには

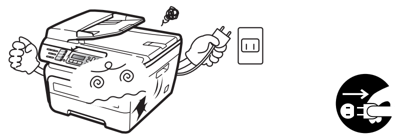
警 告

下記の状況でそのまま使用すると火災や感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

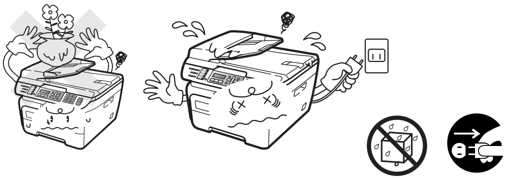
煙が出たり、異臭がしたとき
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



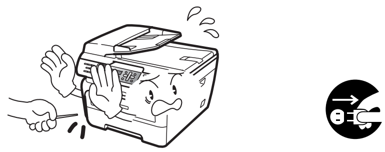
本製品を落としたり、破損したとき
電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



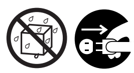
内部に水が入ったとき
本製品に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。
万一、液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



内部に異物が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



電源プラグやインレットに水などの液体がかかったときは、電源コードをコンセントから抜いて、きれいにふき取ってお使いください。



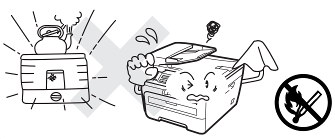
その他のご注意

警 告

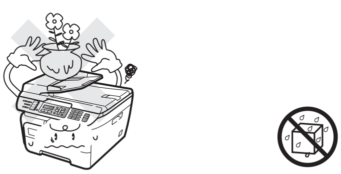
故障や火災、感電、やけど、けがの原因となります。

分解や改造はしないでください。
修理などはコールセンターにご相談ください。法律で罰せられることがあります。

火気を近づけないでください。
故障や火災・感電の原因となります。

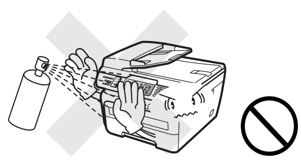


本製品に水や薬品などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。



本製品を清掃する際、アルコールなどの有機溶剤や液体、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。
火災・感電の原因となります。

可燃性スプレーの例
- ほこり除去スプレー
- 殺虫スプレー
- アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど



⚠警 告

故障や火災、感電、やけど、けがの原因となります。

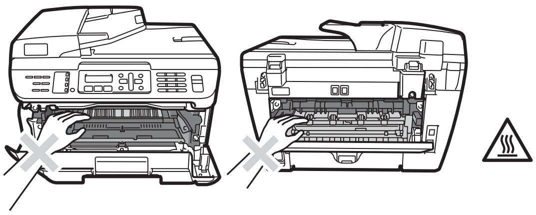
本製品を梱包していたビニール袋などは、子供の手の届かないところに保管してください。誤ってかぶると窒息のおそれがあります。

心臓ペースメーカをお使いの方は、異常を感じたときは、本製品から離れてください。

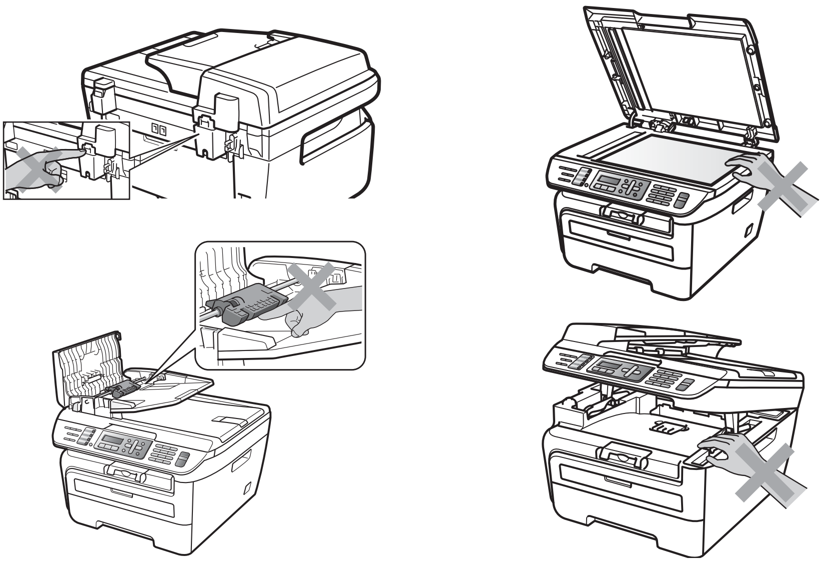
⚠注 意

故障や変形、やけど、けがの原因となります。

本製品を使用した直後は、内部がたいへん熱くなっています。
フロントカバーやバックカバーを開けるときは、グレーの部分には絶対に触らないでください。やけどのおそれがあります。



原稿台カバーや本体カバーを閉めるとき、図に示すところに指や手などをはさまないようにしてください。



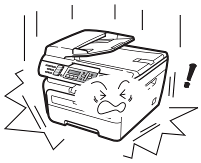
長期間不在にするときは、安全のためにも電源コードをコンセントから抜いてください。

本製品の上に物を置いたり、強く押さえたりしないでください。

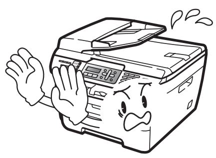
！ お願い

故障や変形の原因となります。

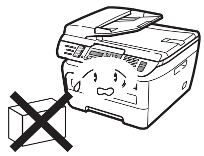
落下、衝撃を与えないでください。



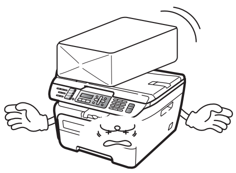
動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



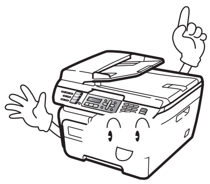
本製品の前方には物を置かないでください。
記録紙の排出の妨げになります。



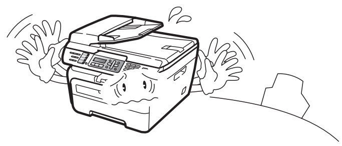
本製品の上に物を置かないでください。



指定以外の部品は使用しないでください。

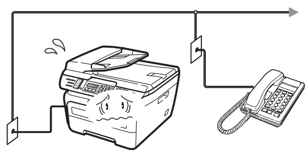


電話会社の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがあります。最寄りの電話会社の支店、営業所へご相談ください。



海外通信をご利用になるとき
回線の状況により正常な通信ができない場合があります。

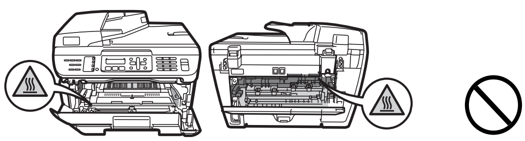
ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
１つの電話回線にブランチ接続（並列接続）すると通信エラーなどの原因になりますのでおやめください。



本製品に貼られているラベル類ははがさないでください。

梱包されている部品は必ず取り付けてください。

本製品の内部に貼られているラベルは、はがさないでください。



停電がおきたときは

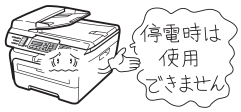
! お願い

●**次のデータはバッテリーで保持するメモリーに保存しており、停電後４日間保持されます。**
- 送信メモリー文書
- 通信管理レポート
- 受信メモリー文書

●**次のデータは不揮発性メモリーに保存していますので停電しても保持されます。**
- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- 各種登録・設定の内容

停電復旧時について
４日間以上停電が続いた場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

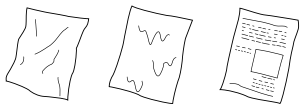
停電中は使用できません。
本製品はAC 電源を使用しているため、停電時は使用できなくなります。



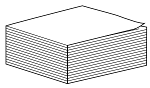
記録紙について

! お願い

使用する記録紙にはご注意ください。
しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙、広告紙などは使用しないでください。



保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。



トナーについて

⚠ 警 告

ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。
トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

こぼれたトナーはほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。
掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

! お願い

トナーカートリッジを無理に開けないでください。
トナーの粉末が漏れ出すおそれがあります。

トナーの粉末が漏れ出した場合には、トナーの粉末の吸引および皮膚への接触は避けてください。

トナーカートリッジは小さなお子様の手が届かない場所に保管してください。
万が一、お子様がトナーの粉末を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

トナーの粉末に接触した場合の対処

●**衣服や皮膚に付着した場合**
石けんを使って水でよく洗い流してください。

●**吸引した場合**
新鮮な空気があるところへ移動し、大量の水でうがいをしてください。せきなどの症状があるときは、医師の診察を受けてください。

●**飲み込んだ場合**
口の中をよくすすぎ、大量の水を飲んで薄めてください。すみやかに医師の診察を受けてください。

●**目に入った場合**
直ちに流水でよく洗ってください。
刺激や痛みが残るようであれば、医師の診察を受けてください。

画面で見るマニュアル（HTML形式）の表示画面と操作

画面で見るマニュアル（HTML形式）をお読みになるための表示画面と操作を簡潔に説明します。

①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	用語集を表示します。
③	本ガイドの全体構成図を表示します。
④	各機能のページ（章）に移動します。
⑤	やりたいこと目次に移動します。
⑥	「ご使用の前に」：ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」：日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」：文字入力／機能一覧／仕様／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。
	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」：画面で見るマニュアル（HTML形式）を印刷する場合の説明をしています。
	「消耗品の交換」：消耗品の交換方法を説明しています。
	「消耗品の注文」：消耗品の注文方法を説明しています。
⑦	サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）のホームページに移動します。
⑧	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。

①②	トップページに移動します。
③	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
④	用語集を表示します。
⑤	本ガイドの全体構成図を表示します。
⑥	やりたいこと目次に移動します。
⑦	現在のページを印刷します。
⑧	次のページに移動します。
⑨	前のページに移動します。
⑩	操作内容を表示します。
⑪	現在のページの最上部に移動します。
⑫	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑬	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷」：画面で見るマニュアル（HTML形式）を印刷するときの説明をしています。
	「消耗品の交換」：消耗品の交換方法を説明しています。
	「消耗品の注文」：消耗品の注文方法を説明しています。
⑭	大見出し・中見出し・小見出しです。
⑮	各機能のページ（章）に移動します。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.xxx	参照先を記載しています。（XXX はページ）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXX はタイトル）
	画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照しています。

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

本書の読みかた

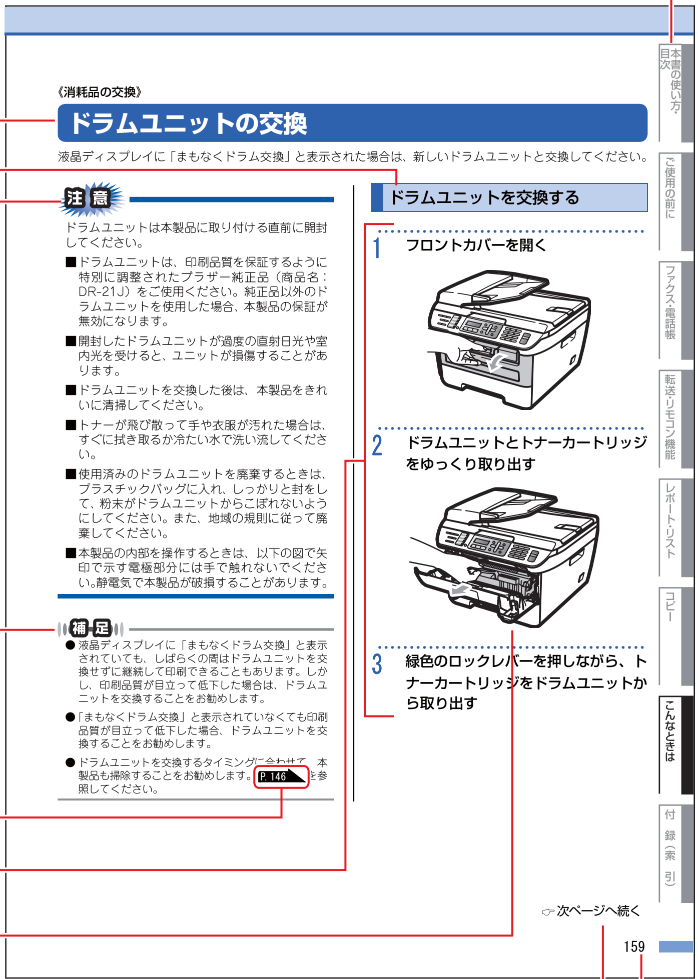
本書は次のようなレイアウトで説明しています。

見出しインデックスです。
現在の章を示します。

大見出しです。

中見出しです。

本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
特に⚠マークがあるものは、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


《消耗品の交換》

ドラムユニットの交換

液晶ディスプレイに「まもなくドラム交換」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。

注意

ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

■ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：DR-21J）をご使用ください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

■ドラムユニットを交換した後は、本製品をきれいに清掃してください。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損することがあります。

補足

● 液晶ディスプレイに「まもなくドラム交換」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換することをお勧めします。

●「まもなくドラム交換」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。

● ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。P. 146 を参照してください。

ドラムユニットを交換する

1 フロントカバーを開く

2 ドラムユニットとトナーカートリッジをゆっくり取り出す

3 緑色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

次ページへ続く

159

本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

参照先を記載しています。

操作手順です。

必要に応じてイラストや画面を使って説明しています。

次ページに続いていることを示します。

ページ番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

Memo

1章

ご使用の前に

かならずお読みください

必要に応じて設定してください

《かならずお読みください》

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

※パネルはMFC-7840Wのものを使用しています。

液晶ディスプレイ

現在の日時や操作方法を案内するメッセージなどが表示されます。P.33

シフトボタン

ワンタッチダイヤルの5～8を登録またはダイヤルするときは、シフトボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。
P.78

ファクス機能ボタン

●オンフックボタン
ファクスを手動送信するときに押します。P.76

●ファクス画質ボタン
ファクス送信する原稿に合わせて、画質を一時的に設定するときに押します。P.84

●再ダイヤル/ポーズボタン
最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。P.81
ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

コピー機能ボタン

●オプションボタン
コピー画質、コントラスト、ソートなどを設定するときに押します。
P.129

●拡大/縮小ボタン
拡大/縮小コピーするときに押します。
P.128

印刷機能ボタン

●セキュリティボタン（MFC-7840Wのみ）
4桁のパスワードを使用して機密データを印刷するときに使用します。
詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）の「セキュリティ印刷をする」を参照してください。

●キャンセルボタン
印刷されずに残っているメモリー内のデータや印刷処理中のデータを削除します。

ナビゲーションキー P.34

機能を設定するときに押します。

レポートを印刷するときに押します。

- 前のレベルメニューに移動します。
- 着信音を小さくします。

- 次のレベルメニューに移動します。
- 着信音を大きくします。

入力したデータの削除や一つ前のレベルのメニューに戻す場合に押します。

機能を確定するときに押します。

ファクスモードのときに押すと短縮宛先の指定や電話帳の検索ができます。

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

停止/終了ボタン

ファクス送信や操作を中止するとき、機能設定を終了するときなどに押します。

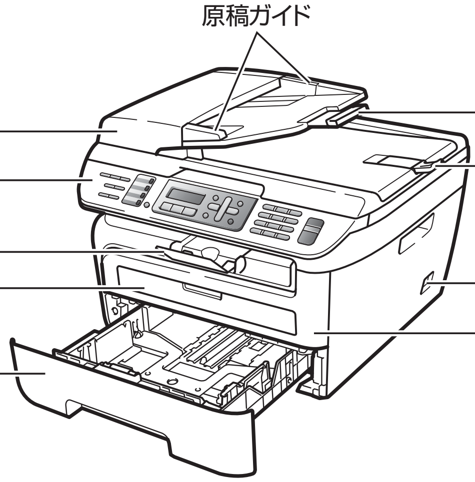
モード選択ボタン

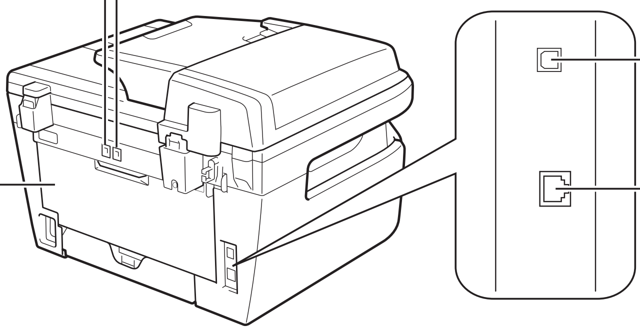
ファクス／スキャン／コピーの各モードに切り替えます。P.48

スタートボタン

コピー、プリント、スキャンを開始するときなどに押します。

各部の名称


原稿ガイド
ADF（自動原稿送り装置）
原稿サブトレイ
操作パネル
原稿ストッパー
排紙ストッパー
手差しスロット
電源スイッチ
フロントカバー
記録紙トレイ


外付電話（EXT.）端子
（外付電話端子をお使いになるときは、キャップを取りはずしてください。）
回線接続（LINE）端子
USBケーブル
接続端子
バックカバー
ネットワーク
（LAN）ポート
（MFC-7840Wのみ）

原稿台カバー
原稿ガイド
原稿台ガラス

《かならずお読みください》

液晶ディスプレイの特徴

液晶ディスプレイについて

本製品は、お客様が使いやすいように、液晶ディスプレイに現在の設定内容や、操作方法などを案内するメッセージが表示されます。

ファクスモードの標準画面

①　②　③

```
08/21 15:25 FAX
画質:標準
```
④

①：月/日が表示されます。
②：現在の時刻が表示されます。
③：設定したファクスの受信モードが表示されます。
④：ファクス送信の画質が表示されます。

コピーモードの標準画面

①　②

```
ｽﾀｯｸ        ｺﾋﾟｰ数:01
100%    □□■□□    自動
```
③　④　⑤

①：出力方法（スタック/ソート）が表示されます。
②：コピー枚数が表示されます。
③：拡縮率が表示されます。
④：コントラスト（コピー濃度）が表示されます。
⑤：コピー画質が表示されます。

案内メッセージ(エラーメッセージ例)

```
①紙詰まり 内部
②ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰを開けてﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆ
```

①：エラー内容などが表示されます。
②：エラーの対処方法などが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔English・日本語〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

1 メニュー 0 0 を押す

```
初期設定
0.表示言語
```

2 ▲または▼で言語を選択する

```
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
日本語          ⁎
```

3 OK を押す

```
表示言語
受付けました
```

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「日本語」に設定されています。
- 英語による説明を以下に示します。

  This setting allows you to change LCD language to English.

  1 Press メニュー 0 0

  2 Press ▲ or ▼ to select “English”.

  3 Press OK.

  4 Press 停止/終了 to exit.

- 英語版OS用ドライバのインストール方法については、付属CD-ROMの「English」フォルダ内の「README」を参照してください。

  For the method of installing the English OS driver, see “README” in “English” folder stored on the attached CD-ROM.

《かならずお読みください》

機能設定する

ナビゲーションキーを使った基本操作

本製品は、ナビゲーションキーを使って各種の設定をしたり、メニューを選択したりすることができます。

ナビゲーションキー	キーの役割
メニュー	• メインメニューを表示する場合
OK	• 次のメニューレベルに移る場合 • 選択項目を確定（決定）する場合 • 選択項目の設定が終わると、液晶ディスプレイには「受付けました」と表示されます。
	• メニュー内の項目を表示する場合
	• 前のメニューレベルに戻る場合 • 音量を小さくする場合
	• 次のメニューレベルに進む場合 • 着信音を大きくする場合
クリア/バック	• 入力した文字や数字を削除する場合 • 前のメニューレベルに戻る場合
停止 / 終了ボタン	**キーの役割**
停止/終了	• 操作を中止するときや、設定を終了する場合 • モード画面に戻る場合

ダイヤルボタンを使った基本操作

メニュー を押した後、ダイヤルボタンで、設定したい機能の番号を直接入力することで、本製品に対する各種の設定ができます。

補足

- 設定を途中で終了するときは、停止/終了 を押してください。
- 機能の番号については、「機能一覧」P.185 を参照してください。

《かならずお読みください》

記録紙について

推奨紙

記録紙の種類※1	記録紙名
普通紙 普通紙（厚め）	（株）リコー　マイペーパー　A4T目
再生紙	富士ゼロックス　オフィスサプライ（株）　Green100
OHPフィルム	住友スリーエム（株）CG3300
ラベル紙	エーワンレーザーラベル28362
はがき	はがき（郵便事業株式会社製　通常郵便葉書）※2

※1 推奨紙をご使用ください。記録紙の種類によっては、うまく印刷できない場合があります。
インクジェット専用紙はご使用にならないでください。本製品の故障の原因となります。
※2 私製はがき、往復はがき、印刷済みはがきは使用できません。

補足

- 市販されているレーザープリンタ用の記録紙をお使いいただくこともできますが、印刷品質は記録紙に左右されますので、推奨されている記録紙をお勧めします。
- 一度に多くの記録紙を購入する前に、試し印刷されることをお勧めします。

セットできる記録紙の種類

記録紙の種類	記録紙トレイ（トレイ 1）	手差しスロット（手差し）
普通紙、普通紙（厚め）（60g/m^2～105g/m^2）	○	○
超厚紙（105g/m^2～163g/m^2）	×	○
再生紙	○	○
はがき	○（30枚）	○
OHPフィルム	○（10枚）	○
ラベル紙	×	○
封筒※1（洋形4号）	×	○

※1 P.39「使用できない封筒」を参照してください。

補足

- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- OHPフィルムをご使用になると次に印字される記録紙を汚すことがあります。重ならないように1枚ずつ抜き取ってください。

セットできる記録紙サイズと枚数

	標準記録紙トレイ（トレイ 1）	手差しスロット（手差し）
記録紙サイズ	A4、USレター、B5（JIS）、A5、A6、はがき（または同等品）	ユーザー定義サイズ（幅76.2～220.0mm 長さ116.0～406.4mm）
枚数（80g/m^2）	250枚	1枚

補足

- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。

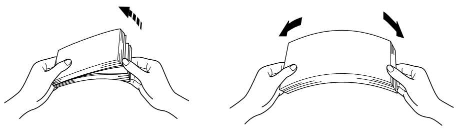
注意

■つぎのような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質の低下と本製品にダメージを与えるおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証対象外となりますので、ご注意ください。

- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- コート紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- ミシン目の入った記録紙
- 極端に滑らかな記録紙
- 極端にざらつきのある記録紙
- カールしている記録紙
- 折り目やしわのある記録紙
- ホチキスや付箋のついている記録紙
- 指定された坪量を超える記録紙

■ルーズリーフなど穴の開いた記録紙は絶対に使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。

■記録紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。

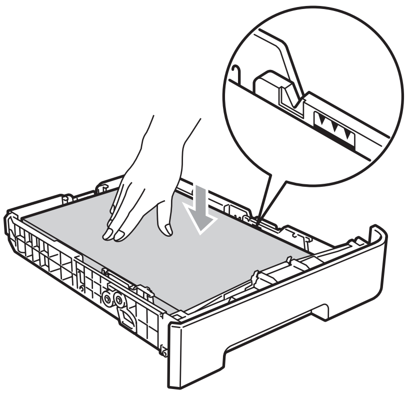


■中性の記録紙をお使いください。酸性、アルカリ性の記録紙はお使いにならないでください。

■よこ目用紙は、紙づまりや重送の原因になりますので使用しないでください。

■湿っている記録紙、印刷済みの記録紙は使用しないでください。紙づまりを起こし、故障の原因となります。

■記録紙が記録紙ガイドの▼マークを超えないように記録紙をセットしてください。

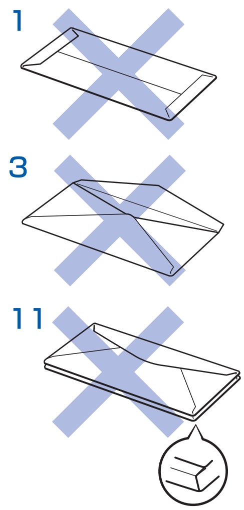


■一度に排紙できる枚数は普通紙（80g/m^2紙）の場合、約100枚です。

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。

1. タテ形（和形）の封筒
2. のりが付いた封筒
3. 封が開いた状態の封筒
4. レーザープリンタで一度印刷された封筒
5. 内部が印刷された封筒
6. 一定に積み重ねられない封筒
7. 折り目がしっかりついていない封筒
8. 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
9. 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
10. 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
11. 袋状加工（マチ付きなど）の封筒
12. 粘着加工を施した封筒
13. エンボス加工の封筒
14. 本製品の印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
15. 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒



上記の種類の封筒を使用すると、本製品が故障する可能性があります。
この場合の故障は保証またはサービス契約の対象には含まれませんのでご注意ください。

注意

■いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。

■正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの原稿サイズの設定とトレイにセットされた記録紙のサイズの設定を同じにしてください。

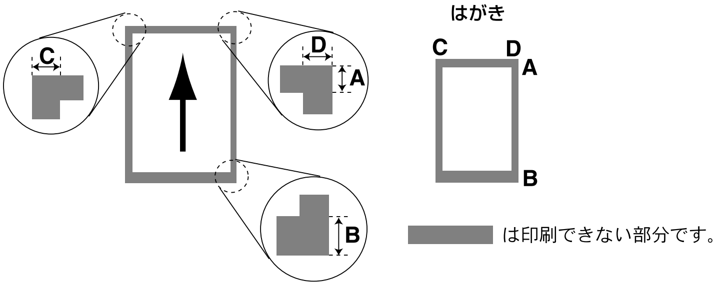
ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。
レーザープリンタ用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する前に、必ず少部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

特に推奨する封筒のメーカーはありません。上記の「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

記録紙の印刷可能範囲について

記録紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。



（単位：mm）

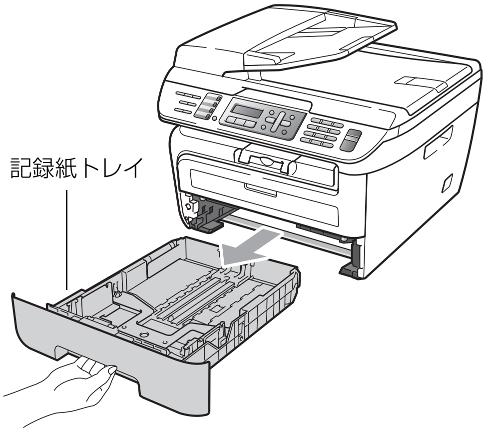
サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス	3.0	12.0（自動縮小 ON 時） 3.0（自動縮小 OFF 時）	1.0	1.0
	コピー	3.0	3.0	2.0	2.0
	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2
はがき（100mm×148mm）	コピー	3.0	3.0	2.2	2.2
	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2

補足

印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタドライバによっても値が変わってきます。

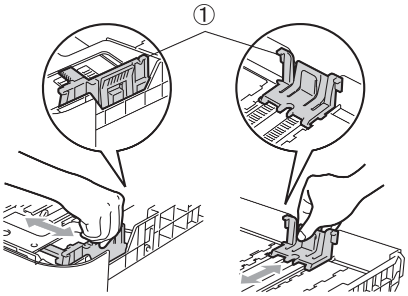
記録紙トレイに記録紙をセットする

1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す

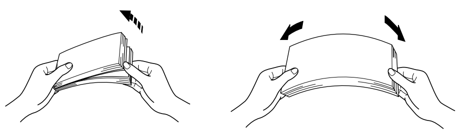


2 記録紙ガイドを使用する記録紙のサイズに合わせる

- レバー①をつまみながら使用する記録紙サイズに合わせます。
- 記録紙ガイドのつめがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

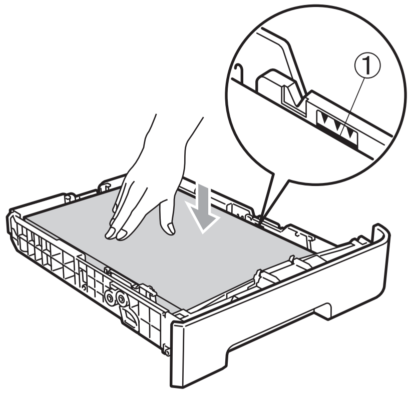


3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく



4 印字面を下にして記録紙トレイに入れる

記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼マーク①より下の位置にあることを確認してください。



注 意

■記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

■記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

補足

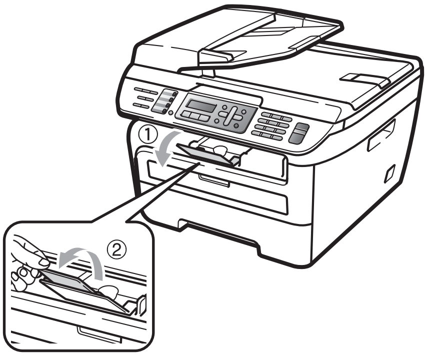
● はがきは約30枚までセットできます。

● A4(80g/m^{2}の普通紙)で約250枚までセットできます。詳しくは、P.37を参照してください。

5 記録紙トレイを本製品に戻す

☞次ページへ続く

6　排紙ストッパーを開く



手差しスロットに記録紙をセットする

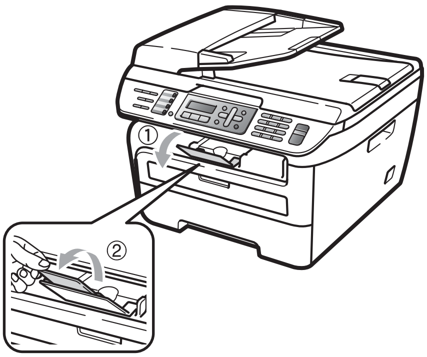
普通紙、再生紙、OHPフィルムに印刷する場合

補足

手差しスロットに記録紙を挿入すると、本製品は自動的に手差しスロットからの印刷モードに切り替わります。

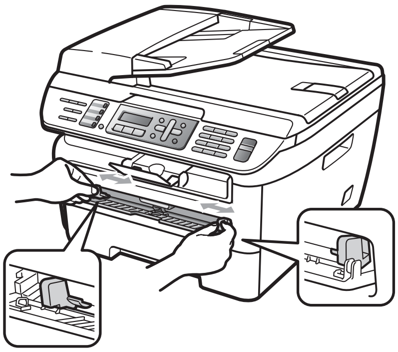
1　排紙ストッパーを開く

印刷された記録紙が上面排紙トレイから滑り落ちたり、記録紙が本製品から滑り落ちることを防ぎます。



2　手差しスロットカバーを開く

3　手差しガイドを両手で持って、記録紙のサイズに合わせる



4　印刷する面を上にして記録紙を両手で持ち、手差しスロットから挿入する

記録紙の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、記録紙が少し引き込まれるまで、そのままの状態で待ちます。給紙をはじめたら、記録紙から手を離します。

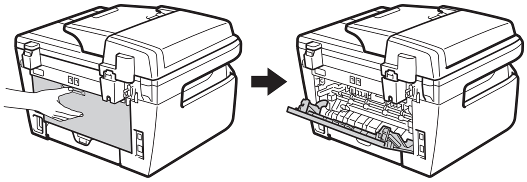
厚紙、封筒、ラベル紙に印刷する場合

バックカバーを開くと、手差しスロットに挿入した記録紙を曲げずに背面から取り出すことができます。

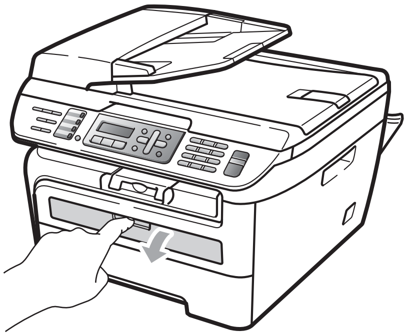
補足

- 紙づまりしないように、印刷後は記録紙をすぐに取り出してください。
- 手差しスロットに記録紙を挿入すると、本製品は自動的に手差しスロットからの印刷モードに切り替わります。

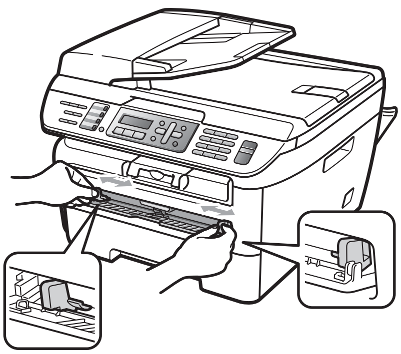
1 バックカバーを開く



2 手差しスロットカバーを開く

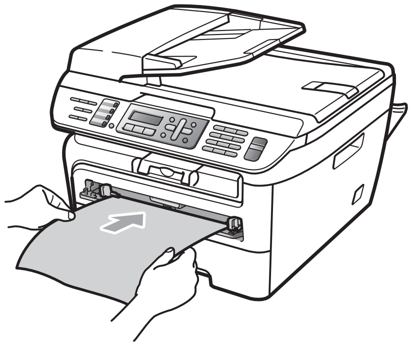


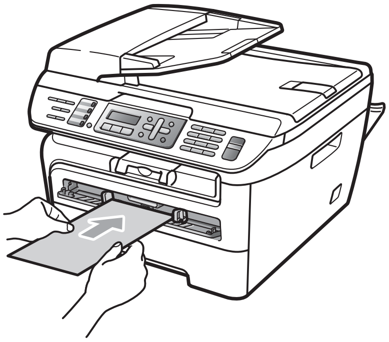
3 手差しガイドを両手で持って、記録紙のサイズに合わせる



4 印刷する面を上にして記録紙または封筒を両手で持ち、手差しスロットから挿入する

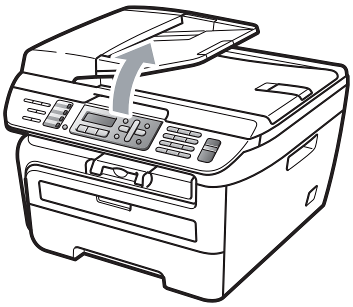
記録紙または封筒の先端が給紙ローラーにつきあたるまで入れ、少し引き込まれるまで、そのままの状態で待ちます。給紙をはじめたら、記録紙または封筒から手を離します。



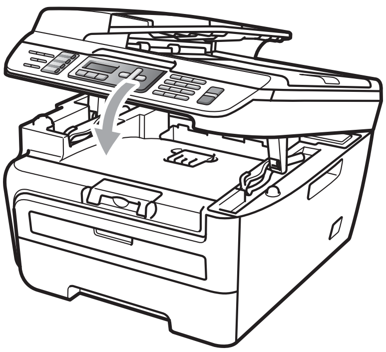


注意

- 手差しスロットに記録紙を挿入するときは、印刷面を上にして挿入してください。
- 記録紙は正しい位置にまっすぐ挿入してください。正しく挿入されないと、印刷のゆがみや紙づまりの原因となります。
- 手差しスロットに 2 枚以上の記録紙を同時に挿入しないでください。紙づまりの原因となります。
- サイズの小さな記録紙を取り出すときは、スキャナカバーを両手でゆっくり開いてください。



- スキャナカバーを開いた状態でも印刷ができます。スキャナカバーを閉めるときは、両手でゆっくり閉じてください。

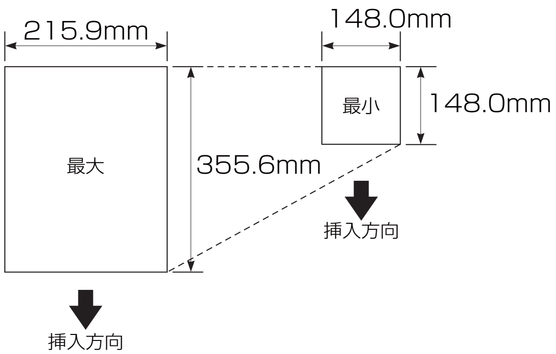


《かならずお読みください》

原稿について

原稿サイズ

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。



坪量　　：64g/m^2～90g/m^2（ADF（自動原稿送り装置）使用時）

最大質量　：2kg（原稿台ガラス使用時）

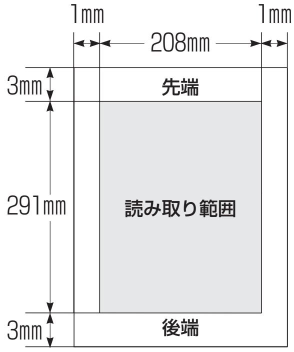
補足

- 原稿の種類や形状に応じて、ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスのどちらかを選択してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿があるときは ADF（自動原稿送り装置）から読み込まれます。ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないときは原稿台ガラスから読み込まれます。
- 原稿がはがきの場合、原稿台ガラスにセットしてください。

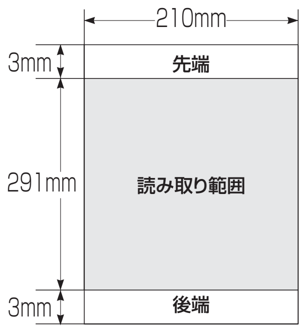
原稿の読み取り範囲

A4サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。

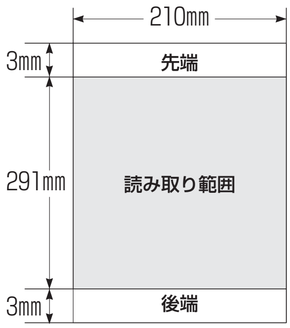
〈ファクス〉



〈コピー〉



〈スキャナ〉

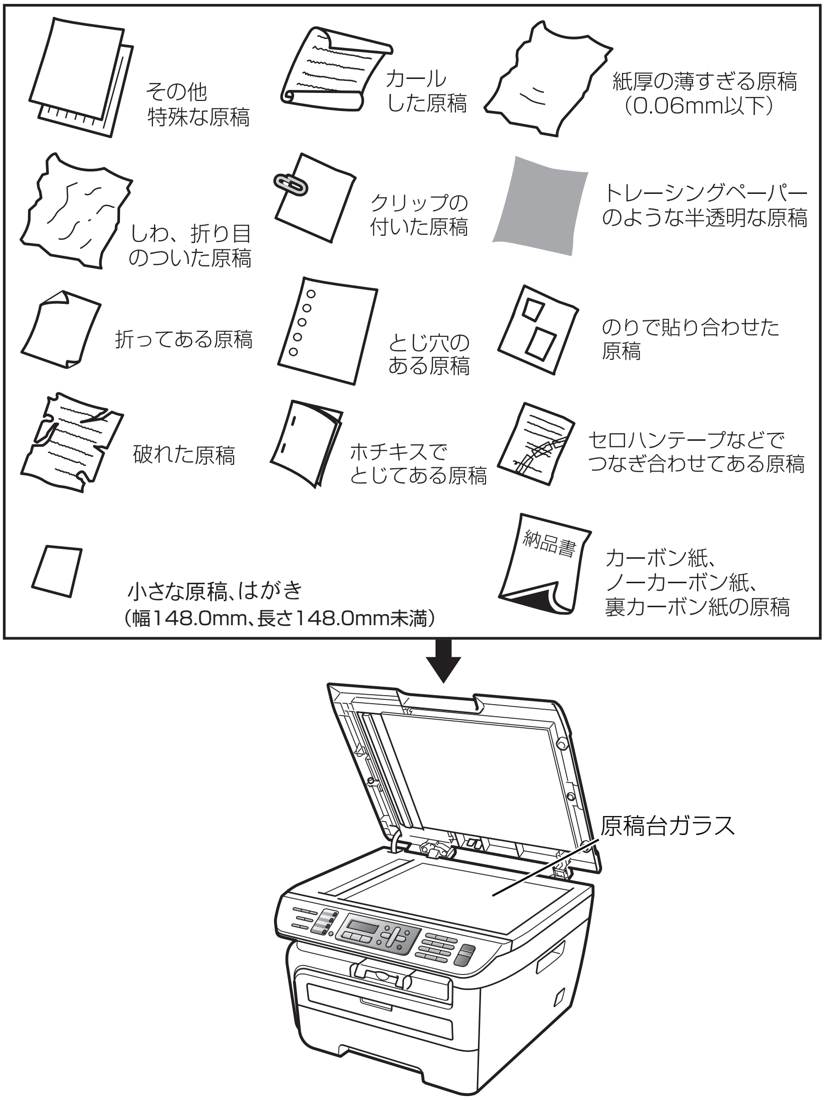


補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と記録紙に印刷できる範囲が異なります。P.40 を参照してください。

注意

- ■インク、修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- ■ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットするときは、原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。
- ■異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。
- ■ADF（自動原稿送り装置）に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- ■以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用して送信してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。



コピーについて

■法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やはがき（郵便事業株式会社製　通常郵便葉書）
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

《かならずお読みください》

モードの選択

操作パネルのモード選択ボタンでファクス、コピー、スキャンの各モードを選択することができます。
現在選択されているモードボタンは緑色に点灯します。

モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的にファクスモードに戻る時間を設定することができます。「切」を選択すると、最後に使ったモードを維持します。

1 メニュー 1 1 を押す

基本設定
1.ﾓｰﾄﾞ ﾀｲﾏｰ

2 ▲または▼で時間を選択する

「0 秒」「30 秒」「1 分」「2 分」「5 分」「切」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時、モードタイマーは「2分」に設定されています。

《かならずお読みください》

回線種別を設定する

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。
本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

ﾌﾟｯｼｭ回線です	：プッシュ回線に設定されたとき
ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPSです	：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

  電話機ｺｰﾄﾞを
  接続してください

  正しく接続しないまま5分以上放置すると、「設定できませんでした」と表示されます。

  設定できませんでした

  電話機コード接続しない場合は 停止/終了 を押してください。「接続をやめますか？」と表示されますので「1. はい」を押してください。
  （回線はプッシュ回線に設定されます。）

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別を設定できていません。手動で回線種別を設定してください。手動回線種別の設定については P.50 を参照してください。

  設定できませんでした
  ↓
  回線設定してください

- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合でも、右のメッセージが表示されます。メッセージを消去するには、同様に手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。

  回線設定してください

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1 メニュー、0、4 GHI を押す

初期設定
4. 回線種別設定

2 ▲ または ▼ で回線種別を選択する

回線種別の表示を以下に示します。

- プッシュ回線のとき　　：プッシュ回線
- ダイヤル回線10PPSのとき：ダイヤル　10PPS
- ダイヤル回線20PPSのとき：ダイヤル　20PPS
- 自動設定を行うとき　　：自動設定

3 OK を押す

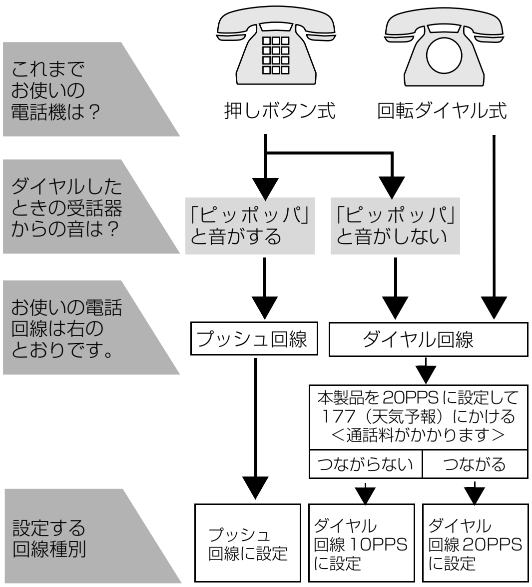
4 停止/終了 を押す

補足

- プッシュ回線またはISDN回線をお使いの場合は、「プッシュ回線」を選択してください。
- ひかり電話をお使いの場合は「プッシュ回線」を選択してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルータ、IPフォンアダプタなど）に本製品を接続する場合
  本製品の回線種別設定は、電話会社と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。



補足

- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- 一度自動設定すると電源を入れ直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定を変更してください。

《かならずお読みください》

ご使用前の設定をする

日付･時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がされていれば相手側の記録紙にも印刷されます。

1 メニュー 0 2 ABC を押す

```
初期設定
2.時計セット
```

2 年号（西暦の下2桁）を入力して OK を押す

例：2008年の場合は「08」

```
時計セット
年:2008
```

3 月を2桁で入力して OK を押す

例：8月の場合は「08」

```
時計セット
月:08
```

4 日付を2桁で入力して OK を押す

例：21日の場合は「21」

```
時計セット
日付:21
```

5 時刻（24時間制）を入力する

例：午後3時25分の場合は「1525」

6 OK を押す

```
時計セット
受付けました
```

7 停止/終了 を押す

補足

- 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

```
08/21 15:25 FAX
画質:標準
```

- 入力を間違えたときは、◀ ▶ を使って修正する文字にカーソルを移動し正しい文字を入力し直してください。
- 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは1ヶ月おきに合わせてください。
- 4日間以上停電した場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー 0 3 DEF を押す

初期設定
3. 発信元登録

2 ファクス番号を入力して OK を押す

- 20桁まで登録できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。

発信元登録
ﾌｧｸｽ:03XXXXXXXX

3 電話番号を入力して OK を押す

- 20桁まで登録できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。

発信元登録
電話:03XXXXXXXX

4 名前を入力する

20文字まで登録できます。

5 OK を押す

発信元登録
受付けました

6 停止/終了 を押す

補足

- 入力を間違えたときは、◀ ▶を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バック を押して削除後、正しい文字を入力し直します。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書については P.86 を参照してください。

発信元登録を消去する

1 メニュー 0 3 DEF を押す

初期設定
3. 発信元登録

2 1 で「はい」を選択する

ｽｽﾞｷ ﾀﾛｳ
変更しますか 1.はい 2.いいえ

3 クリア/バック を押して、登録されている文字を1文字ずつ削除する

発信元登録
ﾌｧｸｽ:

4 OK を押す

発信元登録
受付けました

5 停止/終了 を押す

《かならずお読みください》

受信モードについて

受信モードの種類

本製品の受信モードには以下の種類があります。

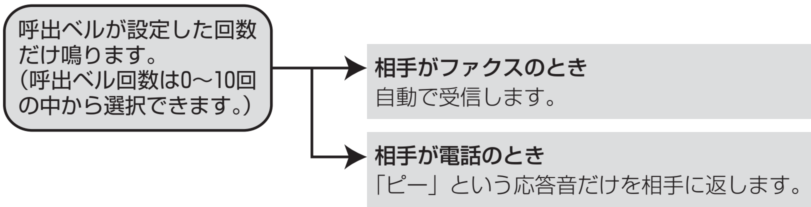
■お使いの電話機を本製品と接続しない場合
- ファクス専用モード

■お使いの電話機を本製品と接続する場合
- 自動切替モード
- 外付留守電モード
- 電話モード

お使いの電話機を本製品と接続しない場合

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。



補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼出回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。呼出回数の設定のしかたはP.58を参照してください。

お使いの電話機を本製品と接続する場合

自動切替モード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

呼出ベルが設定した回数だけ鳴ります。（呼出ベル回数は0～10回の中から選択できます。）

→ 呼出ベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機に出なかったとき

→ **相手がファクスのとき**
自動で受信します。

→ **相手が電話のとき**
呼出ベルが鳴り終わったあと、短く「トゥルットゥルッ」と本製品が鳴り、本製品に接続されている電話機も鳴りますので、受話器をとってお話しください。

→ 呼出ベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機に出たとき

→ **相手がファクスのとき**
受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、[ファクス]を押してファクスモードにしてから[スタート]を押し、[2 ABC]を押してファクスを受信します。
親切受信を「オン」に設定している場合は、そのまま約 7 秒待つと自動でファクスを受信します。

→ **相手が電話のとき**
そのまま通話します。
通話後にファクスを送信したいとき P.76 を参照してください。
通話後にファクスを受信したいとき P.95 を参照してください。

補足

- 呼出回数の設定のしかたは P.58 を参照してください。
- 自動切替モードでは、本製品が着信すると本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは[スタート]を押し、[2 ABC]を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「オフ」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して[スタート]を押し、[2 ABC]を押してください。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品と接続している電話機によって電話機から呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。

本製品に接続されている留守番電話機に設定されている回数だけ呼出ベルが鳴ります

- → 本製品に接続されている留守番電話機に出たとき
  - → **相手がファクスのとき**
    受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、「ファクス」を押してファクスモードにしてから「スタート」を押し、「2 ABC」を押してファクスを受信します。
    親切受信を「オン」に設定している場合は、そのまま約7秒待つと自動でファクスを受信します。
  - → **相手が電話のとき**
    そのまま通話します。
    通話後にファクスを送信したいとき P.76 を参照してください。
    通話後にファクスを受信したいとき P.95 を参照してください。
- → 本製品に接続されている留守番電話機が起動したとき
  - → **相手がファクスのとき**
    自動で受信します。
  - → **相手が電話のとき**
    留守番電話機から応答メッセージが流れたあと、相手のメッセージを録音します。

注意

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

電話モード

本製品に接続されている電話に出たあと、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。

呼出ベルが鳴ります。

- 本製品に接続されている電話機に出なかったとき → 回線がつながりませんので電話もファクスも受けられません。
- 本製品に接続されている電話機に出たとき

  → **相手がファクスのとき**

  受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、ファクス を押してファクスモードにしてから スタート を押し、2 ABC を押してファクスを受信します。

  親切受信を「オン」に設定している場合は、そのまま約7秒待つと自動でファクスを受信します。

  → **相手が電話のとき**

  そのまま通話します。

  通話後にファクスを送信したいとき P.76 を参照してください。

  通話後にファクスを受信したいとき P.95 を参照してください。

補足

ファクス受信について

- 本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。P.97 を参照してください。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がADF（自動原稿送り装置）にセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて スタート を押し、2 ABC を押してください。

  親切受信をオンに設定しているときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して スタート を押し、2 ABC を押してください。

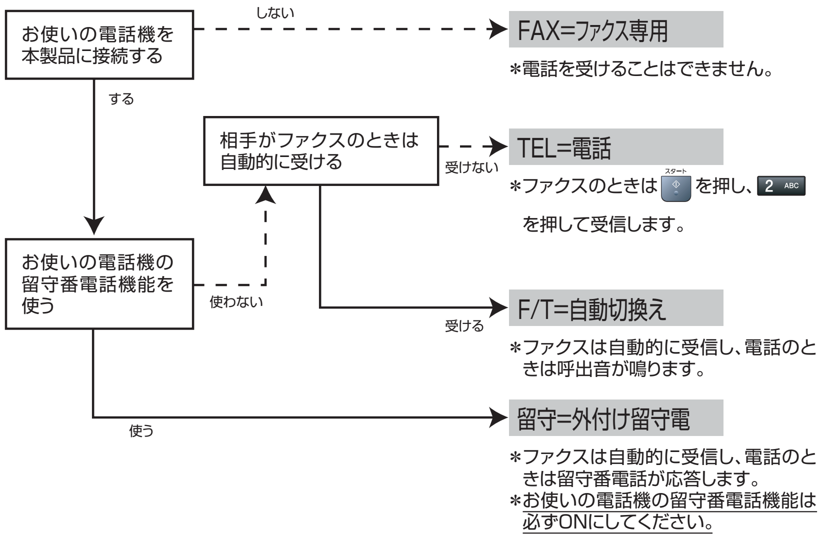
キャッチホン※契約をされているとき

- NTTとキャッチホンまたはキャッチホンIIの契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホンIIサービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

※「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを選ぶ

本製品の使用目的に応じて、受信モードを選択します。



受信モードを設定する

1 メニュー 0 1 を押す

```
初期設定
1. 受信ﾓｰﾄﾞ
```

2 ▲または▼で受信モードを選択する

「FAX=ファクス専用」「F/T=自動切換え」「留守=外付け留守電」「TEL=電話」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

設定後、待機状態表示になります。

補足

- 選択した受信モードは、液晶ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「FAX=ﾌｧｸｽ専用」モードに設定してあります。
- 「FAX=ﾌｧｸｽ専用」モード以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼出回数を設定します。

1 メニュー 2 ABC 1 1 **を押す**

受信設定
1. 呼出回数

2 ▲ **または** ▼ **で呼出回数を選択する**

0～10回から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は4回に設定されています。
- 呼出回数は、0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼出回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼出回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を６回以下に設定されることをお勧めします。
- 「ファクス専用モード」や「自動切替モード」のとき、本製品に接続されている電話機の呼出ベルも、ここで設定された回数だけ呼出ベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには P.60 を参照してください。

再呼出回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、呼出ベルのあとに、「トゥルットゥルッ」と呼出ベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 メニュー 2 ABC 1 2 ABC **を押す**

受信設定
2. 再呼出回数

2 ▲ **または** ▼ **で再呼出回数を選択する**

「08」「15」「20」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は8回に設定されています。
- 本製品に接続されている電話機に出なかった場合は、設定した回数だけ再呼出ベルが鳴ったあと、自動的に電話が切れます。

《必要に応じて設定してください》

基本設定を変更する

記録紙のタイプを選ぶ

記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを選択します。

1 メニュー 1 2 ABC を押す

基本設定
2. 記録紙ﾀｲﾌﾟ

2 ▲または▼で記録紙のタイプを選択する

「普通紙」「普通紙（厚め）」「厚紙（ﾊｶﾞｷ）」「超厚紙」「OHP ﾌｨﾙﾑ」「再生紙」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足
お買い上げ時は「普通紙」に設定されています。

記録紙のサイズを選ぶ

記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを選択します。

1 メニュー 1 3 DEF を押す

基本設定
3. 記録紙ｻｲｽﾞ

2 ▲または▼で記録紙のサイズを選択する

「A4」「B5」「A5」「A6」「ﾊｶﾞｷ」「USﾚﾀｰ」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足
お買い上げ時は「A4」に設定されています。

着信音量を設定する

着信ベルの音量を調節します。

1 メニュー 1 4 GHI 1 **を押す**

音量
1. 着信音量

2 ▲ **または** ▼ **で音量を選択する**

「切」「小」「中」「大」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

● お買い上げ時は「中」に設定されています。

● ファクス ボタンが緑色に点灯しているときは着信音量を ◀ ▶ で調整できます。

ボタン確認音量を設定する〔ボタン確認音量＆ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」と確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時にブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

1 メニュー 1 4 GHI 2 ABC **を押す**

音量
2. ﾎﾞﾀﾝ確認音量

2 ▲ **または** ▼ **で音量を選択する**

「切」「小」「中」「大」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

● お買い上げ時は「中」に設定されています。

●「切」（ボタン確認音なし）を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

1 メニュー 1 4 GHI 3 DEF **を押す**

音量
3.スピーカー音量

2 ▲ **または** ▼ **で音量を選択する**

「切」「小」「中」「大」の中から選択します。

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「中」に設定されています。
- スピーカー音量は、オンフック を押してスピーカーから「ツー」という音が聞こえているときに ◀ ▶ を押して調節することもできます。

トナーを節約する〔トナー節約モード〕

トナーを節約したいときは、「トナー節約モード」を「オン」に設定します。「オン」に設定すると印字が薄くなります。

1 メニュー 1 5 JKL 1 **を押す**

省エネモード
1.トナー節約モード

2 ▲ **または** ▼ **で「オン」を選択する**

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本製品は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、ファクスの送受信には影響ありません。

1 メニュー 1 5 JKL 2 ABC を押す

省ｴﾈﾓｰﾄﾞ
2.ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ

2 ダイヤルボタンでスリープモードになるまでの時間を設定する

分単位で設定します。(00～99)

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために約18秒間かかります。
- お買い上げ時は「05分」に設定されています。
- 手順2で スタート と オプション を同時に押すと「オン」「オフ」が選択できるようになります。「オフ」を選択するとスリープモードにはなりません。

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイが見えにくいときは、コントラストを調整します。

1 メニュー 1 6 MNO を押す

画面ﾉｺﾝﾄﾗｽﾄ
▼ −□□■□□+ ▲

2 ▲ または ▼ でコントラストを調整する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

《必要に応じて設定してください》

セキュリティ機能の設定について

パスワードを登録して設定のロックをすることができます。

セキュリティ設定ロックとは

パスワードにより下記の機能の設定変更をロックします。

- 日付・時刻
- 発信元登録
- 電話帳設定（ワンタッチ･短縮･グループダイヤル）
- モードタイマー
- 記録紙（タイプ・サイズ）
- 音量（着信･ボタン確認音･スピーカー）
- 省エネモード（トナー節約モード･スリープモード）
- 液晶ディスプレイのコントラスト
- セキュリティ設定ロック
- セキュリティ機能ロック（MFC-7840Wのみ）
- ダイヤル制限機能

パスワードを登録する

補足

パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

1 MFC-7340

メニュー 1 7 PQRS を押す

基本設定
7.セキュリティ 設定ロック

MFC-7840W

メニュー 1 7 PQRS 2 ABC を押す

基本設定
2.セキュリティ 設定ロック

2 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力して OK を押す

初めてパスワードを入力した場合には「パスワード確認:」と液晶ディスプレイに表示されます。

3 パスワードを再度入力して OK を押す

4 停止/終了 を押す

パスワードを変更する

1 MFC-7340

メニュー 1 7 PQRS を押す

基本設定
7.セキュリティ 設定ロック

MFC-7840W

メニュー 1 7 PQRS 2 ABC を押す

基本設定
2.セキュリティ 設定ロック

2 ▲または▼を押して「パスワード設定」を選択して OK を押す

3 登録済みの４桁のパスワードを入力して OK を押す

4 変更したい４桁の新しいパスワードを入力して OK を押す

液晶ディスプレイに「パスワード確認:」と表示されます。

5 新しいパスワードを再度入力して OK を押す

6 停止/終了 を押す

セキュリティ設定ロックをオンにする

1 MFC-7340

メニュー 1 7 PQRS を押す

基本設定
7. セキュリティ 設定ロック

MFC-7840W

メニュー 1 7 PQRS 2 ABC を押す

基本設定
2. セキュリティ 設定ロック

2 ▲または▼を押して「オン」を選択して
OK を押す

3 登録済みの4桁のパスワードを入力して OK を押す

4 停止/終了 を押す

セキュリティ設定ロックをオフにする

1 MFC-7340

メニュー 1 7 PQRS を押す

基本設定
7. セキュリティ 設定ロック

MFC-7840W

メニュー 1 7 PQRS 2 ABC を押す

基本設定
2. セキュリティ 設定ロック

2 登録済みの4桁のパスワードを入力して OK を押す

3 もう一度 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- パスワードを間違えて入力した場合は液晶ディスプレイに「パスワードが違います」と表示されます。正しいパスワードが入力されるまで設定はオンのままとなります。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

セキュリティ機能ロックとは（MFC-7840Wのみ）

ユーザーの名前とパスワードを登録して、ユーザーごとに利用できる下記の機能を制限します。

- ファクス送信
- ファクス受信
- コピー
- スキャナ
- プリント（一般モードのみ）

補足

- 管理者だけが各ユーザーの設定ロックのオン / オフと制限設定または変更を行えます。設定または変更をするには管理者パスワードが必要です。
- 個別にユーザー設定されていない一般ユーザー用に機能をロックすることができます。（一般モード）P.65
- 登録できるユーザーは10人です。
- 機能ロックがオンの場合でも、原稿濃度P.85、ポーリング送信P.89、送付書P.86の設定をすることができます。ただし、ファクス送信が無効に設定されている場合はすべてのファクス設定がロックされます。
- ポーリング受信を有効にするには、ファクス送信とファクス受信の両方を有効にする必要があります。
- ファクス受信無効のユーザーが設定されているとき、ファクスを受信した場合はメモリに蓄積されます。その後、ファクス受信が有効なユーザーに切り替わったときに、蓄積されたファクスを印刷するか確認するメッセージが表示されます。

管理者パスワードを登録する

ユーザーの名前とパスワードを登録するためのパスワードを設定します。

補足

パスワードが既に登録済みの場合、再登録は不要です。

1 メニュー 1 7 PQRS 1 を押す

```
セキュリティ
1.セキュリティ 機能ロック
```

2 ダイヤルボタンで 4 桁のパスワードを入力して OK を押す

3 パスワードを再度入力して OK を押す

4 停止/終了 を押す

一般モードを設定する

一般モードを設定して、一般ユーザーが利用できる機能を制限します。

1 メニュー 1 7 PQRS 1 を押す

```
セキュリティ
1.セキュリティ 機能ロック
```

2 ▲または▼で「ユーザ 設定」を選択して OK を押す

3 管理者パスワードを入力して OK を押す

4 ▲または▼で「一般モード」を選択して OK を押す

5 ▲または▼でファクス送信の設定を選択して OK を押す

- 「ファクス送信：許可」「ファクス送信：禁止」の中から選択します。
- OK を押すと続けて、ファクス受信、コピー、スキャン、プリントの設定をします。

6 停止/終了 を押す

補足

登録するには、手順5の設定で少なくとも一つの機能を無効にしてください。

ユーザーを登録する

ユーザーの名前とパスワードを登録して、個別のユーザーごとに利用できる機能を制限します。

1 メニュー 1 7PQRS 1 を押す

セキュリティ
1.セキュリティ 機能ロック

2 ▲または▼で「ユーザ 設定」を選択して OK を押す

3 管理者パスワードを入力して OK を押す

4 ▲または▼で「ユーザ 01」を選択して OK を押す

5 ユーザー名を入力して OK を押す

名前は15文字まで登録できます。

6 ユーザーパスワードを４桁で入力して OK を押す

7 ▲または▼でファクス送信の設定を選択して OK を押す

- 「ファクス送信：許可」「ファクス送信：禁止」の中から選択します。
- OK を押すと続けて、ファクス受信、コピー、スキャンの設定をします。
- 続けて登録するときは手順4～7を繰り返してください。

8 停止/終了 を押す

補足

文字入力のしかたについては P.182 を参照してください。

セキュリティ機能ロックをオンにする

セキュリティ機能ロックをオンにすると一般モードが有効になります。個別ユーザー設定を有効にするには「ユーザーを切り替える」を参照してください。

1 メニュー 1 7PQRS 1 を押す

セキュリティ
1.セキュリティ 機能ロック

2 ▲または▼で「ロック オフ→オン」を選択して OK を押す

3 管理者パスワードを入力して OK を押す

セキュリティ機能ロックをオフにする

1 メニュー 1 7PQRS 1 を押す

セキュリティ
1.セキュリティ 機能ロック

2 ▲または▼で「ロック オン→オフ」を選択して OK を押す

3 管理者パスワードを入力して OK を押す

ユーザーを切り替える

セキュリティ機能ロックをオンにしているとき、登録されているユーザーのみの使用を可能にします。

補足

一般モードへはあらかじめモードタイマーで設定した時間で自動的に戻ります。P.48 を参照してください。
また、点灯しているモード選択ボタンを押してすぐに一般モードに切り替えることもできます。

1 **使用したい機能のモード選択ボタンを押す**

2 **ユーザーパスワードを入力して OK を押す**

ユーザー登録で許可された機能が使用可能になります。

補足

次の操作でもユーザーを切り替えることができます。
シフト ▼ を押しながら セキュリティ を押し、表示された画面でパスワードを入力し OK を押します。

《必要に応じて設定してください》

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本製品では、ご利用の電話会社との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に液晶ディスプレイに表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。
本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 名前表示機能
  電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が液晶ディスプレイに表示されます。
- 着信履歴機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。）
  操作方法についてはP.106 を参照してください。

補足

- ● 本製品はネーム・ディスプレイ、およびキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ● ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタの設定が必要です。
- ● IP 電話を利用されているときは、VoIP アダプタ（IP 電話対応機器）の設定が必要です。
- ● 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイサービスに対応していなければ利用できません。
- ● ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。P.22 を参照してください。
- ● 電話回線にガス検針器やホームセキュリティ装置などが接続されている場合は、ナンバー・ディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを設定します。

1 メニュー 0 7 PQRS を押す

```
初期設定
7.ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
```

2 ▲ または ▼ で電話番号の表示方法を選択する

「ｵﾝ」「ｵﾌ」「外付け電話優先」の中から選択します。

- 「ｵﾝ」を選択した場合、本体の液晶ディスプレイに相手の電話番号または名前が表示されます。
- 「ｵﾌ」を選択した場合、相手の電話番号または名前が表示されません。
- 「外付け電話優先」を選択した場合、本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

注意

「外付け電話優先」で使用する場合に本製品を「自動切替モード」に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

補足

- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社への契約が必要です。契約していない場合は「オフ」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「オン」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「オフ」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「外付け電話優先」、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「オン」にしてください。
- 「外付け電話優先」の場合、着信履歴は本製品に残りません。

《必要に応じて設定してください》

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。

1 メニュー 0 6 MNO を押す

初期設定
6. 特別回線対応

2 ▲ または ▼ で回線を選択する

「一般」「ISDN」「PBX」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

● お買い上げ時は「一般」に設定されています。

●「PBX」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「ｵﾌ」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度「ｵﾝ」にするときは、特別回線対応の設定を「一般」にしてください。

ダイヤルトーン検出の設定をする

ファクス送信時に、「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信できない場合は、ダイヤルトーンを「検知する」に設定してください。

注意

本製品をPBXやIP電話アダプタに接続している環境で「検知する」に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は「検知しない」のままお使いください。

1 メニュー 0 5 JKL を押す

初期設定
5. ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ設定

2 ▲ または ▼ で設定を選択する

「検知する」「検知しない」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「検知しない」に設定されています。

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。「高速」→「標準」→「安心」の順で送受信時間は遅くなりますが、「標準」または「安心」に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。「標準」→「安心」の順にお試しください。

1 メニュー 2 ABC 0 を押す

```
ﾌｧｸｽ
0. 安心通信ﾓｰﾄﾞ
```

2 ▲または▼で回線を選択する

MFC-7340：
「標準」「安心 （VoIP)」から選択します。
MFC-7840W：
「高速」「標準」「安心（VoIP)」から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- MFC-7340：お買い上げ時は「標準」に設定されています。
  MFC-7840W：お買い上げ時は「高速」に設定されています。
- IPフォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、次のような多くの要素があります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

  本製品側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

ナンバープレフィックスを設定する

PBXなどの使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号をあらかじめ登録しておきます。PBXのある環境で、電話帳の設定を変更せずに外線にダイヤルできます。

1 メニュー 2 ABC 8 TUV を押す

```
ﾌｧｸｽ
8. ﾅﾝﾊﾞｰ ﾌﾟﾚﾌｨｯｸｽ
```

2 あらかじめ登録するダイヤルの内容を設定する

- 登録できる番号は最大5桁です。
- 0～9、＊、＃が登録できます。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- 登録した場合は、ダイヤルボタンからの入力やワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル使用時に設定した内容が付加されます。付加しない場合は登録しないでください。
- オンフックにして番号を入力した場合は、ナンバープレフィックスを登録してもその番号は付加されません。
- PCファクスはControlCenterのPC-FAXプレフィックスの設定が優先されます。
- ダイヤル 10pps、ダイヤル 20pps 回線をご利用の場合は＊、＃を登録できません。

Memo

2章

ファクス・電話帳

《ファクス送信》

ファクスを送る

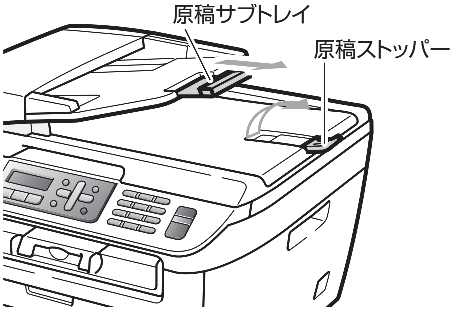
原稿に合わせて、画質を変更することができます。

ADF（自動原稿送り装置）から送信する〔自動送信〕

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして送信します。

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる

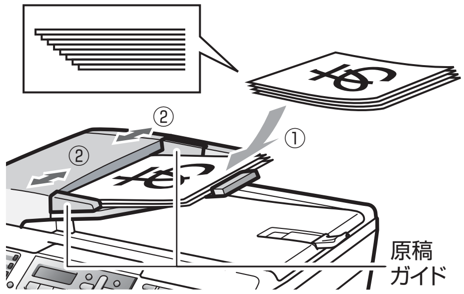
2 原稿の大きさに合わせて原稿サブトレイを引き出し、原稿ストッパーを起こす



3 原稿の送信する面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）

原稿は一度に35枚までセットできます。

原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）



4 相手先のファクス番号を入力する

5 スタート を押す

補足

- 送信を途中で止めたいときは 停止/終了 を押し、1 を押してください。
- ダイヤルのしかたは P.78 を参照してください。
- 「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは、本製品のメモリーがいっぱいです。メモリーに蓄積したファクスを出力してメモリーを消去してください。P.113 を参照してください。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数はファクス画質と原稿の内容に影響されます。

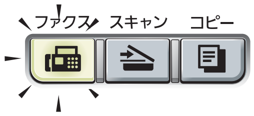
注意

- ■ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。原稿台ガラスから送信してください。
- ■セットできる原稿については、「原稿について」P.45 を参照してください。

原稿台ガラスから送信する〔自動送信〕

原稿台ガラスから原稿や本のページをファクスで送信できます。原稿台ガラスを使うときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

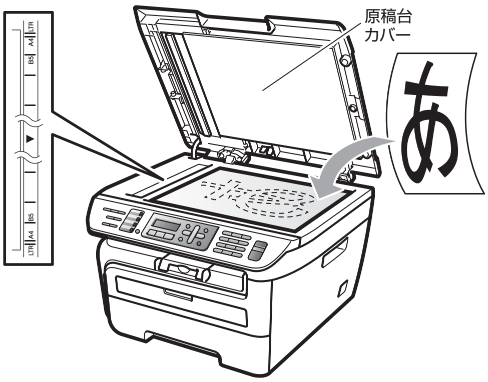
1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる



2 原稿台カバーを持ち上げる

3 原稿台ガラスに原稿の送信する面を下にセットする

左右方向は左端に、前後方向は左側の原稿ガイドに合わせて中央にセットします。



4 原稿台カバーを閉じる

原稿が本や厚い場合は、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押さえてください。

5 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

6 原稿が 1 枚のときは、2 ABC 、または スタート を押す

次の原稿はありますか?
1. はい 2. いいえ(送信)

送信を開始します。

原稿が複数枚のときは、1 を押す

手順7に進みます。

7 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、OK を押す

送信する原稿枚数分、手順6～7を繰り返します。

8 最後の原稿を読み取ったら、2 ABC または スタート を押す

送信を開始します。

注意

- ■複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は「オフ」にしてください。リアルタイム送信については P.88 を参照してください。
- ■原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなることがあります。
- ■原稿が本など厚さがあるときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また上からあまり強く押さないでください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、オンフックを押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 ファクスボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 オンフックを押して、相手先のファクス番号を入力する

4 相手先の受信音（ピー）を確認して スタート を押す

5 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で 1 を押す

ファクスが送信されます。

```
1. 送信  2. 受信
```

補足

ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

ファクス送信を途中で止める

自動送信のとき

1 停止/終了 を押す

2 1 を押す

手動送信のとき

1 停止/終了 を押す

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後にファクスを送信します。

1 相手先のファクシミリのスタートを押してもらう

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットして スタート を押す

3 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で 1 を押す

ファクスが送信されます。

```
1. 送信  2. 受信
```

4 本製品に接続されている電話機の受話器を戻す

他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

補足

ファクスを手動で送信しているときや、リアルタイム送信時は、次に送りたいファクス原稿の読み込みができません。

《ファクス送信》

便利にダイヤルする

ダイヤルのしかた

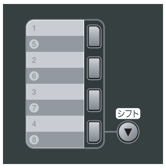
送信するときのダイヤル方法は4つあります。

ダイヤルボタンを使用する

ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタンを押すだけで、登録されているファクス番号にダイヤルします。ワンタッチダイヤルは8件登録できます。5～8に登録されているファクス番号にダイヤルするときは、シフトを押しながらワンタッチボタンを押します。



補足

ワンタッチダイヤルの登録のしかたはP.101を参照してください。

短縮ダイヤルを使用する

電話帳検索/短縮を押した後、登録されている短縮番号（001～200）を押して検索し、ダイヤルします。短縮ダイヤルには最大200件登録できます。

補足

短縮ダイヤルの登録のしかたはP.102を参照してください。

電話帳を使用する

電話帳検索/短縮を2回押し、検索したい名前の読みがなを入力してOKを押します。▲または▼で検索してダイヤルします。

補足

- 電話帳登録のしかたはP.101を参照してください。
- グループダイヤルの登録のしかたはP.104を参照してください。

注意

■ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳などから連続して2か所以上入力した場合、番号をつなげてダイヤルすることができます。
P.81「チェーンダイヤルを使用する」を参照してください。

■ボタンを押すのを間違えたときは、必ず停止/終了を押し、消去してから再度送信先を入力してください。

電話帳から送信する

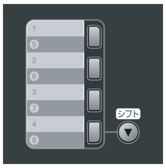
電話帳に登録されている相手先にファクスを送信することができます。

ワンタッチダイヤルを使って送信する

1 ファクスボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 相手先の登録されているワンタッチボタンを押す



- 5～8に登録されている場合はシフトを押しながらワンタッチボタンを押します。

4 相手先の表示を確認して スタート を押す

短縮ダイヤルを使って送信する

1 ファクスボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 を押す

電話帳検索/短縮

```
▼で電話帳検索
番号で短縮
```

4 相手先が登録されている短縮番号（001～200）を押す

5 相手先の表示を確認して スタート を押す

```
03XXXXXXXX
ｴｲｷﾞｮｳ ﾀﾞｲ1
```

電話帳を検索して送信する

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 電話帳検索/短縮 を押す

```
▼で電話帳検索
番号で短縮
```

4 電話帳検索/短縮 を押す

```
検索：
入力&検索ボタン
```

5 探したい名前の最初の文字を入力して OK を押す

6 ▲または▼で目的の名前を検索し、OK を押して確定する

```
検索：エ
エイギョウダイ1　　▼
```

入力した文字から始まる相手先名が50音順またはアルファベット順に表示されます。

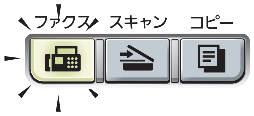
7 相手先の表示を確認して スタート を押す

補足

- 原稿台ガラス使用時に スタート を押したときは、読み取り終了後、2 ABC を押してください。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは P.121 を参照してください。
- 文字入力のしかたについては P.182 を参照してください。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては P.101 P.102 P.104 を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 再ダイヤル/ポーズ を押す

最後にかけた番号が表示されます。

4 スタート を押す

補足

自動再ダイヤルについて

- 自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します。自動再ダイヤルは5分間隔で3回繰り返します。
- 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
- 自動再ダイヤルを3回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「結果」の欄が「応答がありません」もしくは「話し中」であることを確認し、再度送信してください。
- 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
- 原稿台ガラスからリアルタイム送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- 送信した内容が相手先に届いても、本製品が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

チェーンダイヤルを使用する

短縮ダイヤルの登録番号を、相手先の電話番号やファクス番号の前につなげてダイヤルすることができます。

●短縮003に登録した番号「0000」を、短縮005に登録した電話番号「1234」の前につなげてダイヤルする場合

1 電話帳検索/短縮 を押した後

0 0 3 DEF を押す

2 電話帳検索/短縮 を押した後

0 0 5 JKL を押す

3 スタート を押す

「0000-1234」にダイヤルされます。

●短縮 004 に登録した番号「111」を、電話番号「5678」の前につなげてダイヤルする場合

1 電話帳検索/短縮 を押した後

0 0 4 GHI を押す

2 電話番号 5 JKL 6 MNO 7 PQRS 8 TUV を押す

3 スタート を押す

「111-5678」にダイヤルされます。

補足

電話番号の途中にポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。

ダイヤル制限機能（ファクス誤送信防止）

ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。この機能は、番号直接入力、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルにおいて設定できます。
「オン」に設定すると、ファクス送信を禁止します。
「オフ」に設定すると、通常通りファクス送信を行います。
「2度入力」に設定すると、ファクス番号の再入力が求められ、正しい番号を入力したときのみファクス送信を行います。間違ったファクス番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。

直接入力を制限する

1 メニュー、2 ABC、6 MNO、1 を押す

ﾀﾞｲﾔﾙ制限機能
1. 直接入力

2 ▲または▼で設定を選択する

「オフ」「2度入力」「オン」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

ワンタッチダイヤルを制限する

1 メニュー、2 ABC、6 MNO、2 ABC を押す

ﾀﾞｲﾔﾙ制限機能
2. ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ

2 ▲または▼で設定を選択する

「オフ」「2度入力」「オン」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

短縮ダイヤルを制限する

1 メニュー、2 ABC、6 MNO、3 DEF を押す

ﾀﾞｲﾔﾙ制限機能
3. 短縮ﾀﾞｲﾔﾙ

2 ▲または▼で設定を選択する

「オフ」「2度入力」「オン」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

注意

■外付け電話使用時や オンフック を押してからダイヤルする場合は、「2度入力」設定は働きません。

■ 再ダイヤル/ポーズ を押してダイヤルする操作は禁止できません。

■「オン」または「2度入力」に設定すると、同報送信やチェーンダイヤルは使用できません。

《ファクス送信》

ファクスの便利な送りかた

画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

一時的に変更する

ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると元に戻ります。

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 ファクス画質 を押す

4 ファクス画質 で画質を選択して OK を押す

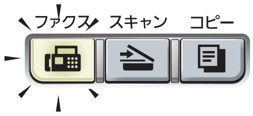
「標準」「ファイン」「スーパーファイン」「写真」の中から選択します。

5 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

設定内容を保持する

ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 2 ABC を押す

送信設定
2.ﾌｧｸｽ画質

4 ▲ または ▼ で画質を選択する

「標準」「ファイン」「スーパーファイン」「写真」の中から選択します。

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

● お買い上げ時は「標準」に設定されています。
- 標準（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
- ファイン（ファインモード）：小さい文字のとき
- スーパーファイン（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
- 写真（写真モード）：写真を含む原稿のとき

● ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。

● 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

原稿濃度を設定する

原稿に合わせ濃度を変更しファクスを送信します。ファクスの送信が終わると「自動」に戻ります。

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 1 を押す

送信設定
1. 原稿濃度

4 ▲ または ▼ で原稿濃度を選択する

「自動」「薄く」「濃く」の中から選択します。

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

原稿濃度は、以下の3種類の中から選択します。お買い上げ時は「自動」に設定されています。
- 自動 ：普通の文字の原稿が多いときに設定します。
- 薄く ：濃い色の原稿が多い場合に設定します。
- 濃く ：えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。

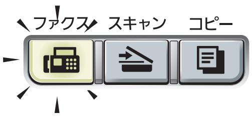
送付書を付けて送信する

ファクスに送付書をつけて送信することができます。送付書には相手先名、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、コメントなどが印刷されます。

注意

発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。P.52 を参照してください。

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 7 PQRS を押す

送信設定
7. 送付書

4 ▲または▼で送付書の設定を選択して OK を押す

「今回のみ：オン」「今回のみ：オフ」「オン」「オフ」「印刷サンプル」の中から選択します。

- 「印刷サンプル」を選んだ場合：OK を押して スタート を押します。
- 「オン」「今回のみ：オン」を選んだ場合：手順5へ進んでください。
- 「オフ」「今回のみ：オフ」を選んだ場合：手順8へ進んでください。

5 ▲または▼でコメントを選択して OK を押す

6 送信枚数を入力する

送信枚数は、「今回のみ：オン」を選択した場合のみです。

7 OK を押す

8 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

9 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- 手順4では以下の5つの中から選んでください。
  - 「オン」：毎回送付書をつける
  - 「オフ」：毎回送付書をつけない
  - 「今回のみ：オン」：今回のみ送付書をつける
  - 「今回のみ：オフ」：今回のみ送付書をつけない
  - 「印刷サンプル」：プリントサンプルを出力する
- 手順５での送付書のコメントは下記の６種類の中から選べます。
  - 1.コメント無し
  - 2.お電話ください
  - 3.至急
  - 4.親展
  - 5.（オリジナル コメント）
  - 6.（オリジナル コメント）

  ２種類のオリジナル　コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたはP.87 を参照してください。
- 送付書送信を「オン」に設定したときには、送信枚数の設定はできません。
- 送付書の、「ＴＯ：」の名前はあらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。P.101 を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

オリジナルコメントを作成し、送付書として登録することができます。

1 メニュー 2 ABC 2 ABC 8 TUV を押す

送信設定
8.送付書ｺﾒﾝﾄ

2 ▲または▼でコメントを登録する箇所を選択し、OK を押す

コメントは5か6に登録できます。

3 コメントを入力して OK を押す

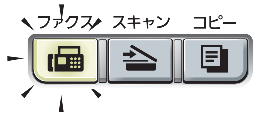
4 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

補足
コメントは27文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては P.182 を参照してください。

同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します（ダイヤルボタンで最大50か所、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルと合わせて最大258か所まで指定できます）。

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 相手先のファクス番号を入力して OK を押す

このとき、電話帳に登録されている電話番号を選択することもできます。

例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

▼（電話帳検索/短縮） 0 0 1 を押します。

4 手順3のように2件目以降の相手先を入力して OK を押す

1件登録するごとに下の画面が表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙしてください
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください

☞ 次ページへ続く

5 すべての相手先を入力して スタート を押す

- 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。
- 同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

補足

- 送信途中でキャンセルするには 停止/終了 を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は メニュー 2 ABC 7 PQRS で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。P.93 を参照してください。
- 送信先を間違えたときは、停止/終了 を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読込み中に「メモリーがいっぱいです」と表示されたら 停止/終了 を押して中止してください。原稿が複数枚の場合は、スタート を押して読み込まれた分だけ送信することもできます。

原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 5 JKL を押す

送信設定
5. リアルタイム送信

4 ▲ または ▼ でリアルタイム送信の設定を選択する

「今回のみ：オン」「今回のみ：オフ」「オン」「オフ」の中から選択します。

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- リアルタイム送信を「オン」に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- リアルタイム送信が「オン」に設定されている場合、ポーリング送信とタイマー送信は設定することができません。
- 原稿台ガラスからの送信の場合、原稿は１枚しか送信できません。
- 原稿台ガラスから送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- メモリーがいっぱいになると、「オフ」に設定されていてもリアルタイム送信されます。

相手の操作で原稿を送信する

相手側のファクシミリからの操作で、本製品にセットした原稿を自動的に送信します。
これを「ポーリング送信」といいます。

標準ポーリング送信をする

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 6 MNO を押す

送信設定
6.ポーリング送信

4 ▲または▼で「標準」を選択する

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

7 スタート を押す

原稿がメモリーに読み込まれます。

補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング送信の場合、通話料は相手側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときはP.93を参照してください。
- リアルタイム送信が「オン」に設定されている場合、ポーリング送信は設定することができません。リアルタイム送信を「オフ」に設定してください。P.88を参照してください。

機密ポーリング送信をする

受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用して、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れることができます。
機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と４桁のパスワードを決めておく必要があります。受信側とパスワードが一致したときだけ送信することができます。

1 ファクス ボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2 ABC 2 ABC 6 MNO を押す

```
送信設定
6.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ 送信
```

4 ▲または▼で「機密」を選択して OK を押す

5 ダイヤルボタンで４桁のパスワードを入力する

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ 送信
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ :XXXX
```

6 OK を押す

7 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 ABC を押す

8 スタート を押す

原稿がメモリーに読み込まれます。

補足

相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「オン」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1 ファクスボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 メニュー 2ABC 2ABC 9WXYZ を押す

送信設定
9. 海外送信ﾓｰﾄﾞ

4 ▲または▼で「ｵﾝ」を選択する

5 OK を押す

6 他の設定を続けるときは 2ABC を、終了するには 1 を押す

7 相手先のファクス番号を入力して スタート を押す

補足

- お買い上げ時は「ｵﾌ」に設定されています。
- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから スタート を押して送信してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「ｵﾌ」に戻ります。
- 海外送信モードを「ｵﾝ」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

1 ［ファクス］ボタンを押して緑色に点灯させる

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 ［メニュー］［2 ABC］［2 ABC］［3 DEF］を押す

```
送信設定
3.ﾀｲﾏｰ送信
```

4 送信する時刻を入力する

例：午後3時5分の場合は「1505」

```
ﾀｲﾏｰ送信
指定時刻=15:05
```

5 ［OK］を押す

6 他の設定を続けるときは［1］を、終了するには［2 ABC］を押す

7 相手先のファクス番号を入力して［スタート］を押す

補足

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。
- 相手が話し中などで送信できなかったときは、５分おきに３回まで再ダイヤルします。
- リアルタイム送信が「ｵﾝ」に設定されている場合、タイマー送信は設定することができません。リアルタイム送信を「ｵﾌ」に設定してください。
P.88 を参照してください。

メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信する時間が同じものがある場合、1 回の通信で設定された時間に送信することができます。

1 メニュー 2 ABC 2 ABC 4 GHI を押す

送信設定
4. とりまとめ送信

2 ▲または▼で「オン」を選択する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足
お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリー送信の待ち状況を確認できます。
メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1 メニュー 2 ABC 7 PQRS を押す

ファクス
7. 通信待ち確認

2 ▲または▼で解除する内容を選択する

確認のみのときは 停止/終了 を押します。

3 OK を押す

4 解除するときは 1 を押す

解除を中止するときは 2 ABC を押します。

5 停止/終了 を押す

補足
送信待ちのファクスがないときには「設定がされていません」と表示されます。

《ファックス受信》

ファクスを受信する

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1 メニュー 2 ABC 1 5 JKL を押す

受信設定
5. 自動縮小

2 ▲または▼で「オン」を選択する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「オン」に設定されています。
- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約375mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約375mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小を「オフ」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう１枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小を「オン」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- 送信側の原稿サイズがA3やB4などの場合は、送信側で縮小しますので、この機能を「オフ」にしても縮小して受信されます。

印刷の濃さを設定する

受信するファクスの印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

1 メニュー 2 ABC 1 6 MNO を押す

受信設定
6. 印刷濃度

2 ▲または▼で印刷濃度を設定する

▲を押すと濃くなり、▼を押すと薄くなります。

印刷濃度
▼ −□□■□□+ ▲

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本製品は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに蓄積します（メモリー代行受信）。

- カバーが開いているとき（カバーが開いています）
- 記録紙がなくなったとき（記録紙を送れません）
- トナーがなくなったとき（トナーがありません）
- 記録紙がつまったとき（紙詰まり　XXX）
- 記録紙のサイズを間違ってセットしたとき（用紙サイズが合いません）

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されます。

注意

メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

手動でファクスを受信する

呼出ベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話の受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

1 呼出ベルが鳴ったら、本製品に接続されている電話の受話器を取る

2 「ポーポー」と音がしていたら本製品に接続されている電話機でリモート起動番号「#51」を押すか、スタート を押す

3 2 ABC を押す

相手と通話したあとファクスを受信したいときは、ファクス を押してファクスモードにしてから スタート を押し、2 ABC を押してファクスを受信します。

4 受話器を戻す

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては P.53 を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を「オン」に設定している場合は、そのまま約７秒間待つと自動でファクスを受信できます。P.96 を参照してください。
- 呼出回数を７～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を６回以下に設定されることをお勧めします。
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認してから スタート を押し、2 ABC を押してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後にファクスを受信します。

リモート受信するとき

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

補足

リモート受信については P.97 を参照してください。

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、本製品に接続されている電話機でリモート起動番号「#51」を押す

注意

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

補足

本製品の スタート を押し、2 ABC を押してもファクスを受信できます。

親切受信で受信する

本製品に接続されている電話機の受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま７秒待つと、自動的にファクスを受信することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 3 DEF **を押す**

受信設定
3. 親切受信

2 ▲ **または** ▼ **で「オン」を選択する**

親切受信
オン　＊

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

受信時の操作

- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- 親切受信を「オン」に設定している場合は、本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポー、ポー」という音が聞こえた場合に約７秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「受信中」と表示されたら受話器を戻します。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスに切り替わらないときがあります。
  そのときは スタート を押し、2 ABC を押してください。
- 親切受信を「オフ」に設定している場合は、本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、スタート を押し、2 ABC を押して受信します。この時、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「オフ」に設定してください。
- 親切受信の設定が「オフ」に設定してある場合でも、本製品に接続されている電話機から操作をしてリモート受信を開始させることができます。
  P.97 を参照してください。
- 親切受信機能は、本製品に接続されている電話機を上げてから40秒有効です。40秒経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕

親切受信機能をオンに設定しているときは、本製品に接続されている電話機の受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。P.96 を参照してください。親切受信がうまくはたらかないとき、または親切受信の設定が「ｵﾌ」になっている場合は、本製品に接続されている電話機を操作してファクスを受信させることができます。

1 **本製品に接続されている電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「#51」を入力する**

受話器は約5秒後に戻します。
本製品がファクス受信を始めます。

補足

リモート起動番号は「#51」に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。P.97「リモート受信を設定する／リモート起動番号を変更する」を参照してください。

注意

■ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

■リモート受信するには、メニュー 2 ABC 1 4 GHI で「ﾘﾓｰﾄ受信」を「ｵﾝ」に設定しておく必要があります。P.97 を参照してください。

リモート受信を設定する／リモート起動番号を変更する

リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することができます。下記の手順で設定してください。

1 メニュー **2 ABC** **1** **4 GHI** **を押す**

受信設定
4.ﾘﾓｰﾄ受信

2 ▲ **または** ▼ **で「ｵﾝ」を選択する**

ﾘﾓｰﾄ受信
ｵﾝ

3 OK **を押す**

リモート起動番号が表示されます。
リモート起動番号（3桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

4 OK **を押す**

5 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「ｵﾌ」に設定されています。
- リモート起動番号とは、本製品に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

本製品の操作で相手の原稿を受信する

本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。
これを「ポーリング受信」といいます。

標準ポーリング受信をする

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す

受信設定
7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ 受信

2 ▲ または ▼ で「標準」を選択して OK を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ 受信
標準　＊

3 相手先のファクス番号を入力する

4 スタート を押す

ダイヤルを開始します。

補足

- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。
- FAX情報サービスからデータの取り出しをする場合は、事前に情報提供先に操作方法等の確認をしてください。
- ポーリング受信の場合、通話料は受信側の負担となります。

順次ポーリング受信をする

1回の操作で、最大258か所の相手先からファクシミリにセットされた原稿を順次に受信します。これを「順次ポーリング受信」といいます。

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す

受信設定
7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ 受信

2 ▲ または ▼ で「標準」を選択して OK を押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ 受信
標準　＊

3 ポーリング受信する相手先のファクス番号を入力して OK を押す

電話帳に登録されている番号を選択することもできます。

例：短縮ダイヤルから指定する（001番を指定するとき）

▼(電話帳検索/短縮) 0 0 1 を押します。

4 2件目以降の相手先を手順3のように入力し、OK を押す

5 すべての相手先を入力する

6 スタート を押す

ダイヤルを開始します。

機密ポーリング受信をする

受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用してパスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。
機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と4桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す

受信設定
7.ポーリング受信

2 ▲または▼で「機密」を選択して OK を押す

ポーリング受信
機密

3 ダイヤルボタンで4桁のパスワードを入力する

4 OK を押す

5 相手先のファクス番号を入力する

6 スタート を押す

ダイヤルを開始します。

補足

相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

時刻指定ポーリングの設定をする〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 7 PQRS を押す

受信設定
7.ポーリング受信

2 ▲または▼で「タイマー」を選択して OK を押す

ポーリング受信
タイマー

3 指定時刻を入力する

例：午後3時15分の場合は「1515」

ポーリング受信
指定時刻=15:15

4 OK を押す

5 相手先のファクス番号を入力する

6 スタート を押す

指定時刻になると、自動的にポーリング受信を開始します。

補足

時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは P.93 を参照してください。

受信スタンプを設定する

ファクスを印刷するときに、受信した日時と本製品の発信元情報を印刷することができます。

1 メニュー 2 ABC 1 8 TUV **を押す**

```
受信設定
8.受信ｽﾀﾝﾌﾟ
```

2 ▲ **または** ▼ **で「ｵﾝ」を選択する**

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「ｵﾌ」に設定されています。

注意

あらかじめ本製品の日付と時刻を正しく設定しておいてください。

《電話帳》

電話帳を作成する

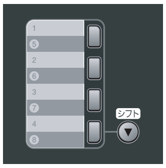
ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までの電話番号と20文字までの相手先の名称を、1～8（最大8件）に登録することができます。変更のしかたについてはP.102を参照してください。

1 メニュー 2 ABC 3 DEF 1 **を押す**

電話帳登録
1. 電話帳/ﾜﾝﾀｯﾁ

2 登録するワンタッチボタンを押す



- 5～8に登録するときは、シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。

3 相手先の電話番号を入力して OK を押す

- 電話番号は20桁まで入力できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。

4 相手先の名前を入力して OK を押す

- 名前は20文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま OK を押してください。

5 読みがなを入力して OK を押す

6 MFC-7340

OK を押す

続けて登録する場合は、手順2～5を繰り返します。

MFC-7840W

解像度の変更が必要な場合は、▲ または ▼ でファクスの解像度を選択し、OK を押す

- 「標準」「ﾌｧｲﾝ」「ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ」「写真」から選択します。
- 解像度の選択が必要ない場合は、「標準」と表示されている状態のまま次へ進んでください。
- 続けて登録する場合は、手順2～6を繰り返します。

7 停止/終了 を押す

補足

- 相手先の登録を漢字で行いたい場合は、リモートセットアップまたはウェブブラウザをお使いください。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。
- ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に ＊ を押してください。
- 電話番号にスペースを入れるときは、▶ を押してカーソルを右に移動させます。(文字のときは ▶（2回押）でスペースを入れることができます）
- 文字入力のしかたについてはP.182を参照してください。
- ワンタッチダイヤルはリモートセットアップやウェブブラウザからでも登録できます。詳しくは画面で見るマニュアル(HTML形式)を参照してください。
- ポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。液晶ディスプレイに「p」が表示されます。
- ワンタッチダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷して確認してください。P.121を参照してください。

注意

■ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.86 を参照してください。

■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

ワンタッチダイヤルを変更する

1 メニュー 2 ABC 3 DEF 1 **を押す**

```
電話帳登録
1. 電話帳/ﾜﾝﾀｯﾁ
```

2 **変更するワンタッチボタンを押す**

登録されている内容が表示されます。

```
#005:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
変更しますか 1.はい 2.いいえ
```

3 1 **を押す**

変更しないときは、2 ABC を押します。

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

登録しているワンタッチダイヤルを削除するには、1 を押した後、クリア/バック を押してすべての電話番号を消去して、OK を押します。

4 **新しい相手先の電話番号を入力して OK を押す**

- 電話番号は20桁まで入力できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

5 **新しい相手先の名前を入力して OK を押す**

- 名前は20文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

6 停止/終了 **を押す**

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001～200（最大200件）に登録することができます。
変更のしかたについてはP.103 を参照してください。

1 メニュー 2 ABC 3 DEF 2 ABC **を押す**

```
電話帳登録
2. 電話帳/短縮
```

2 **登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力して OK を押す**

- 001～200の間で入力します。（例：005）
- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。

```
入力&OKﾎﾞﾀﾝ
短縮ﾀﾞｲﾔﾙ?*
```

3 **相手先の電話番号を入力して OK を押す**

- 電話番号は20桁まで入力できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。

4 **相手先の名前を入力して OK を押す**

- 名前は20文字まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま OK を押してください。

5 **読みがなを入力して OK を押す**

6 **MFC-7340**

OK **を押す**

続けて登録する場合は、手順２～５を繰り返します。

MFC-7840W

解像度の変更が必要な場合は、▲または▼でファクスの解像度を選択し、OKを押す

- 「標準」「ファイン」「スーパーファイン」「写真」から選択します。
- 解像度の選択が必要ない場合は、「標準」と表示されている状態のまま次へ進んでください。
- 続けて登録する場合は、手順2～6を繰り返します。

7 停止/終了 **を押す**

補足

● 短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に＊を押してください。

● 電話番号にスペースを入れるときは、▶を押してカーソルを右に移動させます。(文字のときは▶(2回押）でスペースを入れることができます)

● 文字入力のしかたについてはP.182を参照してください。

● 短縮ダイヤルはリモートセットアップやウェブブラウザからでも登録できます。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

● ポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズを押します。液晶ディスプレイに「p」が表示されます。

● 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷して確認してください。P.121を参照してください。

注意

■ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。P.86を参照してください。

■電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

短縮ダイヤルを変更する

1 メニュー 2 ABC 3 DEF 2 ABC **を押す**

```
電話帳登録
2.電話帳/短縮
```

2 **変更する短縮番号をダイヤルボタンで入力してOKを押す**

登録されている内容が表示されます。

```
*005:ｴｲｷﾞｮｳ 1
変更しますか 1.はい 2.いいえ
```

3 1 **を押す**

変更しないときは、2 ABCを押します。

4 **新しい相手先の電話番号を入力してOKを押す**

- 電話番号は20桁まで入力できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は入力できません。
- 変更しないときは、そのままOKを押します。

5 **新しい相手先の名前を入力してOKを押す**

- 名前は20文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのままOKを押します。

6 停止/終了 **を押す**

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、まとめてひとつのグループとして登録します。これをグループダイヤルといいます。送信のたびに複数の相手先を指定する必要がなく、グループを指定するだけで送信できます。同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。変更のしかたについてはP.105を参照してください。

注意

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録方法についてはP.101を参照してください。

1 メニュー 2 ABC 3 DEF 3 DEF を押す

```
電話帳登録
3.電話帳/ｸﾞﾙｰﾌﾟ
```

2 グループダイヤルとして登録するワンタッチまたは短縮ダイヤルを選択する

- **ワンタッチボタンに登録するとき**
  ワンタッチボタンを押します。
  5～8 を登録するときは、シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録するとき**
  電話帳検索/短縮 を押して短縮番号（001～200）を入力し、OK を押します。

3 グループ番号（1 ～ 8）をダイヤルボタンで入力し OK を押す

すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ﾔﾘ直シテクダサイ」と表示されます。登録されていないグループ番号を選んでください。

```
電話帳/ｸﾞﾙｰﾌﾟ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ:G01
```

4 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力する

例）ワンタッチボタンの「5」と短縮ダイヤルの「009」をグループダイヤルに登録したい場合
・ワンタッチボタンの「5」→ 電話帳検索/短縮 → 0 0 9 WXYZ の順に押します。

```
電話帳/ｸﾞﾙｰﾌﾟ
G01:#005*009
```

5 登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力したら OK を押す

6 グループ名を入力して OK を押す

グループ名は20文字まで登録できます。

7 読みがなを入力して OK を押す

8 MFC-7340

OK を押す

続けて登録する場合は、手順２～7を繰り返します。

MFC-7840W

解像度の変更が必要な場合は、▲ または ▼ でファクスの解像度を選択し、OK を押す

- 「標準」「ﾌｧｲﾝ」「ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ」「写真」から選択します。
- 解像度の選択が必要ない場合は、「標準」と表示されている状態のまま次へ進んでください。
- 続けて登録する場合は、手順2～8を繰り返します。

補足

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録したファクスの解像度は、グループダイヤルには反映されません。グループダイヤルを使ってファクス送信する場合は、グループダイヤルに登録した解像度が優先されます。

9 停止/終了 を押す

補足

- 1つのグループダイヤルには、最大207件まで登録できます。
- 文字入力のしかたについては P.182 を参照してください。
- グループダイヤルはリモートセットアップやウェブブラウザからでも登録できます。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。
- 登録したグループが分からなくなったときは電話帳リストを印刷して確認してください。P.121 を参照してください。

注意

グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

グループダイヤルを変更する

1 メニュー 2 ABC 3 DEF 3 DEF を押す

```
電話帳登録
3.電話帳/グループ
```

2 変更するグループが登録されているワンタッチまたは短縮ダイヤルを選択する

```
G01:ｴｲｷﾞｮｳ
変更しますか 1.はい 2.いいえ
```

3 1 を押す

変更しないときは、2 ABC を押します。

補足

グループダイヤルを削除するには

1 を押した後、グループに登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル番号の前で クリア/バック を押すとその番号がグループダイヤルから消去されます。確定する場合は OK を押します。

4 変更するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力して OK を押す

変更しないときは、そのまま OK を押します。

```
電話帳/グループ
G01:*005#009
```

5 新しいグループ名を入力する

- 名前は20文字まで登録できます。
- 変更しないときは、そのまま OK を押します。

6 OK を押す

7 停止/終了 を押す

《ナンバー・ディスプレイ》

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。

- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する P.122

着信履歴を確認する

1 シフト を押しながら ▼ を押す

```
ﾅﾝﾊﾞｰ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
01)052XXXXXXX
```

2 ▲ または ▼ で電話番号を選択して OK を押す

詳細情報が表示されます。

3 停止/終了 を押す

着信履歴をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する

1 シフト を押しながら ▼ を押す

```
ﾅﾝﾊﾞｰ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
01)052XXXXXXX
```

2 ▲ または ▼ で電話番号を選択して OK を押す

```
02)03XXXXXXXX
   02/24 15:01
```

3 もう一度 OK を押す

4 ワンタッチダイヤルに登録する場合は 1 を、短縮ダイヤルに登録する場合は 2 ABC を押す

5 相手先の名前を入力して OK を押す

- 名前は20文字まで入力できます。
- 登録は未登録番号の一番若い番号にされます。
- 番号に空きがないときは「登録がいっぱいです」と表示されたあと、手順4に戻ります。

```
#001:03XXXXXXXX
ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ
```

6 読みがなを入力して OK を押す

7 必要な場合は、▲ または ▼ でファクスの解像度を選択し、OK を押す

「標準」「ファイン」「スーパーファイン」「写真」から選択します。

8 停止/終了 を押す

補足

「外付け電話優先」でご使用の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

3章

転送・リモコン機能

《転送機能》

ファクス転送と電話呼び出し機能

ファクス転送と電話呼び出し機能について

ファクスがメモリーに蓄積されると、外出先のファクスへ転送（ファクス転送）したり、外出先の電話に知らせたり（電話呼び出し機能）することができます。

ファクス転送の流れ

受信したファクスを、他の場所のファクシミリに転送することができます。

1 留守中にファクスを受信

↓

2 ファクスをメモリーに蓄積

↓

3 登録したファクス転送番号をダイヤル

↓

4 メモリーに蓄積したファクスを転送先のファクシミリに送信

補足

電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

ファクス転送を設定する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送する機能です。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 1 を押す

```
応用機能
1.転送/メモリー受信
```

2 ▲または▼で「ファクス転送」を選択して OK を押す

3 転送先番号（転送先の電話番号）を入力して OK を押す

登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルも指定できます。

```
ファクス転送
#:
```

4 ▲または▼で、印刷の設定を選択する

```
本体でも印刷
する                    *
```

- 「する」：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「しない」：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。P.117 を参照してください。
- 転送先番号は最大 20 桁まで入力できます。（カッコやハイフンは入力できません。）
- ファクスが転送されると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。
- ファクス転送前に停電が発生したり、転送先のファクスに問題が発生した場合、ファクスデータがメモリーに保存され、4日間は電源スイッチをOFFにしても消去されません。

電話呼び出し機能の流れ

1 留守中にファクスを受信

↓

2 ファクスをメモリーに蓄積

↓

3 登録した呼び出し先の電話番号にダイヤル

↓

4 電話に出ると、「ポッポッ」という音でファクスを受信したことを知らせます。

電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に電話呼び出しをする機能です。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 1 **を押す**

```
応用機能
1. 転送/メモリー受信
```

2 ▲ **または** ▼ **で「電話呼び出し」を選択して** OK **を押す**

3 **呼び出し先番号を入力する**

最大20桁まで入力できます。

```
電話呼び出し
#:
```

4 OK **を押す**

5 停止/終了 **を押す**

補足

- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。P.117 を参照してください。

注意

電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

《転送機能》

ファクスを本製品のメモリーやパソコンで受信する

受信したファクスを本製品のメモリーに蓄積したり、本製品と接続しているパソコンに転送することができます。

メモリー受信を設定する

メモリー受信を設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積して外出先から取り出すことができます。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 1 を押す

応用機能
1. 転送/メモリー受信

2 ▲または▼で「メモリー受信」を選択する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- メモリー受信は最大500ページまでできます。（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します。）
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「オフ」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリーに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないまま、メモリー受信を「オフ」にすると「ファクスを消去しますか？　1.はい　2.いいえ」が表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、2 ABC を押してください。1 を押すとメモリーから消去されます。

パソコンでファクスを受信する（PCファクス受信）

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスを本製品に蓄積してパソコンに接続したとき、まとめてパソコンに転送します。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 1 を押す

応用機能
1. 転送/メモリー受信

2 ▲または▼で、「PCファクス受信」を選択し、OK を押す

3 ▲または▼で、パソコンが接続されているインターフェースを選択し、OK を押す

▲▼で選択&OKボタン
<USB>

補足

ネットワーク接続されているパソコンでPCファクス受信を行う場合は、パソコン側で**PC-FAX受信**を起動してから行ってください。

画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

4 ▲または▼で、印刷の設定を選択する

```
本体でも印刷
する              ＊
```

- 「する」：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「しない」：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

注意

パソコンでファクスを受信したい場合は、本製品の設定を必ず「PCファクス受信」にしてください。

補足

- お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- ファクスがメモリーに残っている状態で、手順４で「しない」を選択しても、受信したファクスのデータがメモリーに残っている場合は、消去しないと「しない」に設定できません。「すべてのファクスをプリントしますか？」または「ファクスを消去しますか？」と表示されたら 1 を押して印刷、消去してください。2 ABC を押すと「しない」に設定できず、データはメモリーに残ります。
- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照してください。
- パソコンからファクスを送信する方法については、画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照してください。

メモリーに受信したファクスを印刷する

メモリー受信が設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリーから消去します。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 3 DEF を押す

```
応用機能
3.ファクス出力
```

2 スタート を押す

印刷を開始します。

3 印刷終了後 停止/終了 を押す

補足

メモリーに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「データがありません」と表示されますので 停止/終了 を押してください。

《リモコン機能》

外出先から本製品を操作する:リモコンアクセス

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本製品を操作するための暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定します。

1 メニュー 2 ABC 5 JKL 2 ABC **を押す**

応用機能
2. 暗証番号

2 **暗証番号を入力する**

ダイヤルボタンで３桁の番号を入力してください。
（暗証番号は最後に「＊」を加えた４桁の番号になります。）

3 OK **を押す**

4 停止/終了 **を押す**

補足

暗証番号は「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の「＊」は変えることができません。

外出先から本製品を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い､外出先から本製品を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

1 **外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする**

2 **本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字＋(＊))を入力する**

「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 **次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる。この間に、リモコンコードを入力する**

補足

リモコンコードは､外出先から本製品に対する設定を変更するための番号です。P.116 を参照してください。

4 **リモコンアクセスを終了するときは、(9)(0)を入力する**

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。
- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
  - **ファクス専用モードのとき**
    メモリー受信の場合、本製品が応答すると、約 4 秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。
  - **自動切替モードのとき**
    本製品が応答すると約 4 秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - **外付け留守電モードのとき**
    本製品に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（本製品に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4〜5秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - **電話モードのとき**
    呼出ベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1 つのリモコンコードの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のリモコンコードを入力することができます。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本製品を下記のように操作することができます。

機　　　　能	コード
メモリー受信を解除します。（電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます）	951
ファクス転送に設定します。（番号未登録時は設定できません）	952
電話呼び出しに設定します。（番号未登録時は設定できません）	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、(#)を２回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「On」になります。	954
メモリー受信を設定します。	956
メモリーに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「自動切替モード」に変更します。	982
受信モードを「ファクス専用モード」に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」について手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+(＊))を入力する

「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(6)(2)を押す

4 外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に(#)を2回押す

ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+(＊))を入力する

3 「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(5)(4)を押す

4 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に(#)を2回押す

転送番号は最大20桁まで入力できます。

5 「ピー」という応答音が聞こえたら、(9)(0)を押して受話器を戻す

正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

- 「＊」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、
  (#)を1回押します。
  (#)を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順 2 の操作を行ってください。

Memo

4章

レポート・リスト

レポート・リストの印刷

本製品では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

No	レポート・リスト	内容
1	送信レポート	最新の送信・受信履歴200件の中から、送信履歴のみを表示します。または最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
2	機能案内リスト	機能の解説を印刷します。
3	電話帳リスト	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。
4	通信管理レポート	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
5	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6	着信履歴リスト	着信した履歴を印刷します。
7	LAN設定内容リスト（MFC-7840Wのみ）	ネットワークの設定内容を印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

- タイマー通信レポート
  タイマー通信が終了すると印刷されます。
- ポーリングレポート
  ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- 同報送信レポート
  同報送信が終了すると印刷されます。

注意

電源スイッチをOFFにしたまま４日間以上放置すると、以下の内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

- 送信レポート
- 通信管理レポート
- 着信履歴リスト

送信レポートを表示または印刷する

最新の送信・受信履歴200件の中から、送信履歴のみを表示します。
送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を表示または印刷します。

1 レポート を押す

2 ▲または▼で「送信レポート」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
1. 送信レポート

3 OK を押す

4 ▲または▼で「表示」または「印刷」を選択する

5 OK を押す

機能案内リストを印刷する

機能の解説を印刷します。

1 レポート を押す

2 ▲または▼で「機能案内」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
2. 機能案内

3 OK を押す

電話帳リストを印刷する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。

1 レポート を押す

2 ▲または▼で「電話帳リスト」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
3. 電話帳リスト

3 OK を押す

4 ▲または▼で「メモリー番号順」または「名前順」を選択する

5 OK を押す

通信管理レポートを印刷する

最大200件分の最新の送受信結果を印刷します。

1 レポート を押す

2 ▲または▼で「通信管理レポート」を選択する

▲▼で選択&OKボタン
4. 通信管理レポート

3 OK を押す

設定内容リストを印刷する

各種機能に登録･設定されている内容を印刷します。

1 [レポート] を押す

2 [▲]または[▼]で「設定内容リスト」を選択する

```
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
5.設定内容ﾘｽﾄ
```

3 [OK] を押す

着信履歴リストを印刷する

着信した履歴を印刷します。

1 [レポート] を押す

2 [▲]または[▼]で「着信履歴リスト」を選択する

```
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
6.着信履歴ﾘｽﾄ
```

3 [OK] を押す

LAN設定内容リストを印刷する（MFC-7840Wのみ）

ネットワークの設定内容を印刷します。

1 [レポート] を押す

2 [▲]または[▼]で「LAN設定内容リスト」を選択する

```
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
7.LAN設定内容ﾘｽﾄ
```

3 [OK] を押す

送信レポートの出力を設定する

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。

1 メニュー 2ABC 4GHI 1 を押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ 設定
1.送信ﾚﾎﾟｰﾄ
```

2 ▲または▼で印刷する送信レポートの出力設定を選択する

「ｵﾝ」「ｵﾝ+ｲﾒｰｼﾞ」「ｵﾌ」「ｵﾌ+ｲﾒｰｼﾞ」の中から選択します。

```
送信ﾚﾎﾟｰﾄ
ｵﾌ+ｲﾒｰｼﾞ
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

- お買い上げ時は「ｵﾌ+ｲﾒｰｼﾞ」に設定されています。
- 印刷する送信レポートの出力設定は、以下の４種類の中から選択します。
  - ｵﾝ： 送信後に毎回自動的に印刷します。
  - ｵﾝ+ｲﾒｰｼﾞ：「ｵﾝ」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
  - ｵﾌ： 通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
  - ｵﾌ+ｲﾒｰｼﾞ：「ｵﾌ」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
- リアルタイム送信時には画像は印刷されません。

通信管理レポートの出力間隔を設定する

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

1 メニュー 2ABC 4GHI 2ABC を押す

```
ﾚﾎﾟｰﾄ設定
2.通信管理間隔
```

2 ▲または▼で間隔を設定して OK を押す

- 「ﾚﾎﾟｰﾄ出力しない」「50件ごと」「6時間ごと」「12時間ごと」「24時間ごと」「2日ごと」「7日ごと」の中から選択します。
- 「7日ごと」を設定したときは、曜日を▲または▼で選択して OK を押してください。

```
通信管理間隔
50件ごと                *
```

3 開始時間を入力する

開始時間は、「50件ごと」「ﾚﾎﾟｰﾄ出力しない」以外を選択した場合のみです。

補足

通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリーから消去されます。

4 OK を押す

5 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「50件ごと」に設定されています。

Memo

5章

コピー

コピーをする

コピー設定

《コピーをする》

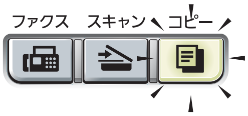
コピーをする

補足

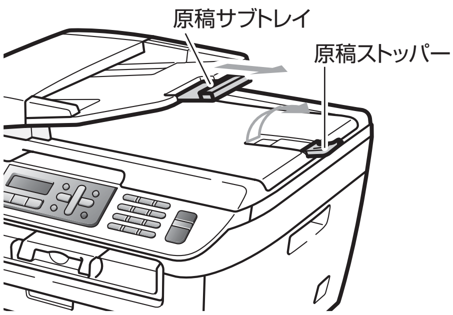
- コピーを途中でキャンセルする場合は、停止/終了を押してください。
- インクやのり、修正液などがついている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。原稿台ガラスやスキャナ読み取り部が汚れ、印字品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナ読み取り部の清掃については、P.144 を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーする

1 コピー ボタンを押して緑色に点灯させる



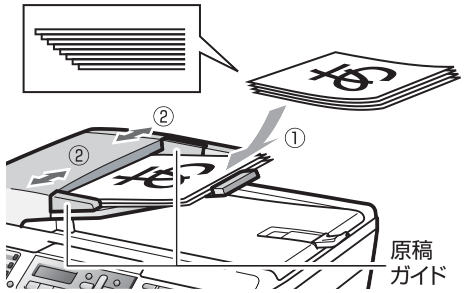
2 原稿の大きさに合わせて原稿サブトレイを引き出し、原稿ストッパーを起こす



3 原稿のコピーする面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む（①）

原稿は一度に35枚までセットできます。

原稿ガイドを原稿の幅に合わせる（②）



4 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

複数のコピーを仕分けしてコピー（ソートコピー）するときはP.130 を参照してください。

5 スタート を押す

補足

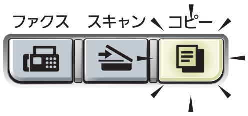
- ADF（自動原稿送り装置）に複数の原稿をセットすることで、連続してコピーすることができます。
- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまったときはP.136 を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。

注意

ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。原稿台ガラスからコピーしてください。

原稿台ガラスからコピーする

1 コピー ボタンを押して緑色に点灯させる



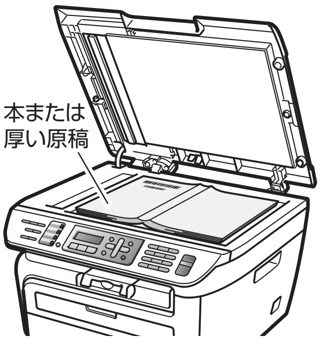
2 原稿台カバーを持ち上げる

3 原稿台ガラスに原稿のコピーする面を下にセットする

左右方向は左端に、前後方向は左側の原稿ガイドに合わせて中央にセットします。

4 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押さえてください。



5 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

6 スタート

を押す

補足

- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- 原稿台ガラスは常にきれいにしておきましょう。汚れていると、きれいなコピーができません。
P.144 を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。
- ソートコピーする場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーしてください。P.130 を参照してください。

「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは

コピー中に本製品内部のメモリーがいっぱいになると、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メモリーがいっぱいです

停止/終了 を押すとコピーがキャンセルされます。

メモリーに受信したファクスを印刷して、コピー時に使用できるメモリーを確保してください。

P.113 を参照してください。

補足

「メモリーがいっぱいです」のメッセージが表示されたとき、メモリーを確保するためにまず受信したファクスを印刷すれば、コピーすることができます。

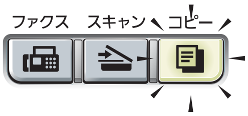
《コピー設定》

一時的に設定する

拡大･縮小コピーをする

一時的に倍率を変えてコピーすることができます。

1 コピー ボタンを押して緑色に点灯させる



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1～99）をダイヤルボタンで入力する

4 拡大/縮小 を押す

5 拡大/縮小 を押した後、▲または▼で倍率を選択する

```
拡大/縮小
100%
```

倍率は以下の中から選択します。

- 200%
- 141%　A5→A4
- 115%　B5→A4
- 100%
- 97%　USレター→A4
- 94%　A4→USレター
- 91%　フルページ
- 87%　A4→B5
- 83%　最大→A4
- 70%　A4→A5
- 50%
- カスタム
（25%～400%：ダイヤルボタンで入力）

6 OK を押す

「カスタム」を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25% ～ 400%）を入力して OK を押してください。

7 スタート を押す

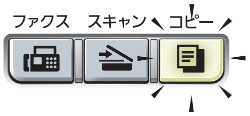
補足

- お買い上げ時は「100%」に設定されています。
- 原稿によっては画像が欠ける場合があります。

画質を設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

1 [コピー] ボタンを押して緑色に点灯させる



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 [オプション] を押し、[▲] または [▼] で「コピー画質」を選択して [OK] を押す

5 [▲] または [▼] でコピーの画質を選択する

「自動」「テキスト」「写真」の中から選択します。

```
コピー画質
自動            ▲▼
```

- 「自動」：自動的に画質を調整します。
- 「テキスト」：薄い文字をはっきりと印刷します。
- 「写真」：グラデーションをきれいに印刷します。

6 [OK] を押す

7 [スタート] を押す

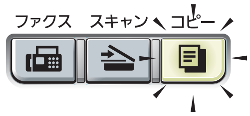
補足

お買い上げ時は「自動」に設定されています。

コントラストを調整する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

1 [コピー] ボタンを押して緑色に点灯させる



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 [オプション] を押し、[▲] または [▼] で「コントラスト」を選択して [OK] を押す

5 [▲] または [▼] でコピーのコントラストを調整する

- コントラストは5段階で調整できます。
- [▲] を押すと濃くなり、[▼] を押すと薄くなります。

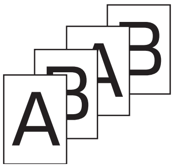
```
コントラスト
 ▼ −□□■□□+  ▲
```

6 [OK] を押す

7 [スタート] を押す

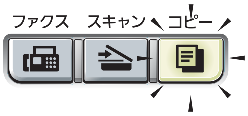
ソートコピーを設定する

一時的にソートコピーすることができます。



ソートコピー

1 コピー ボタンを押して緑色に点灯させる



2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

原稿台からソートコピーはできません。

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、▲または▼で「スタック/ソート コピー」を選択して OK を押す

オプション
スタック/ソート コピー

5 ▲または▼で「ソートコピー」を選択して OK を押す

6 スタート を押す

補足

コピー枚数は99部まで設定できます。100部以上コピーする場合は、再度設定してください。

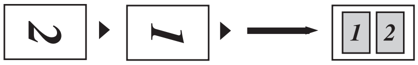
補足

原稿の読み込み中に「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは P.113 を参照してください。

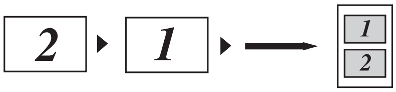
N in 1コピー

コピーのしかたを以下の種類から選択できます。

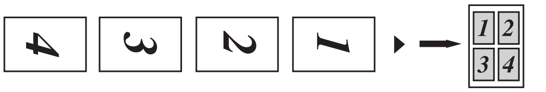
〈2 in 1（タテ長）〉



〈2 in 1（ヨコ長）〉



〈4 in 1（タテ長）〉

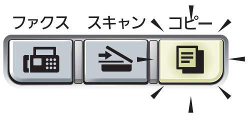


〈4 in 1（ヨコ長）〉

N in 1コピーのしかた

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

1 コピー ボタンを押して緑色に点灯させる



2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力する

4 オプション を押し、▲または▼で

「レイアウトコピー」を選択して OK を押す

```
オプション
レイアウト コピー
```

5 ▲または▼でレイアウトを選択して

OK を押す

「2 in 1（タテ長）」「2 in 1（ヨコ長）」「オフ（1in1）」「4 in 1（タテ長）」「4 in 1（ヨコ長）」の中から選択します。

```
レイアウト コピー
2in1 (タテ長)
```

6 スタート を押す

原稿を読み取ります。

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしていたときは順次原稿を読み取り、コピーが開始されます。（これで操作は終了です。）
- 原稿台ガラスに原稿をセットしていたときは、手順7に進みます。

7 1 を押す

```
次の原稿ありますか?
1.はい 2.いいえ
```

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

原稿を読み取り、コピーが開始されます。
コピーするすべての原稿に対してこの操作を繰り返します。

9 すべての原稿を読み取った後、2 ABC を押す

補足

- N in 1コピーでは、拡大／縮小機能は使えません。
- 記録紙のサイズは「A4」または「USレター」がセットされていることを確認してください。

《コピー設定》

設定内容を保持する

お買い上げ時の本製品の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。一時的に設定内容を変更する場合はP.128を参照してください。

画質の設定を変更する

「画質」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 メニュー 3 DEF 1 を押す

```
ｺﾋﾟｰ
1.ｺﾋﾟｰ画質
```

2 ▲または▼で画質を選択する

「ﾃｷｽﾄ」「写真」「自動」の中から選択します。

```
ｺﾋﾟｰ画質
自動           *
```

- 「テキスト」：薄い文字をはっきりと印刷します。
- 「写真」：グラデーションをきれいに印刷します。
- 「自動」：自動的に画質を調整します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

補足

お買い上げ時は「自動」に設定されています。

コントラストの設定を変更する

「ｺﾝﾄﾗｽﾄ」の設定を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 メニュー 3 DEF 2 ABC を押す

```
ｺﾋﾟｰ
2.ｺﾝﾄﾗｽﾄ
```

2 ▲または▼でコントラストを調整する

コントラストは5段階で調整できます。
▲を押すと濃くなり、▼を押すと薄くなります。

```
ｺﾝﾄﾗｽﾄ
   ▼ -□□■□□+ ▲
```

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

6章

こんなときは

《日常のお手入れ》

紙づまりについて

紙づまりのときのメッセージ

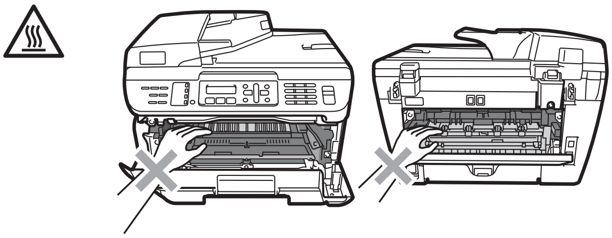
液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

原稿がつまったとき P.136 を参照してください。	原稿詰まり ADF
記録紙がつまったとき P.137 を参照してください。	紙詰まり XXXX

“XXXX”は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

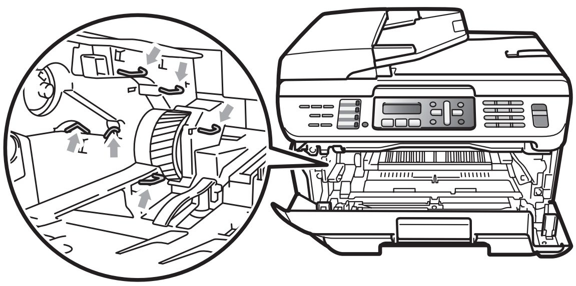
⚠注 意

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、電源を ON にしたまま 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。

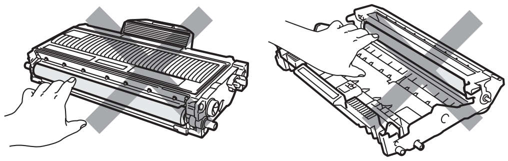


注 意

■本製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが飛び散ることがあります。

■つまった記録紙の表面には触れないでください。トナーで手や衣服が汚れるおそれがあります。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

補足

次の記録紙は紙づまりを起こすおそれがあるため、使用しないでください。

- 曲がっていたりカールしている記録紙
- 湿っている記録紙
- ミシン目の入った記録紙
- 本製品の仕様に合わない記録紙 P.46 を参照してください。

原稿がつまったときは

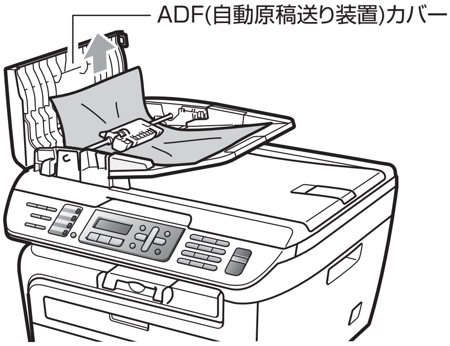
液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまっています。

原稿詰まり ADF

ADF（自動原稿送り装置）の入り口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿をゆっくり上に引いて取り除く



3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

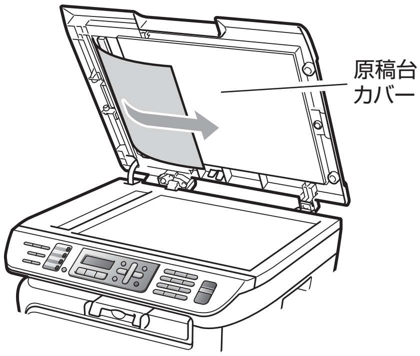
ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

4 停止/終了 を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿をゆっくり引き出す



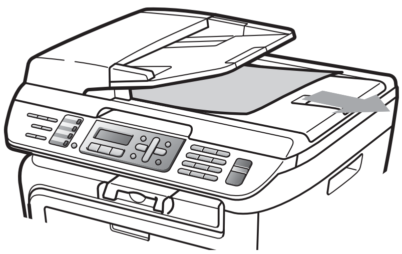
3 原稿台カバーを閉じる

4 停止/終了 を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 つまった原稿をゆっくり引き出す

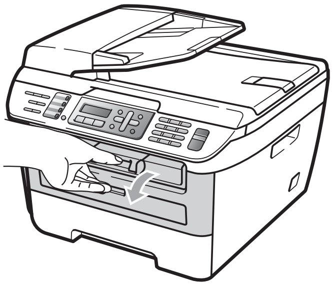


3 停止/終了 を押す

記録紙がつまったとき

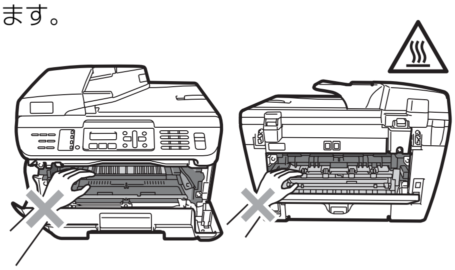
1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーを開く



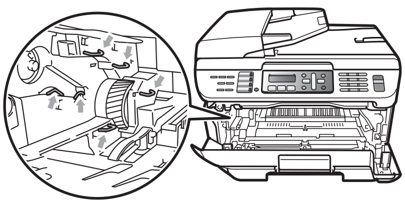
⚠ 注 意

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、電源を ON にしたまま 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。



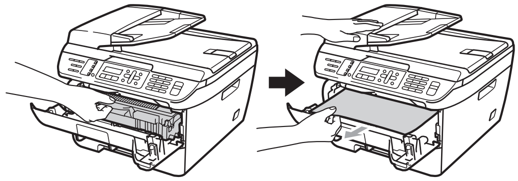
注 意

製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



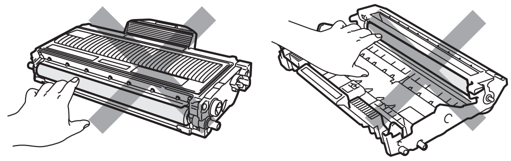
3 ドラムユニットとトナーカートリッジをゆっくり取り出す

ドラムユニットといっしょにつまった記録紙が引き出されます。



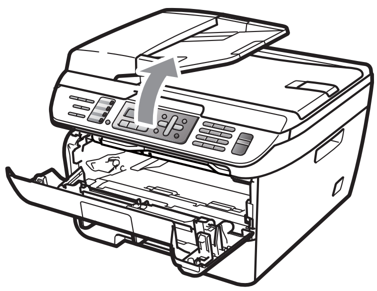
注 意

■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



■トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットとトナーカートリッジを使い捨ての紙の上に置くことをおすすめします。

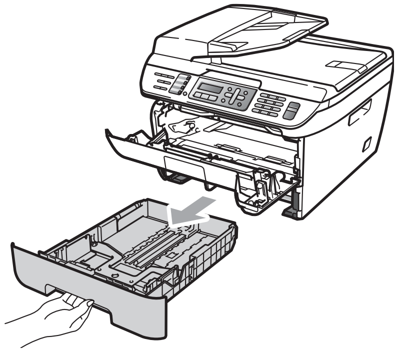
4 ドラムユニットとトナーカートリッジが取り出せないときは、無理に取り出そうとせず、スキャナカバーを開き、両手でゆっくりつまった記録紙を取り出す



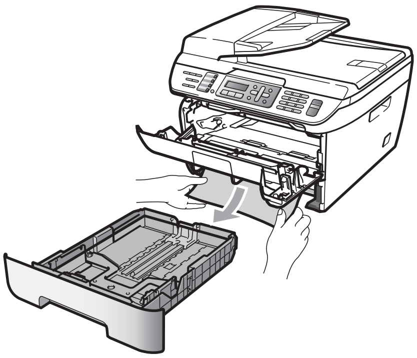
5 スキャナカバーを閉じる

☞次ページへ続く

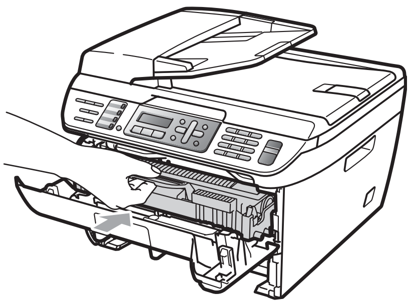
6 記録紙トレイを完全に引き出す



7 つまった記録紙を取り除く



8 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す



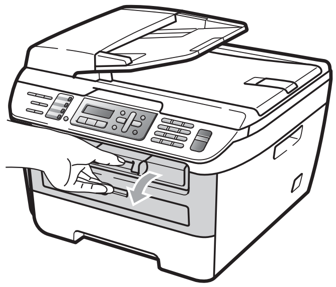
9 記録紙トレイを元に戻す

10 フロントカバーを閉じる

背面に記録紙がつまったとき

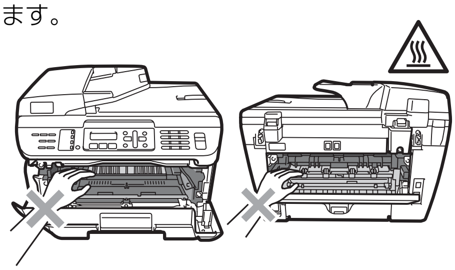
1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーを開く



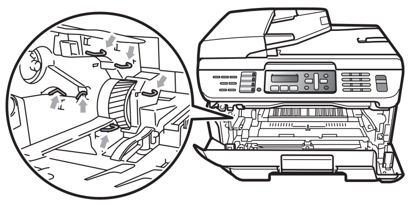
注 意

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、電源を ON にしたまま 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。

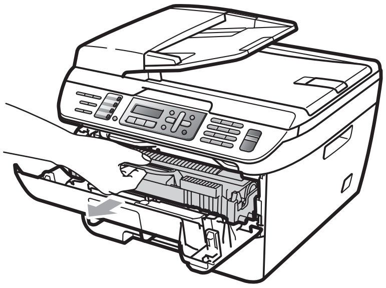


注意

製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

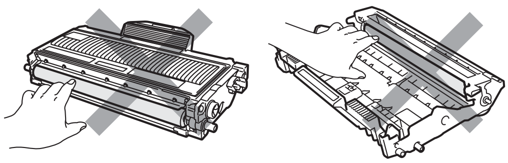


3 ドラムユニットとトナーカートリッジをゆっくり取り出す



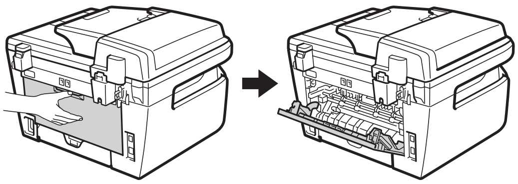
注意

■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

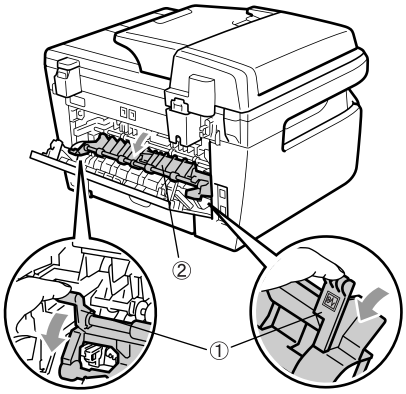


■トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットとトナーカートリッジを使い捨ての紙の上に置くことをおすすめします。

4 バックカバーを開く

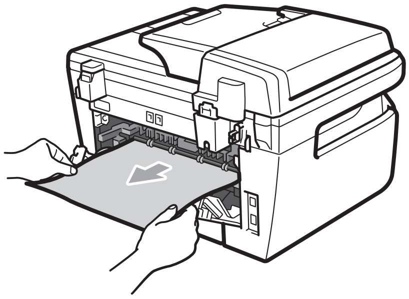


5 2か所のレバー①を下げ、定着ユニットカバー②を開く



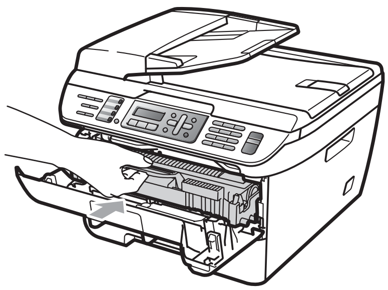
6 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



7 バックカバーを閉じる

8 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す

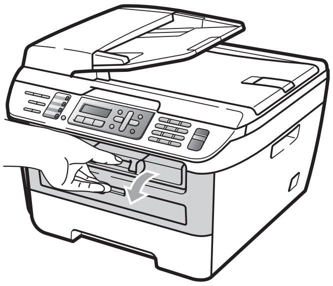


9 フロントカバーを閉じる

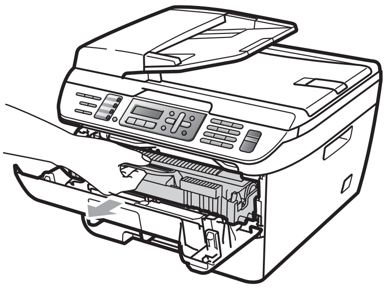
ドラムユニットとトナーカートリッジの内側に記録紙がつまったとき

1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

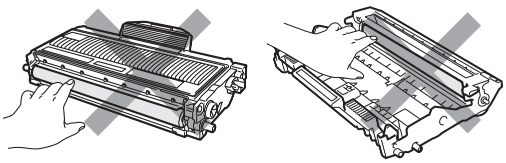


3 ドラムユニットとトナーカートリッジをゆっくり取り出す



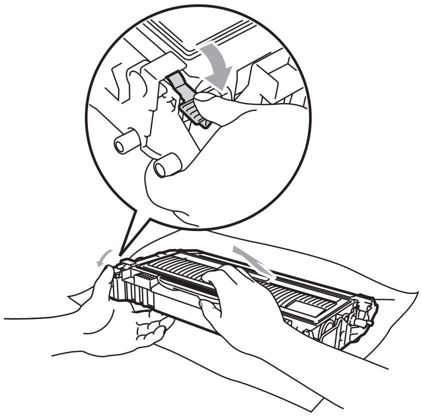
注意

■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



■トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットとトナーカートリッジを使い捨ての紙の上に置くことをおすすめします。

4 緑色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

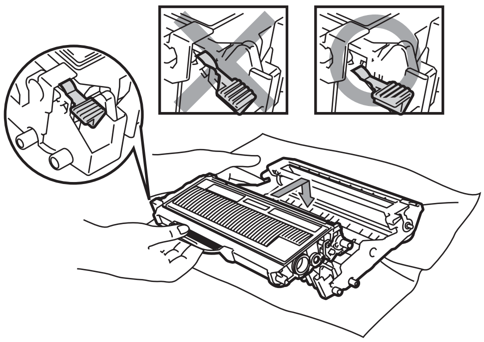


5 ドラムユニットの内部につまった記録紙があるか確認する

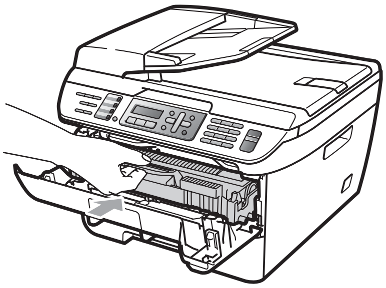
つまった記録紙があるときは、取り出します。

6 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、ロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



7 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す



8 フロントカバーを閉じる

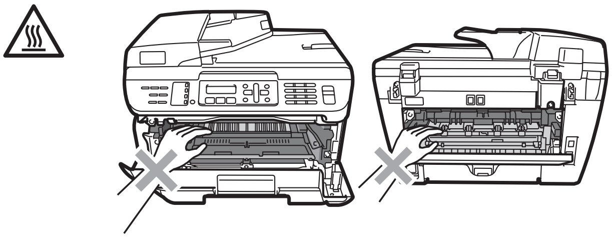
《日常のお手入れ》

定期メンテナンス

下記の部品を定期的に清掃することをお勧めします。
• 記録紙トレイ　• 原稿台ガラス　• スキャナウィンドウ　• ドラムユニット

注 意

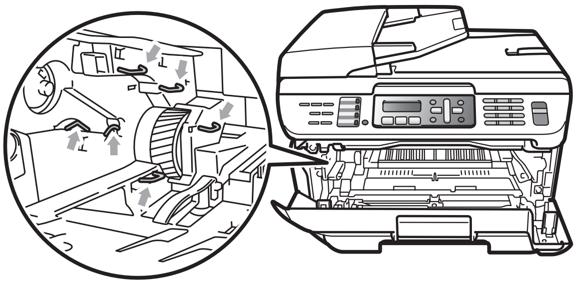
■本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、電源を OFF にしてから 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。



■本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど

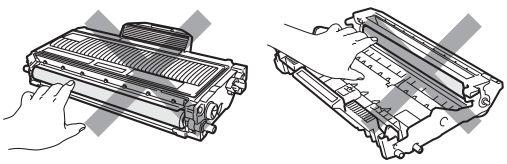
注 意

■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

本体外部を清掃する

注意

■中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

■アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。

■操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。

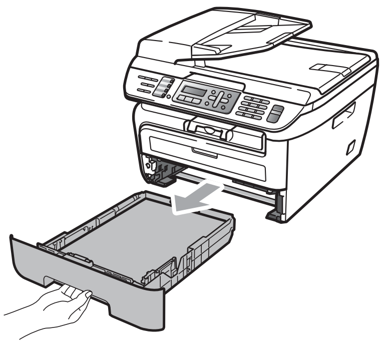
本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

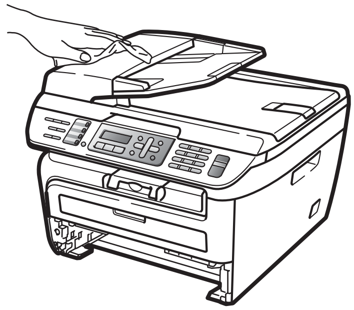
2 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す

3 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

4 記録紙トレイを完全に引き出す

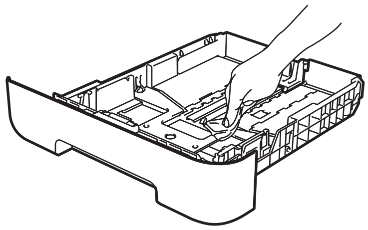


5 柔らかい布で本製品の外側を拭く



6 記録紙トレイから記録紙を取り出す

7 柔らかい布で記録紙トレイの内側と外側を拭く



8 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

9 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する

10 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

11 電源スイッチをONにする

原稿台ガラスとスキャナ読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナの清掃を行ってください。スキャナが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。
送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナを清掃してください。

警告

ベンジンやシンナー、可燃性スプレー、アルコールなどの有機溶剤、液体を使用しないでください。火災の原因になります。

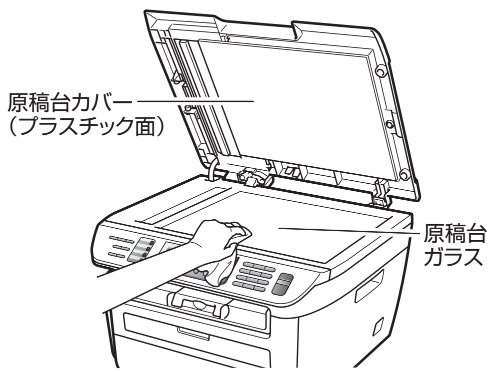
注意

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

1 原稿台カバーを開く

2 水またはぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、次の部分をきれいに拭く

- 原稿台ガラス
- 原稿台カバー（プラスチック面）



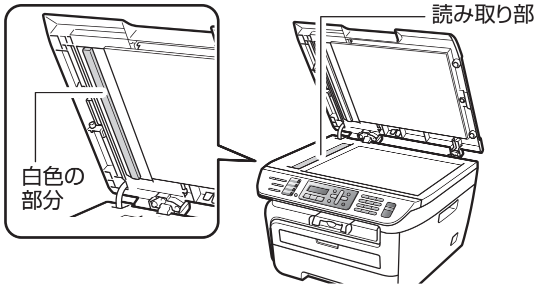
補足

清掃には水やぬるま湯を含ませた柔らかい布をご使用ください。

3 ADF読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、次の部分を拭いてください。

- 原稿台カバー（白い部分）
- 読み取り部



注意

■コピーで黒く細い線が入るときには、ADF読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますのでていねいに拭いてください。

■汚れが見えない場合は、ADF読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。最後にADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたか確認してください。

スキャナウィンドウの清掃

本製品内部のスキャナウィンドウが汚れていると、印刷の濃度が薄くなります。次の手順でスキャナウィンドウを清掃してください。

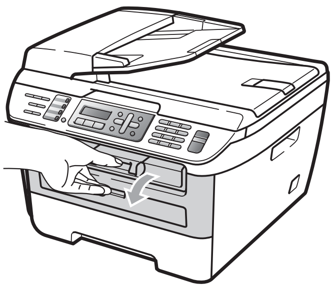
1 **電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ**

2 **電話機コードとすべてのケーブルを取り外す**

3 **電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す**

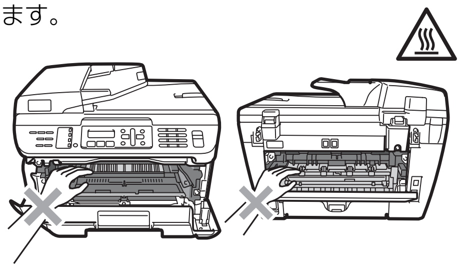
本製品の背面と壁側のコンセント両方とも外してください。

4 **フロントカバーを開く**



注 意

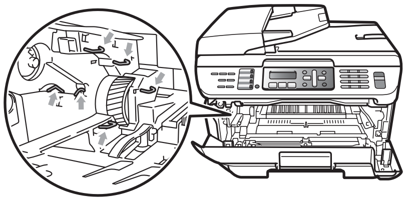
本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーまたはバックカバーを開けたときは、電源を OFF にしてから 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。



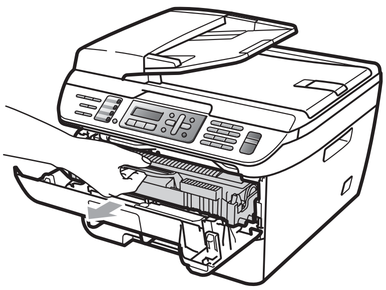
注意

■内部のお手入れをするときは、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

■本製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

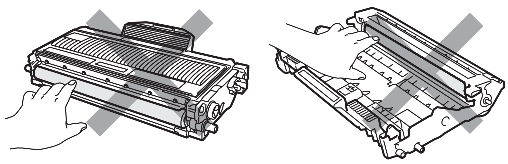


5 **ドラムユニットとトナーカートリッジをゆっくり取り出す**



注意

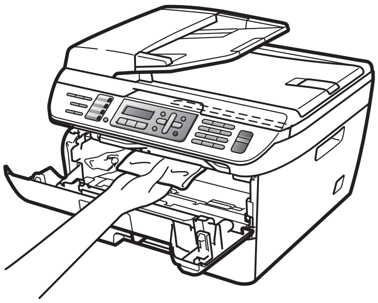
■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

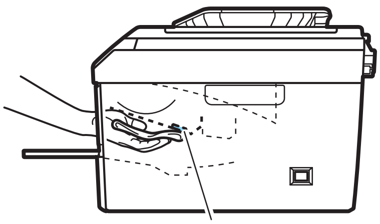


■トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットとトナーカートリッジを使い捨ての紙の上に置くことをおすすめします。

☞ 次ページへ続く

6 柔らかい乾いた布でスキャナウィンドウをすべてきれいに拭く

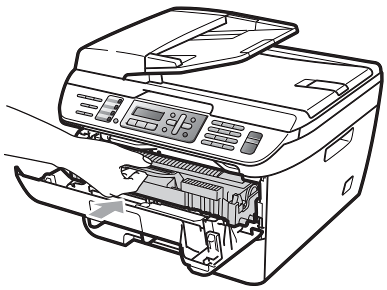




注意

スキャナウィンドウはアルコールを浸した布で拭かないでください。

7 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す



8 フロントカバーを閉じる

9 接続していたケーブルを取り付ける

10 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する

11 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

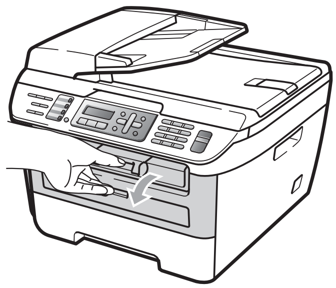
12 電源スイッチをONにする

コロナワイヤーの清掃

コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。プリントやコピーで汚れる場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

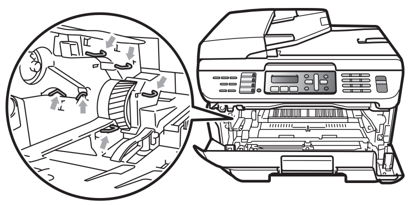
1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 フロントカバーを開く

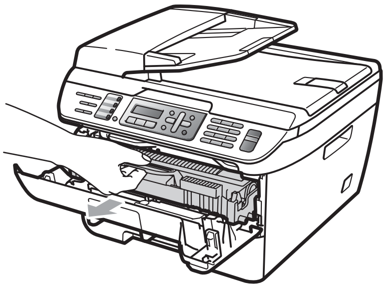


注意

製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

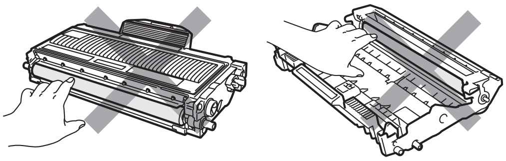


3 ドラムユニットとトナーカートリッジをゆっくり取り出す



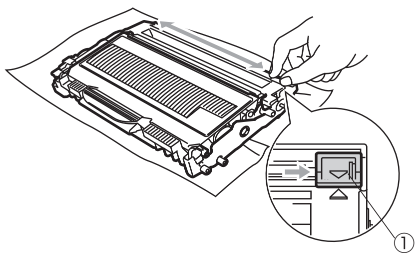
注意

■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



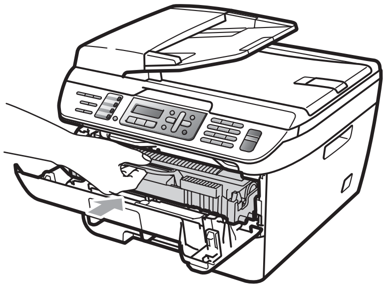
■トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットとトナーカートリッジを使い捨ての紙の上に置くことをおすすめします。

4 図の位置にある緑色のつまみ①を左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のワイヤーを清掃する



5 緑色のつまみを必ず元の位置（▼）に戻す

6 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す



7 フロントカバーを閉じる

8 電源スイッチをONにする

ドラムユニットの清掃

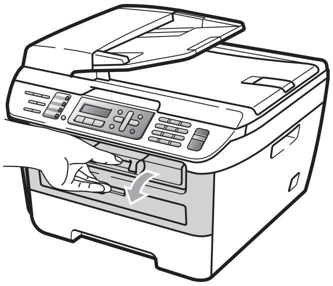
印刷したページに約7.5cm間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。

1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す

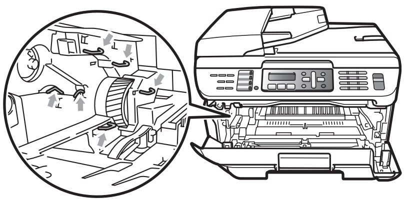
3 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

4 フロントカバーを開く

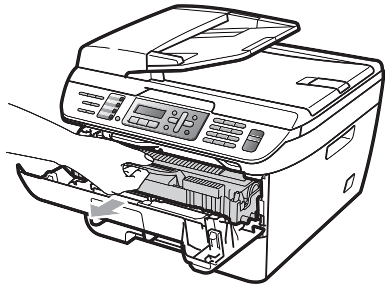


注意

製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

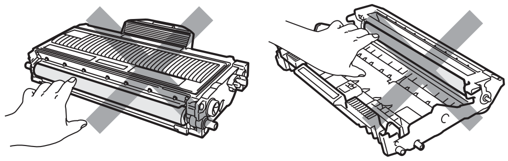


5 ドラムユニットとトナーカートリッジをゆっくり取り出す



注意

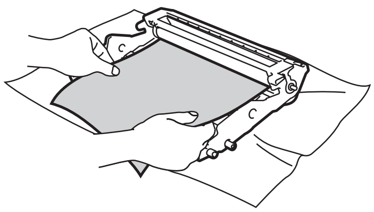
■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



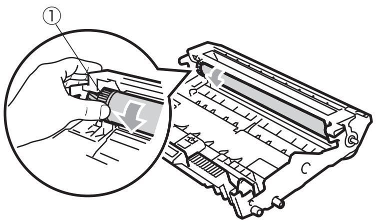
■トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットとトナーカートリッジを使い捨ての紙の上に置くことをおすすめします。

6 緑色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

7 印刷結果の汚れや白抜けの部分を目安にして問題の場所を探す



8 ドラムユニットギア①を手で回し、感光ドラムの表面に汚れがついている場所を手前にする



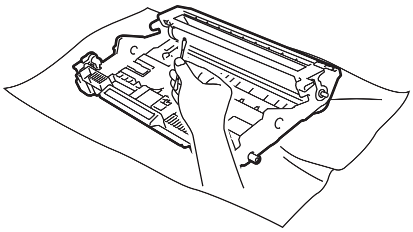
注意

■感光ドラムの表面は指で触れないでください。

■感光ドラムの表面を尖ったものでふかないでください。

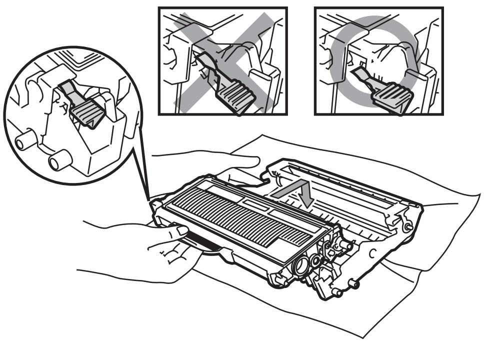
■電動器具は使用しないでください。

9 感光ドラムの表面についた汚れを綿棒でふき取る

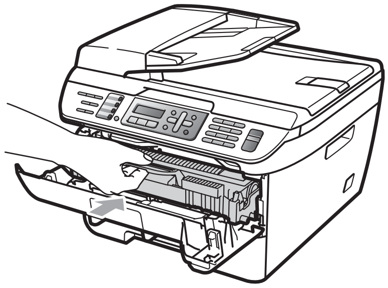


10 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

このとき、ロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



11 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す



12 フロントカバーを閉じる

13 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する

14 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

15 電源スイッチをONにする

給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、記録紙をうまく給紙しないことがあります。その場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

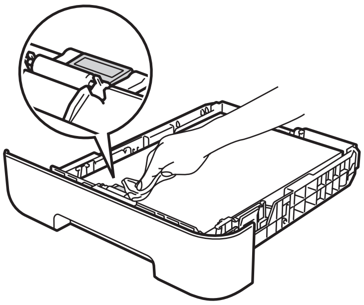
1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

2 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す

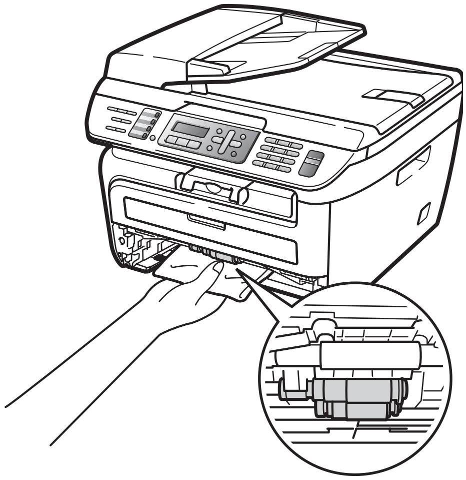
3 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

4 記録紙トレイを完全に引き出す

5 水またはぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、記録紙トレイ内のグレーのパットを拭く



6 本製品内部にある給紙ローラー（2つ）を拭く



7 記録紙トレイを本製品に戻す

8 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する

9 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

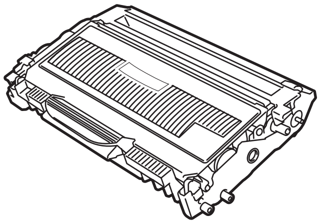
10 電源スイッチをONにする

《消耗品の交換》

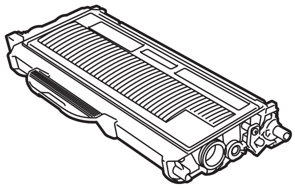
トナーカートリッジとドラムユニットについて

注意

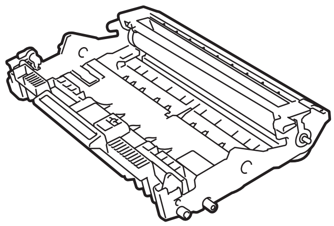
本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。



ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けた状態



トナーカートリッジ（TN-26J）
文字を書いたり表面に色づけするための粉末（トナー）が入っています。



ドラムユニット（DR-21J）
トナーを記録紙に写すユニットです。

交換のしかたについては、「トナーカートリッジを交換する」P.154、または「ドラムユニットを交換する」P.158を参照してください。

補足

本製品に付属のトナーカートリッジは約1000枚※1印刷できます。
トナーカートリッジ（TN-26J）は約2600枚※1印刷できます。
ドラムユニット（DR-21J）は約12000枚印刷できます。
※1 印刷可能枚数はJIS X 6931*（ISO/IEC 19752）規格に基づく公表値を満たしています。
　* JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンタ用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話、FAX による注文も承っております。P.215を参照してください。

《消耗品の交換》

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの残量を検知し、残量が少なくなると液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。トナーが残り少なくなると、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

まもなくトナー切れです

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

トナーがありません

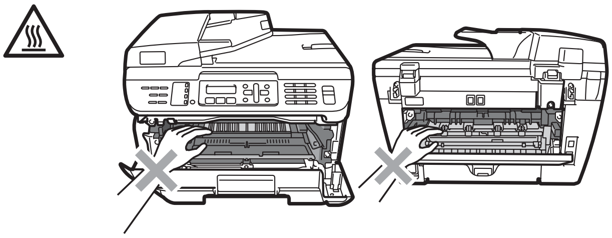
一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

補足

- トナーが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。「まもなくトナー切れです」のメッセージが表示されてから約100ページを印刷した頃が交換の目安です。（A4サイズ）
  トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。P.142 を参照してください。
- お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは巻末のご注文シートをご利用ください。

⚠ 注 意

■本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、電源を ON にしたまま 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。



■ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。
■トナーがこぼれた時は、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

注 意

■トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

■トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：TN-26J）をご使用ください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

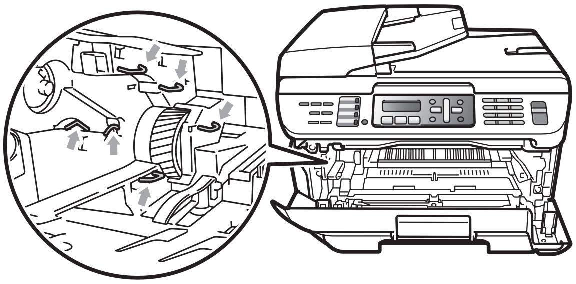
■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

■使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。

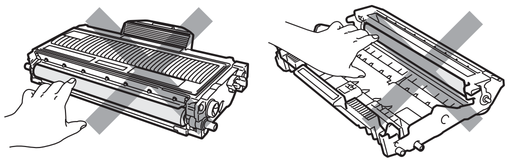
■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



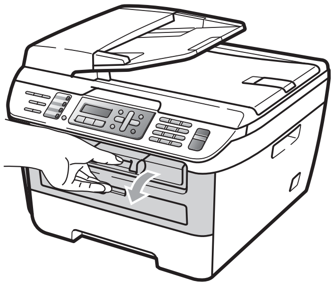
■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



トナーカートリッジを交換する

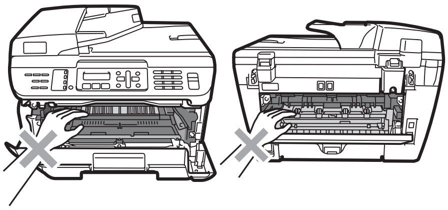
1　本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2　フロントカバーを開く



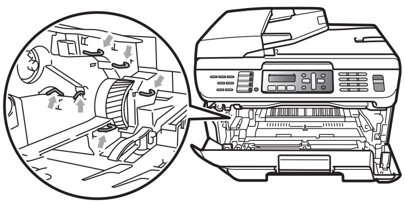
警告

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、電源を ON にしたまま 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。

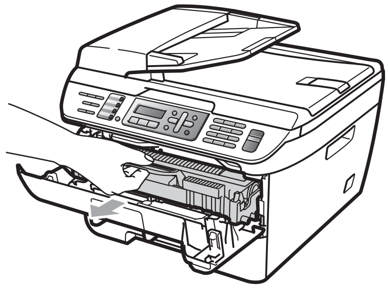


注意

製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

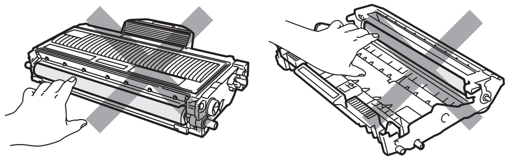


3　ドラムユニットとトナーカートリッジをゆっくり取り出す



注意

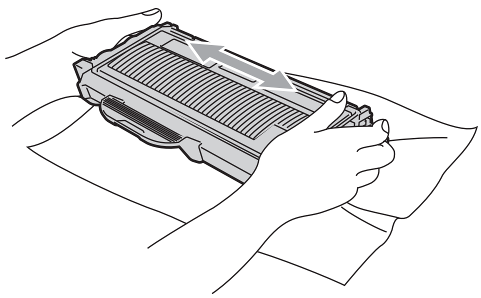
■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



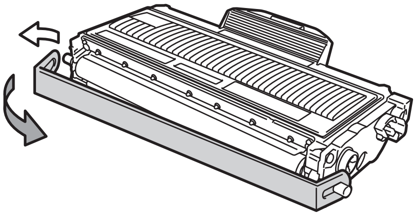
■トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットとトナーカートリッジを使い捨ての紙の上に置くことをおすすめします。

4　緑色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

5　新しいトナーカートリッジを開封し、左右に5、6回ゆっくりと振る

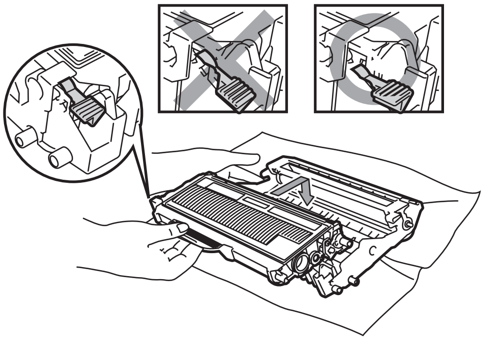


6 保護カバーを取り除く

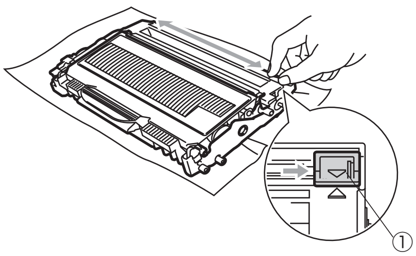


7 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

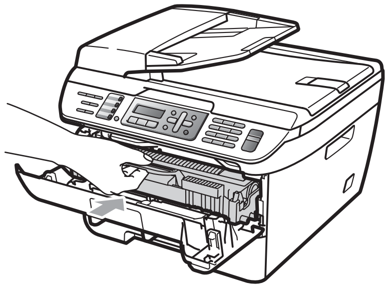
このとき、ロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



8 図の位置にある緑色のつまみ①を左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のコロナワイヤーを清掃する



9 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す



10 フロントカバーを閉じる

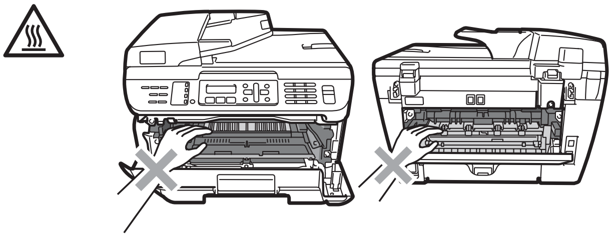
《消耗品の交換》

ドラムユニットの交換

液晶ディスプレイに「まもなくドラム交換です」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。

注 意

■本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、電源を ON にしたまま 10 分以上放置し、下図のグレーの部分の熱が冷めるまで待ってください。やけどのおそれがあります。



■掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や火災の原因になります。

注 意

■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

■ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：DR-21J）をご使用ください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

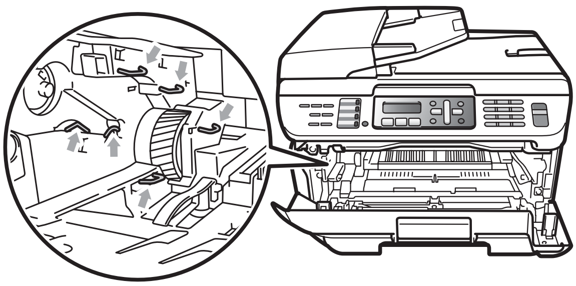
■ドラムユニットを交換した後は、本製品をきれいに清掃してください。

■トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

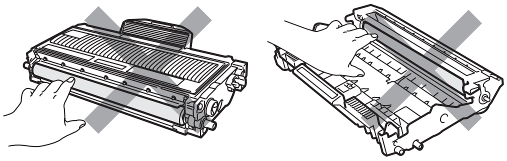
■ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

■本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



補足

● 液晶ディスプレイに「まもなくドラム交換です」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換することをお勧めします。

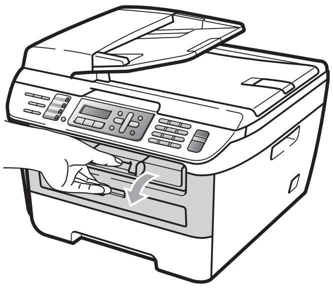
●「まもなくドラム交換です」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。

● ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。P.142 を参照してください。

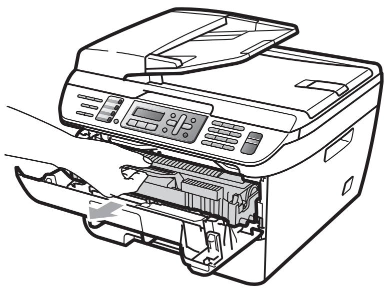
ドラムユニットを交換する

1　本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2　フロントカバーを開く

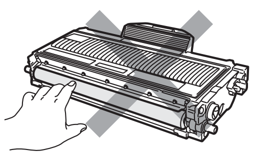


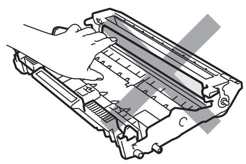
3　ドラムユニットとトナーカートリッジをゆっくり取り出す



注意

■ドラムユニットを持つときは、ドラムの部分に手が触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。





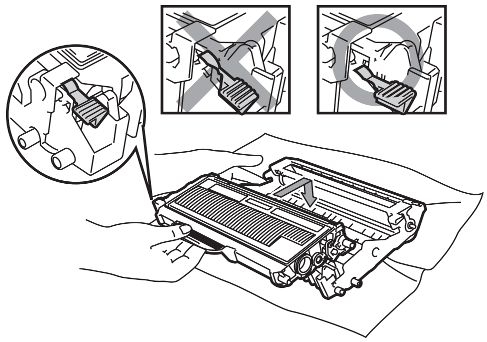
■トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットとトナーカートリッジを使い捨ての紙の上に置くことをおすすめします。

4　緑色のロックレバーを押しながら、トナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

5　新しいドラムユニットを開封する

6　トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

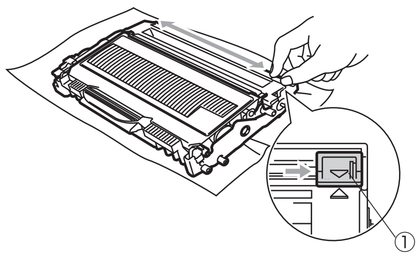
このとき、ロックレバーが上に上がっていることを確認してください。



補足

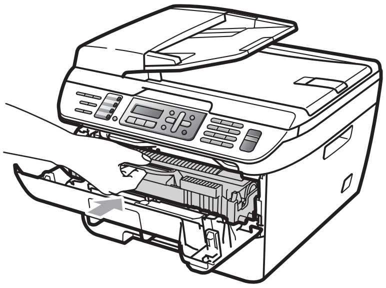
トナーカートリッジはドラムユニットの表示に合わせて、正しい位置にセットしてください。

7　図の位置にある緑色のつまみ①を左右に数回ゆっくりと滑らせてドラム内部のコロナワイヤーを清掃する



8　緑色のつまみを必ず元の位置（▼）に戻す

9 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す



10 クリア/バック を押す

ドラム交換しましたか?
1.はい　2.いいえ

11 1 を押す

液晶ディスプレイに「受付けました」と表示されます。

12 フロントカバーを閉じる

《消耗品の交換》

本製品を再梱包するときは

本製品を引越などで移動させるときには、購入時に梱包されていた箱に保管します。本製品には再梱包用部品も同梱されており、この部品と保管されていた箱や部品を使って再梱包します。以下に再梱包する手順を説明します。

注意

■再梱包を行う場合は、前もって電源スイッチをOFFにし、機械内部を十分に冷ましてください。

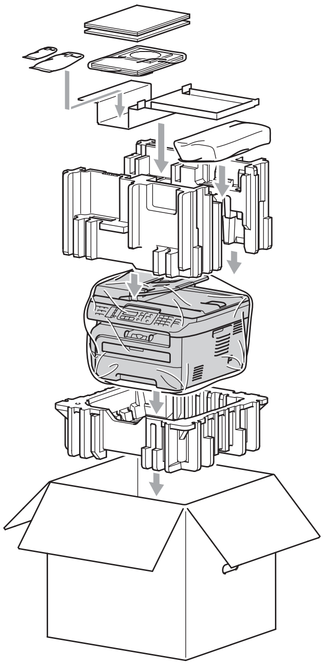
1 電源スイッチをOFFにする

2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す

3 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す

4 図のように底箱に発泡スチロール、本製品、外箱の順にセットする

- 底箱の矢印の向きに従って「FRONT」および「REAR」の発泡スチロールをセットします。
- 底箱と穴の位置が合うように外箱をセットします。



製品情報

シリアル番号を確認する

本製品のシリアル番号を確認します。

1 MFC-7340

メニュー 4 GHI 1 を押す

MFC-7840W

メニュー 6 MNO 1 を押す

シリアル番号が表示されます。

```
シリアル No.
XXXXXXXXX
```

2 シリアル番号を確認して 停止/終了 を押す

印刷枚数を確認する

本製品は印刷した枚数をカウントし、表示する機能を持っています。

1 MFC-7340

メニュー 4 GHI 2 ABC を押す

MFC-7840W

メニュー 6 MNO 2 ABC を押す

```
印刷枚数表示
合計        :XXXXXX
```

2 ▲または▼で表示する項目を選択する

「合計」「ファクス/リスト」「コピー」「プリンタ」のカウンタ値が表示されます。

3 印刷枚数を確認して 停止/終了 を押す

消耗品の寿命を確認する

ドラムユニットの寿命を確認する

ドラムユニットの寿命は、以下の操作で確認できます。

1 MFC-7340

メニュー 4 GHI 3 DEF を押す

MFC-7840W

メニュー 6 MNO 3 DEF を押す

液晶ディスプレイに2秒間、ドラムユニットの寿命が表示されます。

2 ドラムユニットの寿命を確認して

停止/終了 を押す

フォントリストを印刷する（MFC-7840Wのみ）

本製品の内蔵フォントを印刷して確認します。

1 メニュー 4 GHI 1 1 を押す

2 スタート を押す

3 停止/終了 を押す

プリンタ設定を印刷する（MFC-7840Wのみ）

プリンタの設定内容を印刷します。

1 メニュー 4 GHI 1 2 ABC を押す

2 スタート を押す

3 停止/終了 を押す

テスト印刷する（MFC-7840Wのみ）

印刷の品質をテスト印刷して確認します。

1 メニュー 4 GHI 1 3 DEF を押す

2 スタート を押す

3 停止/終了 を押す

プリンタをリセットする（MFC-7840Wのみ）

プリンタの設定を出荷時の状態に戻します。

1 メニュー 4 GHI 2 ABC を押す

2 1 を押す

2 ABC を押すと、設定メニューに戻ります。

```
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾘｾｯﾄ
1.決定 2.ｷｬﾝｾﾙ
```

3 停止/終了 を押す

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

事業所　：産業廃棄物処理業者に委託してください。

一般家庭：お住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

《設定機能の初期化》

初期状態に戻す

登録した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去したりすることができます。

注意

■初期状態に戻してしまうと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。P.121 を参照してください。

■セキュリティ設定ロックがオンになっていると、初期状態に戻す機能は使用できません。セキュリティ設定ロックをオフにしてください。P.64 を参照してください。

■本製品に登録した個人情報を全て消去するには、個人情報設定の消去とネットワーク設定の消去の両方を行ってください。ネットワーク設定の中には、メールアドレスなど個人情報を含むものがあります。(MFC-7840Wのみ)

個人情報を消去する

注意

メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをあらかじめご確認の上消去してください。

次の内容を一度にすべて消去することができます。

- お客様の名前・電話番号 P.52 を参照してください。
- セキュリティ設定ロックで設定したパスワードと設定内容 P.63 を参照してください。
- 発信履歴（再ダイヤル機能）の内容 P.81 を参照してください。
- 送付書のコメント P.87 を参照してください。
- 一括に送信する相手先の内容 P.87 を参照してください。
- タイマー送信する相手の内容 P.92 を参照してください。
- リモート起動番号 P.97 を参照してください。
- 電話帳の内容 P.101 を参照してください。
- グループダイヤルの内容 P.104 を参照してください。
- 着信履歴の内容 P.106 を参照してください。
- ファクス転送先の内容と転送設定解除 P.109 を参照してください。
- メモリーの内容（受信データ） P.112 を参照してください。
- PC ファクス受信データの未転送分（パソコンに転送したファクスのデータは消去されません） P.112 を参照してください。
- 暗証番号 P.114 を参照してください。
- 通信管理レポートの内容 P.121 を参照してください。
- 送信レポートの内容 P.123 を参照してください。

1 メニュー 0 8 TUV を押す

個人情報消去
1. 決定 2. ｷｬﾝｾﾙ

2 1 を押す

2 ABC を押すと、設定メニューに戻ります。

個人情報消去
1. はい 2. いいえ

機能設定をもとにもどす

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 メニュー 0 9 WXYZ を押す

機能設定ﾘｾｯﾄ
1. 決定 2. ｷｬﾝｾﾙ

2 1 を押す

2 ABC を押すと、設定メニューに戻ります。

機能設定ﾘｾｯﾄ
1. はい 2. いいえ

《困ったときには》

困ったときには

こんなときには

本製品をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。

それでも問題が解決しないときはお客様相談窓口へご連絡ください。

エラーメッセージ

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口へ連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
印刷できません	本製品に何らかの異常が発生しました。	電源スイッチをOFFにして、数分間OFFのままにした後、もう一度ONにしてみてください。メモリーに保管されたファクスデータは電源スイッチをOFFにしても、4日間は消去されません。ファクスデータをパソコンに保存するときは、P.112 を参照してください。
カバーが開いています	定着ユニットカバーが完全に閉じていません。	バックカバーを開けて、定着ユニットカバーを閉め直してください。
カバーが開いています	定着ユニットカバーが完全に閉じていません。または、本製品の背面で記録紙がつまっています。	バックカバーを開けて定着ユニットカバーを閉め直し、本製品の背面で記録紙がつまっていないか確認してから、スタート を押してください。
カバーが開いています	フロントカバーが完全に閉じていません。	フロントカバーを閉め直してください。
紙詰まり　後ろ	本製品の背面で記録紙がつまっています。	P.138 を参照してください。
紙詰まり　トレイ	手差しトレイで記録紙がつまっています。	P.42 を参照してください。
紙詰まり　内部	本製品の内部で記録紙がつまっています。	P.137 を参照してください。
記録エラー回復中	ドラムユニットもしくはトナーカートリッジが高温になっています。	ファンの音を聞き、排気口が塞がれていないか確認してください。排気口の前に障害物があるときは取り除き、電源スイッチをONにしたまま約10分お待ちください。 ファンが回転していないときは、次のように処置してください。 電源スイッチをOFFにして、数分間OFFのままにした後、もう一度ONにしてみてください。メモリーに保管されたファクスデータは電源スイッチをOFFにしても、4日間は消去されません。
記録紙を送れません	記録紙トレイの記録紙がなくなった。または、記録紙が正しくセットされていません。	記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットして スタート を押してください。 それでも問題が解決しない場合は、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。P.150 を参照してください。
	手差しトレイの記録紙が正しくセットされていません。	記録紙を正しくセットしてください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
原稿詰まり ADF	ADF(自動原稿送り装置)に原稿がつまっています。	ADF(自動原稿送り装置)カバーを開け、原稿を取り除いて 停止/終了 を押してください。
	原稿が長すぎます。	停止/終了 を押してください。
初期化できません	本製品に何らかの異常が発生しました。	電源スイッチをOFFにして、数分間OFFのままにした後、もう一度ONにしてみてください。メモリーに保管されたファクスデータは電源スイッチをOFFにしても、4日間は消去されません。ファクスデータをパソコンに保存するときは、P.112 を参照してください。
スキャンできません	本製品に何らかの異常が発生しました。	電源スイッチをOFFにして、数分間OFFのままにした後、もう一度ONにしてみてください。メモリーに保管されたファクスデータは電源スイッチをOFFにしても、4日間は消去されません。ファクスデータをパソコンに保存するときは、P.112 を参照してください。
切断されました	相手との通信が切断されました。	少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください。
通信エラー	相手がポーリングモードに設定していなかった。	相手先のポーリング設定を確認してください。
通信エラー	電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。
登録されていません	ワンタッチボタンまたは短縮ダイヤルに登録されていません。	ワンタッチボタンまたは短縮ダイヤルに登録してください。P.101 P.102 を参照してください。
トナーがありません	トナー切れです。	トナーカートリッジを交換してください。P.154 を参照してください。
トナーが確認できません	トナーカートリッジが正しく装着されていません。	ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジを正しく装着し直してください。
ドラムエラー	コロナワイヤー（ドラムユニット）が汚れています。	コロナワイヤー（ドラムユニット）を掃除してください。P.146 を参照してください。
	ドラムユニットの交換時期です。	ドラムユニットを交換してください。P.156 を参照してください。
話し中/応答がありません	相手先が話し中か、応答がありませんでした。	電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください。
ヒーターエラー	本製品は定着ユニットが一定以上の温度に達すると製品保護のため、動作を止めるように設計されています。	電源スイッチをOFFにします。2～3秒後、もう一度、電源スイッチをONにして、そのまま15分お待ちください。メモリーに保管されたファクスデータは電源スイッチをOFFにしても、4日間は消去されません。
まもなくトナー切れです	表示されたトナーの残りが少なくなっています。	新しいトナーカートリッジを用意しておいてください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
まもなくドラム交換です	ドラムユニットの交換時期です。	印刷品質が目立って低下したらドラムユニットを交換してください。P.156 を参照してください。
メモリーがいっぱいです	メモリーがいっぱいです。	キャンセル を押し、受信できなかったジョブデータを消去してください。またセキュリティ印刷のデータが保存されている場合、印刷するかデータを消去してメモリーの空き容量を確保してください。 **ファクス送信・コピー実行中のとき** 停止/終了 を押してからもう一度試してみてください。原稿が複数枚の場合は、スタート を押して読み込まれた分だけを送信もしくはコピーしてください。 **プリント中のとき** 解像度を下げてからもう一度試してみてください。
用紙サイズが合いません	メニューの記録紙サイズ設定で設定した記録紙とトレイにセットされている記録紙が違います。	正しい記録紙をセットして スタート を押してください。
用紙サイズが違います	記録紙サイズが間違っています。	メニューの記録紙サイズ設定を、A4 またはUSレターサイズにしてください。

故障かな？と思ったら（修理依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））のQ&A をチェックしてください。それでも異常があるときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。P.22 を参照してください。
		本製品の設定が正しくされていますか。	本製品の設定内容を確認してください。P.68 を参照してください。
		NTTのナンバー･ディスプレイの契約をしていますか。	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしてください。P.68 を参照してください。
ISDN回線※	電話を受けても本製品のベルが鳴らない。（電話をかけた側は、呼び出し続けている）	電話回線が正しく接続されていますか。	確実に本製品に接続してください。かんたん設置ガイド「STEP1 本製品を確認する ＞ 電話機コードを接続する」を参照してください。
		本製品の電源スイッチが ON になっていますか。	電源スイッチが ON になっているときは、電源コードを確認してください。
		ターミナルアダプタ の設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびダイヤルイン番号、i･ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りの NTT におたずねください。
	1～2回おきにしか本製品が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない。（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。

※ ターミナルアダプタの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

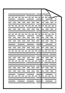
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ISDN回線※	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	ダイヤルイン番号またはｉ・ナンバー情報のアナログポートに本製品を接続している場合 • ダイヤルイン番号またはｉ・ナンバー情報を登録してください。 • サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 • HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 • 識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
		相手側ターミナルアダプタの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側ターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートのグローバル着信を確認してください。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。
	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしているのに番号が表示されない。	本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。	ターミナルアダプタのアナログポートから番号情報が送出されるように設定してください。
	ファクス送受信ができない（電話はかけることも、受けることもできる）。	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
ADSL環境	ADSLにする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きづらい。	ADSLのスプリッタが影響している可能性があります。	ADSLのスプリッタを交換すると改善する場合があります。 ブラザー推奨品：NTT東日本/西日本製
	通話中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。P.22 を参照してください。 ラインセパレータを使用すると、改善する場合があります。ラインセパレータは、パソコンショップでご購入ください。
	ファクス通信でエラー発生が多くなった。		

※ ターミナルアダプタの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ADSL環境	特定の相手との通信ができない。	IPフォンを使用した通信ではありませんか。 IP網を使用した専用線ではありませんか。	ご利用されているプロバイダへファクス通信が保障されていることを確認してください。 (MFC-7840Wのみ) スーパーG3の場合で、通信品質が保証されている場合は、安心通信モードを「標準」に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。
ひかり電話	電話がかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を「プッシュ」に設定してください。P.50
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	ナンバー・ディスプレイが動作しない。	VoIPアダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっていませんか。	VoIPアダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIPアダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの通信ができない。	VoIP アダプタ側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	
PBX	着信ベルは鳴るがファクスを受信しない。	着信ベルの鳴動パターンが単独回線の場合と違いませんか。	本製品をPBXの内線電話として使用している場合は、「特別回線対応」で「PBX」を選択してください。P.70 を参照してください。
ファクス／コピー	原稿が送り込まれていかない。（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。
		ADF（自動原稿送り装置）カバーは確実に閉まっていますか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。P.36 を参照してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。P.75 、P.127 を参照してください。
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。P.136 を参照してください。
	原稿が斜めになってしまう。（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	確実に原稿ガイドを原稿に合わせてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。P.136 を参照してください。

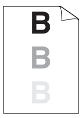
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	スタート を押しても送信または受信しない。	電話回線が正しく接続されていますか。	電話機コードを正しく接続してください。かんたん設置ガイド「STEP1 接続・設置する＞ 電話機コードを接続する」を参照してください。
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直してください。
		本製品に接続されている電話機が通話中ではありませんか。	本製品に接続されている電話の受話器を確認してください。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認してください。P.49 を参照してください。
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN回線の場合）	ターミナルアダプタの設定を確認してください。
	自動受信できない	呼出回数が多すぎませんか。	**呼出回数を6回以下に設定してください。** P.58 を参照してください。または、スタート を押して手動で受信してください。
		転送／メモリー受信が設定されていません。	**自動で記録紙に印刷したいときは、転送/メモリー受信の設定を「オフ」にしてください。** P.112 を参照してください。
	電話帳を使ってファクス送信できないことがある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	**「p」を削除して登録してください。**
	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。または送信品質が低い。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナ部分を清掃してください。P.144 を参照してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信してください。P.84 を参照してください。
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳しい内容はNTTの166番にお尋ねください。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないでください。P.22 を参照してください。
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の縞が入っているという連絡があった。	本製品のスキャナが汚れているか、または受信側の印字ヘッドが汚れている可能性があります。	スキャナの清掃を行って送信してください。P.144 を参照してください。それでも現象が変わらなければ、相手のファクシミリの状態を確認してください。
	原稿台ガラスからファクスが複数枚送れない。	リアルタイム送信の設定が「オン」になっていませんか。	リアルタイム送信の設定を「オフ」にしてください。P.88 を参照してください。

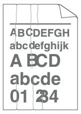
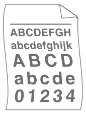
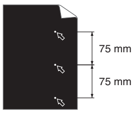
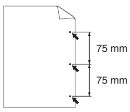
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	リモート受信できない。	リモート受信の設定は「オン」になっていますか。	リモート受信の設定を「オン」にしてください。P.97 を参照してください。
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。P.97 を参照してください。
		メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリー内部のデータを印刷するか、メモリーの内容を消去してください。P.93 、P.113 を参照してください。
	受信しても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットしてください。P.41 を参照してください。
		記録紙がつまっていませんか。	本製品内部を確認してください。P.134 を参照してください。
		記録紙を挿入していますか。	手差しトレイを確認してください。P.41 を参照してください。
		フロントカバーまたはバックカバーは確実に閉まっていますか。	もう一度閉め直してください。
	印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる。または、上部と下部の文章が切れる。	コピーをしてみてください。	**コピーが正常な場合** 電話線に対する静電気などによって接続状態が悪化している可能性があります。もう一度やり直してください。 **コピーが正常でない場合** スキャナ部分を清掃してください。P.144 を参照してください。
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	コピーをしてみてください。または、別のファクシミリから受信してみてください。	**正常なときは相手側のファクススキャナが汚れている可能性があります。相手側のファクシミリの状態を確認してください。**
	本製品が声をファクス信号音として誤って検出してしまう。	本製品の「親切受信」が「オン」に設定されていませんか。	本製品の「親切受信」が「オン」に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本製品に接続されている電話機をお使いの場合は、本製品の ボタンを押します。「親切受信」を「オフ」にしてこの問題が解決できないか試してください。P.96 を参照してください。
	水平の縞が現れる。または、行が抜ける。	回線状況が悪いと起こります。	相手にファクスを再送するように依頼してください。
	受信したファクスでページが分割されて2 ページに印刷されたり、余分な空白のページが現れる。	自動縮小が「オフ」のときに、A4 サイズより長いファクスを受信していませんか。	自動縮小を「オン」にしてください。P.94 を参照してください。
	ダイヤルできない。	電話機コード、電源コードが正しく接続されていますか。	電話機コード、電源コードの接続を正しく接続してください。
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別の設定を確認してください。P.50 を参照してください。

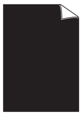
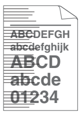
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	受信時に本製品が応答しない。	本製品が正しい受信モードに設定されていますか。	適切な受信モードに設定してください。P.53 を参照してください。
		オンフック を押して発信音はきこえますか。	電話機コード、電源コードの接続を確認してください。
		可能であれば、本製品にダイヤルしてみてください。	本製品を呼び出しても呼び出し音がしないときは、電話会社に連絡して回線を確認してもらってください。
	本製品に接続されている電話機からダイヤル音が聞こえない。	本製品と接続されている電話機と本製品の電話機コードは正しく接続されていますか。	本製品に接続されている電話機が本製品の外付電話（EXT.）端子に接続されていることを確認してください。
	特定の相手にファクスが送信できない。	安心通信モードの設定が「高速」になっていませんか。（MFC-7840Wのみ）	安心通信モードの設定を「標準」または「安心」に設定してください。P.71 を参照してください。
	送信確認レポートで「ケッカ NG」と印刷される。	回線状況が悪いと起こります。	電話回線で一時的なノイズや静電気が発生しています。もう一度ファクスを送信してみてください。問題が続いている場合、電話会社に連絡して電話回線を確認してもらってください。
	相手先で受信したファクスが鮮明でない。	本製品のスキャナが汚れていませんか。	スキャナを清掃してください。P.144 を参照してください。
		画質の設定は適切ですか。	ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。ファインまたはスーパーファインモードを使用してファクスを再送信してください。P.84 を参照してください。
	相手先で受信したファクスに縦の縞が現れる。	本製品のスキャナ読み取り部が汚れていませんか。	スキャナ読み取り部を清掃してください。P.144 を参照してください。
		相手側のファクシミリのプリンタのヘッドが汚れていませんか。	相手側のファクシミリの状態を確認してください。コピーをとって、本製品が問題の原因ではないことを確認してください。
	特定の相手からのみファクスが受信できない。	安心通信モードの設定が「高速」になっていませんか。（MFC-7840Wのみ）	安心通信モードの設定を「標準」または「安心」に設定してください。P.71 を参照してください。
	IP網を使ってファクスの送受信ができない。	安心通信モードの設定が「高速」になっていませんか。（MFC-7840Wのみ）	安心通信モードの設定を「標準」または「安心」に設定してください。P.71 を参照してください。 送信の場合にそれでもうまく送信できないときは、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けて送信してください。
	自動切替モードで呼び出し音が鳴る。	自動切替モードは着信がファクスでないことが分かると、本製品に接続されている電話の呼び出し音を鳴らします。	本製品に接続されている電話機で応答してください。
	本製品がファクスをリモート受信できない。	リモート起動番号を正しく入力しましたか。	リモート起動番号を正しく入力してください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。P.97 を参照してください。
	黒い縦の線が現れる 	スキャナ読み取り部が汚れていませんか？	スキャナ読み取り部を清掃してください。P.144 を参照してください。

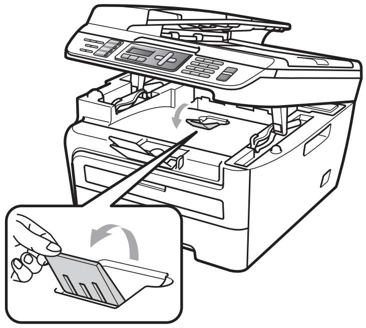
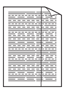
	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ファクス／コピー	印刷結果が濃すぎるか薄すぎる。	コントラストの調整が濃すぎるか薄すぎていませんか。	コントラストを印刷条件に合わせて調整してください。お買上げ時は中央に設定されています。P.129 を参照してください。 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断することがあります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
ファクス／コピー	色つきの文字・鉛筆などで書いた薄い文字の原稿をコピーしたときに、印刷結果が薄い。	画質設定とコントラストを調整してください。	画質の設定を「テキスト」に設定し、コントラストのレベルを1～2上げてください。 P.128 を参照してください。
印刷（プリント）	印刷ページの端や中央がかすむ。	トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジを交換してください。 P.152 を参照してください。
印刷（プリント）	印刷の質が悪い。		
印刷（プリント）	パソコンから印刷できない。（右の順番に試してみてください。）	①本製品の電源スイッチがONになっていますか。液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。	電源スイッチをONにしてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 P.165「エラーメッセージ」を参照してください。
		②トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか。	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。
		③印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。[プリンタ]アイコンを開き、[プリンタ]から[すべてのドキュメントの取り消し]を行ってください。 <Windows Vista® > [スタート]-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[プリンタ]の順にクリックします。 <Windows® XP> [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]の順にクリックします。 <Windows® 2000> [スタート]-[設定]-[プリンタ]の順にクリックします。
		④「通常使用するプリンタ」の設定になっていますか。	[プリンタ]アイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定]をクリックしてチェックを付けます。
		⑤[一時停止]の状態になっていませんか。	[プリンタ]アイコンを右クリックして、[印刷の再開]がメニューにある場合は一時停止の状態です。[印刷の再開]をクリックしてください。
		⑥[オフライン]の状態になっていませんか。	[プリンタ]アイコンを右クリックして、[プリンタをオンラインにする]がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインにする]をクリックしてください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	パソコンから印刷できない。（右の順番に試してみてください。）	⑦印刷先（ポート）の設定は正しいですか。	[プリンタ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。[ポート]タブを右クリックして印刷先のポートが正しく設定されているか確認してください。
		⑧USBケーブルはパソコンと本製品側にしっかりと接続されていますか。	本製品側とパソコン側の両方のUSBケーブルをさし直してください。（USBハブなどを経由しては接続できません。）
		（MFC-7840Wのみ） ネットワークケーブルでの接続の場合は、正しく接続されていますか。無線LANの場合は、正しくセットアップされていますか。	ネットワーク経由で印刷できない場合は、画面で見るマニュアル（HTML形式）の[ネットワーク設定]-[トラブルシューティング]を参照してください。
		⑨以上の手順を全て確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源スイッチをONにしてみてください。	
		⑩ ①～⑨までを全て確認しても印刷できない場合には、プリンタドライバをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従ってもう一度インストールすることをおすすめします。 <アンインストールの方法> [スタート]-[すべてのプログラム（プログラム）]-[Brother]-[MFC-XXXX]-[アンインストール]の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。	
	本製品に給紙できない。	液晶ディスプレイに「記録紙を送れません」と表示されていませんか。表示されている場合、記録紙が適切に挿入されていない可能性があります。	記録紙がまっすぐなことを確認してください。記録紙が丸くなっている場合、まっすぐにしてください。
	記録紙を給紙しない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。P.150 を参照してください。
	使用できる記録紙とサイズが知りたい。	普通紙、ラベル紙などを使用できます。P.37 を参照してください。	
	つまった紙の除去方法が知りたい。	P.134 を参照してください。	
	コピーに縦の縞が現れる。	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）が汚れていませんか。	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）を清掃してください。P.144 を参照してください。
	印刷されたページに、白い線が横方向に現れる。 	推奨している記録紙を使用していますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.36 を参照してください。
		プリンタドライバで適切な用紙種類を選択していますか。	詳しくは画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。
		長期間、未使用の状態ではありませんか。	この問題はプリンタが自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページを印刷してこの問題が解決されるか試してみてください。
		ドラムユニットが破損していませんか。	新しいドラムユニットに交換してみてください。P.156 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷(プリント)	印刷されたページに、白い線が縦方向に現れる。 	スキャナウィンドウを確認してください。	破れた紙片がスキャナウィンドウを覆っていることがあります。その場合は、紙片を取り除いてください。
		スキャナウィンドウが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを清掃してください。 P.145 を参照してください。
		トナーカートリッジが破損していませんか。	新しいトナーカートリッジに交換してみてください。P.152 を参照してください。
	印刷されたページに白い部分が現れる。 	推奨している記録紙を使用していますか。	推奨している記録紙を使用してください。 P.36 を参照してください。
		記録紙タイプが正しく選択されていますか。	プリンタドライバの設定を「厚紙」にしてください。またはお使いの記録紙を薄めのものに交換してください。高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
		ドラムユニットが破損していませんか。	新しいドラムユニットに交換してみてください。P.156 を参照してください。
	背景がグレイになる。 	推奨している記録紙を使用していますか。	推奨している記録紙を使用してください。 P.36 を参照してください。本製品が高温・高湿の場所に設置されていたことが原因の場合があります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。 P.152 、P.156 を参照してください。
	斜めに印刷される。 	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙が正しくセットされているか確認してください。また、記録紙ガイドがセットした記録紙ガイドに正しく合わされているか、確認してください。 P.41 を参照してください。
		手差しスロットをご利用の場合は	P.42 を参照してください。
		記録紙トレイ内の紙の枚数が多すぎる場合があります。	P.41 を参照してください。
		推奨している記録紙を使用していますか。	推奨している記録紙を使用してください。 P.36 を参照してください。
	ゴーストイメージが印刷されたページに現れる。 	推奨している記録紙を使用していますか。	推奨している記録紙を使用してください。 P.36 を参照してください。粗い表面や厚い記録紙が原因になることがあります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。 P.152 、P.156 を参照してください。
		定着ユニットが汚れていることがあります。	お客様相談窓口へご連絡ください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	しわが寄ったり折れ曲がって印刷される。 	推奨している記録紙を使用していますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.36 を参照してください。
		記録紙トレイに正しく記録紙をセットしていますか。	記録紙が正しく給紙されているか確認してください。P.41 を参照してください。また、記録紙を裏返すか、向きを180度回転させて挿入してみてください。
	定着が不十分。 	プリンタドライバの設定を確認してください。	プリンタドライバの設定で「トナーの定着を改善する」チェックボックスをチェックしてください。詳しくは画面で見るマニュアル(HTML形式)を参照してください。数ページしか印刷しない場合は、用紙種類を「薄紙」に変更してください。
	カールしたり波打って印刷される。 	推奨している記録紙を使用していますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.36 を参照してください。本製品が高温・高湿の場所に設置されていたことが原因の場合があります。
		長時間、未使用の状態ではありませんか。	プリンタを長時間使用していないと、記録紙が記録紙トレイの中で過度に吸湿していることがあります。記録紙トレイの中の記録紙を裏返すか、記録紙をさばいてから向きを180度回転させて挿入してみてください。
	黒い文章や画像が印刷されたページに75ミリ周期で白い点がある。  白い文章や画像が印刷されたページに75ミリ周期で黒い点がある。  	感光ドラムが汚れていませんか。	数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、感光ドラムに汚れや付着物が付着していることがあります。ドラムユニットを清掃してください。P.148 を参照してください。
		ドラムユニットが破損していませんか。	新しいドラムユニットに交換してみてください。P.156 を参照してください。
	印刷結果がかすれる。 	トナー節約モードがオンになっていませんか？	トナー節約モードをオフに設定してください。高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
		ドラムユニットとコロナワイヤーを確認してください。	ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P.146 を参照してください。清掃後も改善されない場合は、ドラムユニットを交換してください。
		トナーカートリッジが破損していませんか。	新しいトナーカートリッジに交換してみてください。P.152 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	トナー汚れが生じる。 	設置環境を確認してください。	湿度、高温などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。
		推奨している記録紙を使用していますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.36 を参照してください。推奨している記録紙を使っているときは、開封されていない記録紙と交換してみてください。
		トナーカートリッジを確認してください。	トナーカートリッジを交換してください。P.152 を参照してください。
		コロナワイヤーが汚れていませんか。	ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P.146 を参照してください。 改善されない場合は、ドラムユニットを交換してください。
	真っ黒なページが印刷される。 	ドラムユニットとコロナワイヤーを確認してください。	ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。 緑色のつまみを2、3回往復させてください。 緑色のつまみが必ず元の位置（▲）にあるか確認してください。P.146 を参照してください。清掃後も改善されない場合は、ドラムユニットを交換してください。
		定着ユニットが汚れていることがあります。	お客様相談窓口へご連絡ください。
	黒い汚れが平行に繰り返し入る。 	推奨している記録紙を使用していますか。	推奨している記録紙を使用してください。 P.36 を参照してください。
		ドラムユニットが破損していませんか。	新しいドラムユニットに交換してみてください。P.156 を参照してください。 ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着することがあります。 ドラムユニットを清掃してください。 P.148 を参照してください。 ドラム表面を傷つける恐れがありますので、クリップやホッチキスがついた記録紙はご使用にならないでください。 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれることがあります。
		トナーカートリッジが破損していませんか。	新しいトナーカートリッジに交換してみてください。P.152 を参照してください。
	印刷されたページに、線が横方向に現れる。 	コロナワイヤーが汚れていませんか。	ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P.146 を参照してください。 清掃後も線が現れる場合は、トナーカートリッジまたはドラムユニットを新しいものに交換してください。
		スキャナウィンドウが汚れていませんか。	きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを拭くと、問題を解決できる場合があります。 P.145 を参照してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
印刷（プリント）	印刷されたページに、線が縦方向に現れる。 	コロナワイヤーが汚れていませんか。	ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P.146 を参照してください。 コロナワイヤー清掃後、緑のつまみが元の位置（▲）にあることを確認します。 清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。P.156 を参照してください。 さらに改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口へご連絡ください。
	カールして印刷される。 	推奨している記録紙を使用していますか。	推奨している記録紙を使用してください。P.36 を参照してください。推奨している記録紙を使用していないときは、プリンタドライバでReduce Paper Curlモードを選択してください。詳しくは画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照してください。 記録紙を裏返すか、記録紙をさばいてから向きを180度回転させてみてください。
		排紙トレイストッパーを確認してください。	排紙トレイストッパーを水平にしてください。 
スキャナ	スキャン中にTWAIN エラーが表示される。	Brother TWAIN ドライバが選択されていることを確認してください。	Presto!® PageManager®で［ファイル］－［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、Brother TWAIN ドライバを選択し、「選択」をクリックしてください。
	黒い縦の線が現れる。 	スキャナ読み取り部が汚れていませんか？	スキャナ読み取り部を清掃してください。P.144 を参照してください。
ソフト	Windows®		
	BRMFC： BRUSB： USBXXX：への書き込みエラーが表示される。	液晶ディスプレイに「トナー切れ」が表示されていませんか。	トナーカートリッジを交換してください。P.152 を参照してください。
	ネットワークスキャナ機能が使えない。	ファイアーウォールによる問題が考えられます。	詳しくは画面で見るマニュアル（HTML 形式）を参照してください。
	パソコンで本製品が認識されない。		

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
ソフト	**Macintosh®**		
	本製品が下記に表示されない。 • 「プリントセンター」（Mac OS® X 10.2） • 「プリンタ設定ユーティリティ」（Mac OS® X 10.3/10.4） • システム環境設定の「プリントとファクス」（Mac OS® X 10.5）	本製品の電源スイッチは ON になっていますか。	電源スイッチがONになっているときは、電源コードを確認してください。
		インターフェースケーブルが正しく接続されていますか。	インターフェースケーブルを正しく接続してください。
		プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
		デバイスセレクターが正しく設定されていますか。	デバイスセレクターを再度、設定してください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	供給されているMacintosh®のプリンタドライバが正しくインストールされているか、選択されているかを確認してください。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。また、セレクタを選択してください。かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
	Windows®またはMacintosh®		
	「MFC 接続エラー」か「MFC はビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。	インターフェースケーブルをパソコンに直接接続していますか。	インターフェースケーブルは他の周辺機器（キーボード、スイッチボックス等）を経由して接続しないでください。
		エラーメッセージの内容を確認してください。	原因となりそうな領域をチェックしてください。（win.ini ファイルのLoad=、Run = コマンド行とスタートアップグループなど）
	文書のすべてのページが印刷されない。または、「メモリーがいっぱいです」というエラーメッセージが表示される。	画像が多かったり文章が複雑で、データ容量が重すぎていませんか。	文書を簡単にしてもう一度印刷してください。アプリケーションソフトウェアでグラフィックスの品質を下げるかフォントサイズの数を減らしてください。
	アプリケーションソフトウェアから印刷できない。	プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	適切なプリンタドライバをインストールしてください。かんたん設置ガイド「STEP2 パソコンに接続する」を参照してください。
		アプリケーションソフトウェアで適切なドライバを選択していますか。	アプリケーションソフトウェアで選択していることを確認してください。
その他	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コード（壁側・本体側）を確実に差してください。
		本製品の電源がONになっていますか。	電源がONになっていることを確認してください。
	本製品に接続している電話機から電話をかけたとき、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	お使いの電話環境が影響している可能性があります。	受話器を上げて発信音（ツー音）を確認してから、ダイヤルしてください。

7章

付　録

文字を入力する

電話帳（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル）の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

リモートセットアップやウェブブラウザからは漢字での登録や入力が可能です。詳しくは、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。入力できる文字の種類は設定項目によって異なります。

ボタン	入力できる文字
1（ア）	アイウエオァィゥェォ１
2 ABC（カ）	カキクケコＡＢＣ２
3 DEF（サ）	サシスセソＤＥＦ３
4 GHI（タ）	タチツテトッ ＧＨＩ４
5 JKL（ナ）	ナニヌネノＪＫＬ５
6 MNO（ハ）	ハヒフヘホＭＮＯ６
7 PQRS（マ）	マミムメモＰＱＲＳ７
8 TUV（ヤ）	ヤユヨャュョ ＴＵＶ８
9 WXYZ（ラ）	ラリルレロＷＸＹＺ９
0（ワ）	ワヲンー ０
＊（゛゜）	゛゜
#（記号）	. @ - _ ' (スペース) : ; ＜＝＞？[ ] ^ ! " # $ % & ( ) * ＋ , /　€

文字の入力方法（変更方法）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	1（ア）～0（ワ）、＊（゛゜）、#（記号）を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ポーズ（約3.5秒の待ち時間）	再ダイヤル/ポーズを押す ※入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「p」で表示されます。発信元登録（メニュー.0.3）では入力できません。
文字を削除する	クリア/バックを押す •カーソルが文字列の最後の後方にあるときは、カーソルの左の1文字を削除する •カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除する
文字を変更する	◀を押して変更したい文字にカーソルを移動させ、クリア/バックを押した後に文字を入力する
スペース（空白）を入れる	▶を押してカーソルを右に移動させる （文字のときは▶（2回押）でスペースを入れることができます）
記号を入力する	入力したい記号ボタン（＊（゛゜）または#（記号））を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	OKを押す

入力例

発信元登録や電話帳登録で「スズキ　ケイコ」と入力するときは下記のように操作します。

操作のしかた	ディスプレイ表示
3 DEF（サ）を3回押す	ス
▶を1回押す	ス_
3 DEF（サ）を3回押す	スス
＊（゛゜）を1回押し、「゛」を選択してOKを押す	スス゛
2 ABC（カ）を2回押す	スス゛キ
▶を2回押す	スス゛キ　_
2 ABC（カ）を4回押す	スス゛キ　ケ
1（ア）を2回押す	スス゛キ　ケイ
2 ABC（カ）を5回押す	スス゛キ　ケイコ

バックアップ用バッテリのリサイクルについて

- 本製品にはニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれているバッテリを取り外してください。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。貴重な資源を守るために廃棄される前に取り外してリサイクルにご協力ください。

バックアップ用バッテリの取り外し方

危 険

■リサイクル時のご注意
- コード先端をテープなどで絶縁して、ショートしないようにしてください。
- 外装カバー（皮膜・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池は分解しないでください。

Ni-MH

■バッテリを加熱したり、火の中に投げ込まないでください。

■液漏れしたときは、液が皮膚や衣服に付着したり、目に入らないように注意してください。液が目に入ると失明する恐れがあります。万が一、目に入った場合は、擦らずにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の診察を受けてください。

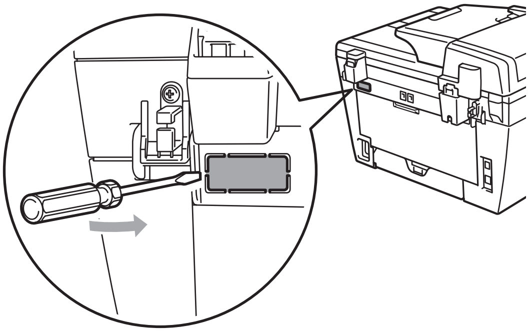
■充電用の電池ではありません。充電はしないでください。

注 意

■バッテリを取り外すときは、必ず電源スイッチをOFFにし、電話機コード、電源コードを取り外してください。

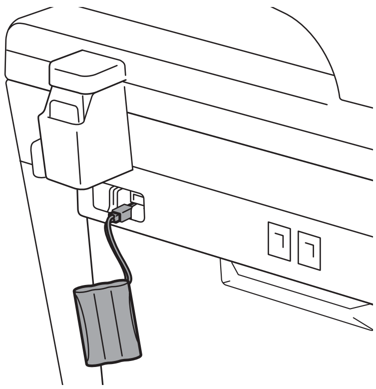
1 電話線を取り外し、電源コードをコンセントから抜く

2 図の位置のバッテリカバーをマイナスドライバで開ける



3 バッテリカバーを取り外す

4 バッテリを引き出す



5 コネクタを取り外す

補足

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、ポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人JBRC
（電話：03-6403-5673）
（ホームページ：http://www.jbrc.com/）
- 社団法人 電池工業会
（電話：03-3434-0261）
（ホームページ：http://www.baj.or.jp/）
- ブラザー販売（株）　ブラザーコールセンター
（お客様相談窓口）
※ ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

事務所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所 情報機器事業部
〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-11
（電話：03-3274-6911）
- ブラザー販売（株）関西事業所 情報機器事業部
〒550-0012　大阪府大阪市西区立売堀4-4-2
（電話：06-6543-9120）
- ブラザー販売（株）　ブラザーコールセンター
（お客様相談窓口）
※ ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。
- 一般社団法人JBRC
（電話：03-6403-5673）
（ホームページ：http://www.jbrc.com/）

機能一覧

初期設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
0. 初期設定	1. 受信モード	―	FAX=ファクス専用 F/T=自動切替え 留守=外付け留守電 TEL=電話	受信モードを設定します。	P.57
	2. 時計セット	―	―	現在の日付・時刻を設定します。	P.51
	3. 発信元登録	―	ファクス 電話 名前	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	P.52
	4. 回線種別設定	―	プッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	P.50
	5. ダイヤルトーン設定	―	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。	P.70
	6. 特別回線対応	―	一般 ISDN PBX	回線種別を設定します。	P.70
	7. ナンバーディスプレイ	―	オン オフ 外付け電話優先	NTT のナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	P.68
	8. 個人情報消去	1. 決定	1. ハイ 2. イイエ	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。	P.163
		2. キャンセル		設定メニューに戻ります。	
	9. 機能設定リセット	1. 決定	1. ハイ 2. イイエ	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	P.163
		2. キャンセル	―	設定メニューに戻ります。	
	0. 表示言語(Local Language)	―	日本語 English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	P.33

※　下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
1. 基本設定	1. モード タイマー	—	0 秒 30 秒 1 分 2 分 5 分 切	ファクスモードに戻る時間を設定します。 「切」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	P.48
	2. 記録紙タイプ	—	普通紙 普通紙（厚め） 厚紙（ハガキ） 超厚紙 OHPフィルム 再生紙	記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	P.59
	3. 記録紙サイズ	—	A4 B5 A5 A6 ハガキ USレター	記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを設定します。	P.59
	4. 音量	1. 着信音量	切 小 中 大	着信音量を設定します。	P.60
		2. ボタン確認音量	切 小 中 大	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	P.60
		3. スピーカー音量	切 小 中 大	スピーカーの音量を設定します。	P.61
	5. 省エネモード	1. トナー節約モード	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。 「オン」に設定すると、印字結果が薄くなります。	P.61
		2. スリープモード	00 : 05 : 99	スリープ状態になるまでの時間を0～99分の間で設定します。消費電力を節約することができます。	P.62
	6. 画面のコントラスト		−□□■□□+	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	P.62

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
1. 基本設定	7. セキュリティ設定ロック（MFC-7340）	ー	ー	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	P.63
	7. セキュリティ（MFC-7840W）	1. セキュリティ 機能ロック	ー	暗証番号を設定しファクス送信などの機能をユーザごとにロックします。	P.65
		2. セキュリティ 設定ロック	ー	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	P.63

ファクス機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	1. 受信設定	1. 呼出回数	00 : 04 : 10	「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のとき、着信してから自動受信するまでの呼出回数を0～ 10 回の間で設定します。	P.58
		2. 再呼出回数	08 15 20	「自動切替モード」のとき、本製品が着信後に鳴る呼出音の回数を設定します。	P.58
		3. 親切受信	オン オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話をとってしまった場合でも、本製品の を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	P.96
		4. リモート受信	オン (#51) オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	P.97
		5. 自動縮小	オン オフ	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	P.94
		6. 印刷濃度	−□□■□□+	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	P.94
		7. ポーリング受信	標準 機密 タイマー	ポーリング受信を設定します。	P.98
		8. 受信スタンプ	オン オフ	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	P.100

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ
2. ファクス	2. 送信設定	1. 原稿濃度	自動 濃く 薄く	原稿に合わせて濃度を設定します。	P.85
		2. ファクス画質	標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質の設定をします。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	P.84
		3. タイマー送信	指定時刻=00：00	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	P.92
		4. とりまとめ送信	オン オフ	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	P.93
		5. リアルタイム送信	今回のみ：オン 今回のみ：オフ オン オフ	メモリーを使わずに原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	P.88
		6. ポーリング送信	標準 機密	ポーリング送信を設定します。	P.89
		7. 送付書	今回のみ：オン 今回のみ：オフ オン オフ 印刷サンプル	送付書を付加する／しないを設定します。	P.86
		8. 送付書コメント	ー	送付書のコメントを作成します。	P.87
		9. 海外送信モード	オン オフ	海外にファクスを送るときに設定します。	P.91
	3. 電話帳登録	1. 電話帳／ワンタッチ	ー	ワンタッチボタン1～8にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.101
		2. 電話帳／短縮	ー	3桁の短縮番号（001～200）にファクス番号や相手の名前を登録します。	P.102
		3. 電話帳／グループ	ー	複数の相手をグループ（1～8）として登録します。	P.104

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	4. レポート設定	1. 送信レポート	オン オン+イメージ オフ オフ+イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	P.121
		2. 通信管理間隔	レポート出力しない 50件ごと 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	P.121
	5. 応用機能	1. 転送/メモリー受信	オフ ファクス転送 電話呼び出し メモリー受信 PC ファクス受信	ファクスを転送したり、メモリー受信を設定します。	P.112
		2. 暗証番号	暗証番号：---＊	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	P.114
		3. ファクス出力	－	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	P.113
	6. ダイヤル制限機能	1. 直接入力	オン オフ 2度入力	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	P.82
		2. ワンタッチダイヤル	オン オフ 2度入力		
		3. 短縮ダイヤル	オン オフ 2度入力		
	7. 通信待ち確認	－	－	メモリー送信の設定を確認したり、解除できます。	P.93
	8. ナンバー プレフィックス	－	－	外線にダイヤルするときに必要な番号を設定します。	P.71
	0. 安心通信モード(MFC-7340)	－	標準 安心（VoIP）	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	P.71
	0. 安心通信モード(MFC-7840W)	－	高速 標準 安心（VoIP）		P.71

コピー機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
3. コピー	1. コピー画質	−	テキスト 写真 自動	画質を調整します。	P.132
	2. コントラスト	−	−□□■□□+	コントラストを調整します。	P.132

製品情報（MFC-7340のみ）

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
4. 製品情報	1. シリアルNo.	−	−	シリアルNo.を表示します。	P.161
	2. 印刷枚数表示	−	合計 ファクス/リスト コピー プリンタ	印刷枚数を表示します。	P.161
	3. ドラム寿命	−	−	ドラム寿命を表示します。	P.161

プリンタ機能（MFC-7840Wのみ）

本製品のプリンタ機能については、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	
4. プリンタ	1. プリンタ オプション	1. フォントリスト	−	内蔵フォントの種類を印刷します。	P.162
		2. プリンタ設定	−	プリンタの設定を印刷します。	P.162
		3. テストプリント	−	テストチャートを印刷します。	P.162
	2. プリンタ リセット	−	−	プリンタの設定を初期状態に戻します。	P.162

LAN（ネットワーク）設定機能（MFC-7840Wのみ）

本製品をネットワークで使用する際の詳細については、画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー	サブサブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
5．LAN	1．有線LAN	1．TCP/IP設定	1．IP取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPの取得方法を指定します。
			2．IPアドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000.000.000.000)	IPアドレスを設定します。
			3．サブネットマスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000.000.000.000)	サブネットマスクを設定します。
			4．ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000.000.000.000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
			5．ノード名	BRNxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
			6．WINS設定	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
			7．WINSサーバ	プライマリ 000.000.000.000 セカンダリ 000.000.000.000	WINSサーバを設定します。
			8．DNSサーバ	プライマリ 000.000.000.000 セカンダリ 000.000.000.000	DNSサーバを設定します。
			9．APIPA	オン オフ	APIPA を設定します。
			0．IPv6	オン オフ	IPv6を設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	サブサブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
5. LAN	1. 有線 LAN	2. イーサネット	―	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto： 自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：それぞれのリンクモードに固定されます。
		3. 初期設定に戻す	1. 決定	―	有線LAN設定を初期設定に戻します。
			2. キャンセル		設定メニューに戻ります。
		4. 有線 LAN 有効	―	オン オフ	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。
	2. 無線LAN	1. TCP/IP設定	1. IP 取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IP の取得方法を指定します。
			2. IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	IP アドレスを設定します。
			3. サブネットマスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	サブネットマスクを設定します。
			4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
			5. ノード名	BRWxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
			6. WINS 設定	Auto Static	WINS サーバーのアドレスの取得方法を設定します。
			7. WINS サーバ	プライマリ 000. 000. 000. 000 セカンダリ 000. 000. 000. 000	WINS サーバを設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	サブサブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
5．LAN	2．無線 LAN	1．TCP/IP 設定	8．DNS サーバ	プライマリ 000．000．000．000 セカンダリ 000．000．000．000	DNS サーバを設定します。
			9．APIPA	オン オフ	APIPA を設定します。
			0．IPv6	オン オフ	IPv6 を設定します。
		2．無線接続ウィザード	—	—	ウィザード形式で無線LANの設定をします。
		3．SES/WPS/AOSS	—	—	ボタンを押すだけで簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
		4．WPS（PIN 方式）	—	—	WPS（PIN 方式）で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
		5．無線状態	1．接続状態	アクティブ（11b） アクティブ（11g） 有線 LAN アクティブ 無線 LAN オフ 接続失敗	接続状態を表示します。
			2．電波状態	電波： 強い 普通 弱い 無し 54Mbps[11ch]	電波状態を表示します。
			3．SSID	—	SSID（ネットワーク名）を表示します。
			4．通信モード	アドホック インフラストラクチャ	通信モードを表示します。
		6．初期設定に戻す	1．決定	—	無線LANのネットワーク設定をすべて初期値に戻します。
			2．キャンセル	—	設定メニューに戻ります。
		7．無線 LAN 有効	—	オン オフ	無線LANを設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	サブサブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
5．LAN	3．スキャン to FTP	―	―	カラー 150 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200×100dpi	ファイルの種類を設定します。
	0．LAN 設定リセット	1．決定	―	1．はい 2．いいえ	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。
		2．キャンセル	―	―	設定メニューに戻ります。

製品情報（MFC-7840Wのみ）

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
6．製品情報	1．シリアル No.	―	―	シリアルNo.を表示します。	P.161
	2．印刷枚数表示	―	合計 ファクス/リスト コピー プリンタ	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	P.161
	3．ドラム寿命	―	―	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。	P.161

本製品の仕様

ファクシミリ

互換性	ITU-T　G3（MFC-7340） スーパー G3（MFC-7840W）
圧縮方式	MH/MR/MMR(MFC-7340) MH/MR/MMR/JBIG(MFC-7840W)
通信速度	14400bps（MFC-7340） 33600bps（MFC-7840W）（自動フォールバック付き）
原稿サイズ幅	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：215.9mm 最小：148.0mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：215.9mm
原稿サイズ長さ	ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大：355.6mm 最小：148.0mm
	原稿台ガラス使用時： 最大：297mm
有効読み取り幅	208mm
記録紙トレイ枚数	標準記録紙トレイ（トレイ1）：約250枚（80g/m^2）
記録紙サイズ	幅215.9mm×長さ297mm
電送時間	2秒台※1
グレースケール	256階調
液晶ディスプレイ表示	10文字（漢字）×2行
読み取り方式	CIS
代行受信枚数	400枚(MFC-7340)/500枚(MFC-7840W)※2
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：3.85本/mm（標準） 7.7本/mm（ファイン/写真） 15.4本/mm（スーパーファイン）
ポーリングタイプ	標準/機密/タイマー（タイマー：受信のみ）
適用回線	一般電話回線

※1 A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。

※2 A4判700字程度の原稿を標準的画質（8ドット×3.38本/mm）で蓄積した場合（MMR圧縮時）

プリンタ

プリント速度（A4）	最高21枚/分
ファーストプリントアウトタイム	10秒以下
印刷方式	半導体レーザー＋乾式電子写真方式
プリント解像度	HQ1200 (2400×600dpi)、600dpi、300dpi
用紙種類	普通紙、再生紙、ラベル紙、封筒、はがき、OHPフィルム

コピー

複写速度（A4 連続）	最高21枚/分
ファーストコピーアウトタイム	15秒以下
コピー解像度	600dpi
連続複写枚数	最大99枚
拡大・縮小	あり（50・70・83・87・91・94・97・100・115・141・200%、25～400%の1%刻み）

スキャナ

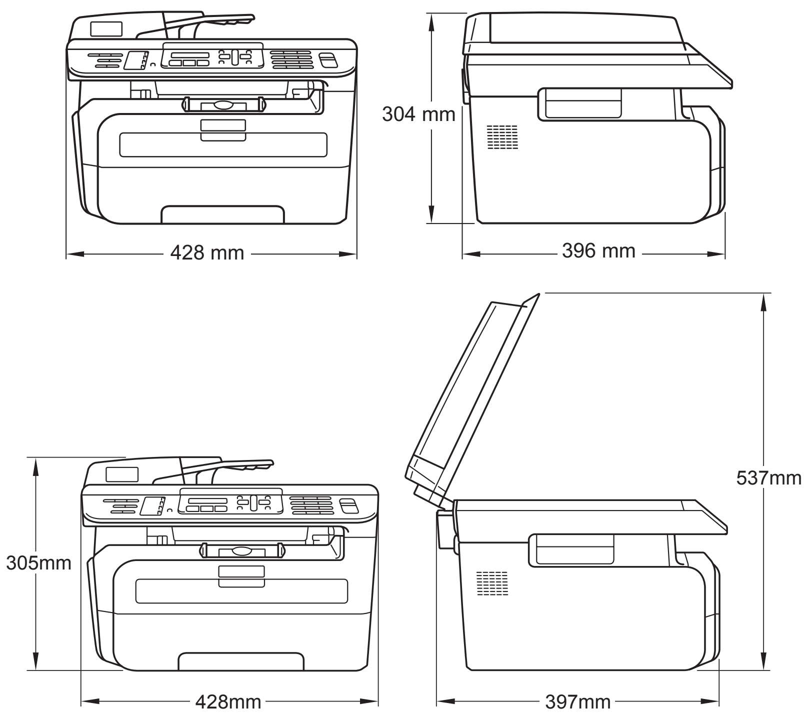
スキャナ解像度（光学解像度）	ADF使用時：600×600dpi 原稿ガラス使用時：600×2400dpi
階調	フルカラー　入力：24ビット、出力：24ビット グレースケール　256階調
読み取り速度	カラー：8秒/枚 モノクロ：5.3秒/枚

その他

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機 Apple社製Macintosh®のUSB ポート搭載機
対応 OS	Windows® 2000/XP/XP Professional x64 Edition、 Windows Vista® Windows Server® 2003（ネットワークプリントのみ） Mac OS® X 10.2.4以降

インターフェース	Full-Speed USB2.0 有線LAN：10/100BASE-TX（MFC-7840Wのみ） 無線LAN：IEEE802.11b/g（MFC-7840Wのみ）

電源と使用環境

使用環境	温度：10～32.5℃ 湿度：20～80%（結露なきこと）
電源	AC100V±10V　　50/60Hz
消費電力※1	待機時：平均80W ピーク時：840W コピー時：平均320W※2 スリープ時：MFC-7340：10W 　　　　　　MFC-7840W：12W
稼働音	待機時：32dB（A）以下　動作時：53dB（A）以下
メモリー容量	16MB (MFC-7340)、32MB (MFC-7840W)
外形寸法	
質量（消耗品を含む）	10kg

※1 電源スイッチが OFF でも電源プラグがコンセントに接続されているときは、1W 以下の電力が消費されます。
消費電力を0Wにするためには、電源スイッチで本製品の電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※2 原稿 1 枚に対してコピーを 1 枚したときの消費電力です。コピーの状況によって異なります。

消耗品

トナーカートリッジ※1	TN-26J	約2,600枚※2,3
ドラムユニット	DR-21J	寿命約12,000枚※4,5

※1 本製品に付属しているトナーカートリッジは1,000枚印刷が可能です。
※2 印刷可能枚数は JIS X 6931*（ISO/IEC 19752）規格に基づく公表値を満たしています。
* JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンタ用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。
※3 印刷の内容によって実際の印刷枚数と異なります。
※4 A4を1回に1ページ印刷した場合
※5 使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

補足

- 実際の印刷枚数は、使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数、印刷内容によって異なります。
- 外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

Wi-Fi認証について（MFC-7840Wのみ）

この製品は、Wi-Fi AllianceのWi-Fi製品IEEE802.11b/802.11g認証を受けています。Wi-Fi Alliance認証プログラムは、IEEE無線標準規格802.11を基準とした他メーカーの無線LAN製品と互換して機能することを保証します。Wi-Fi Allianceと認証製品については、http://www.wi-fi.org/を参照してください。

簡単無線LAN設定（MFC-7840Wのみ）

ご使用の無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS [1] (PBC [2])、SecureEasySetup™のいずれかに対応している場合、1つのボタンを押すだけで無線LAN設定ができます。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

1　Wi-Fi Protected Setup™

2　Push Button Configuration

補足

上記の機能に対応した製品には、次のいずれかのマークが表示されています。

動作環境

Windows®

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。
またサポートサイト（ブラザーソリューションセンター(http://solutions.brother.co.jp/)）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 2000 Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  64MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Home
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional x64 Edition
  64ビット（x64）プロセッサ
  256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ
- Windows Server® 2003
  32ビット（x86)プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows Vista®
  32ビット（x86）または64ビット（x64）プロセッサ
  512MB（推奨1GB）以上のシステムメモリ

補足

上記プロセッサの他、Intel®社互換プロセッサも使用できます。

ディスク容量

- Windows® 2000 Professional、Windows® XP Home/XP Professional/XP Professional x64 Edition
  460MB以上の空き容量
- Windows Server® 2003
  50MB以上の空き容量
- Windows Vista®
  1GB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Full-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
有線LAN：10BASE-T/100BASE-TX（MFC-7840Wのみ）
無線LAN：IEEE802.11b/g（MFC-7840Wのみ）

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- インストール時にはアドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

Macintosh®

本製品とMacintosh®を接続してお使いいただくには、以下の環境が必要になります。
またサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/メモリー

Mac OS® X 10.2.4～10.4.3/128MB（推奨256MB）以上
Mac OS® X 10.4.4以降/512MB（推奨1GB）以上

CPU

Mac OS® X 10.2.4～10.4.3、Power PC G4/G5、Power PC G3 350MHz
Mac OS® X 10.4.4以降、Power PC G4/G5、Intel® Core™ Processor

ディスク容量

480MBの空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Full-Speed USB 2.0（USB1.1対応のコンピュータでもご使用いただけます。）
有線LAN：10BASE-T/100BASE-TX（MFC-7840Wのみ）
無線LAN：IEEE802.11b/g（MFC-7840Wのみ）

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® X 10.2.3までをお使いの場合は、Mac OS® X 10.2.4以降へのアップグレードが必要となります。

用語集

あ

● **アイコン**
画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● **インターフェース**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® 2000/XP、Windows Vista®などで、インストール作業を半自動化してくれる機能です。

● **液晶ディスプレイ**
本製品の液晶表示パネルです。

● **オートマチックドライバインストーラ**
ネットワーク環境で本製品を使う場合、簡単にドライバをインストールできるツールです。付属のCD-ROMから操作できます。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

● **海外送信**
海外通信モードを設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておくと、確実に通信できます。

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **解像度**
画像を読み取る細かさ、あるいは印刷する際の画像のきめ細かさ（滑らかさ）を表す単位です。スキャナの場合は、1インチ（2.54cm）の寸法原稿を何画素で読み取れるかを表し、プリンタの場合は、印刷原稿1インチの寸法に何ドットで印字ができるかを表します。解像度が高くなるということは、画像を細かく読み取れたり、きめ細かく印刷できたりするということです。

● **機密ポーリング**
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。

● **キャリアシート**
新聞・雑誌の小さい切り抜きや、メモ書き、破れた原稿、反っている原稿などの状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーするときに使います。本製品で使用するときは、原稿台ガラス面をお使いください。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

● **公衆回線**
一般のアナログ電話回線です。

さ

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて本製品に接続されている電話機を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スタックコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1枚目を希望枚数分、2枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

● **スプリッタ**
ADSLという通信サービスを利用するときに必要な機器のひとつ。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。

● **セキュリティ IPフィルター**
ネットワーク上の指定したパソコンからのみ、本製品のアクセスやプリントを許可することができます。または、任意のパソコンからのアクセスや印刷を拒否することもできます。特定のパソコンからの印刷を拒否することで、印刷による機密情報の漏洩防止や、他のワークグループからの不正印刷防止による経費削減効果が期待できます。

● **セキュリティ印刷**
パソコンから文書の印刷を指示するとき、パスワードを設定して本製品のメモリーにデータを保存します。印刷するときは、本製品の操作パネルからパスワードを入力することで印刷ができます。機密文書などを印刷するときに活用できます。

● **セキュリティ機能ロック**
ユーザーごとにパスワードを割り当て、コピー／スキャナ／ファクス送受信／プリンタの利用を制限できる機能です。

● **ソートコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿1部すべてコピーした後、再度1ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

● **タイマー送信**
指定した時刻に送信する機能のことです。深夜や早朝など、電話料金が割引される時間帯を利用して通信すると経済的です。

● **ダイヤル制限**
ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限する機能です。ファクスを送信する前に番号を確認してから送ることができます。

● **タスクバー**
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **定着ユニット**
紙に転写されたトナーを熱で定着するところです。本製品のディスプレイでは「ヒーター」と表示されます。

● **手差しスロット**
本製品で記録紙トレイにセットできない種類やサイズの記録紙を設定できるスロットです。セットできる記録紙について詳しくは「記録紙について」のページを参照してください。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **電話呼び出し機能**
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● **同報送信**
ひとつの原稿のファクスの送信時に、複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。

● **トナー**
炭素を主成分とした粉末。画像の部分にトナーを付着させ、紙に転写し定着させることでコピーおよび印刷が行われます。

● **トナーセーブ（トナー節約モード）**
使用するトナーを節約して印刷する機能です。

● **ドライバ**
本製品に付属されているソフトウェア。パソコンと周辺機器の橋渡しを行います。プリンタドライバやスキャナ機能などを持っています。

● **取りまとめ送信**
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

な

● **ナンバー・ディスプレイサービス**
「ナンバー・ディスプレイサービス」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。ご利用になるには別途電話会社へのお申し込みが必要です。

は

● **ファクス転送**
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● **プリンタドライバ**
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● **ポーリング通信**
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿またはメモリーに蓄積されている原稿を自動的に送信させる機能です。

ま

● **メモリー送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー代行受信**
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

ら

● **リアルタイム送信**
データをメモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。原稿の枚数が多い場合でもメモリーオーバーすることなく送信できます。

● **リダイヤル**
相手先が話し中など、時間をあけて再びダイヤルをすることです。

● **リモート受信**
本製品に接続された電話機から本製品を操作する機能です。

● **リモートセットアップ**
本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。外出先の電話からリモート起動番号を入力することで、さまざまな設定を行えます。

● **ルータ**
ネットワーク間（LANとLAN、LANとWAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。

● ログオン（ログイン）
パソコンやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

● 2 in1
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4 in 1
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

A to Z

● ADF
自動原稿送り装置。コピー、ファクス、スキャンするときに、まとめてセットしておけば自動的に原稿を1枚ずつ送り、読み取ります。

● ADSL
通常の電話回線（アナログ回線）で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● BRAdmin Light/BRAdmin Professioal
ネットワークプリンタなどネットワークに接続されたデバイスの管理を行うことができるユーティリティソフトウェアです。付属のCD-ROMからインストールできるBRAdmin Lightは、IP取得方法やIPアドレスなどの設定ができます。より詳細な設定や管理ができるBRAdmin Professioalは、サポートサイトからダウンロードできます。

● CSV形式
Comma Separated Valueの略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。Microsoft Excel などの表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI
Dot Per Inchの略で、1インチ(2.54cm)幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM通信
Error Correction Modeの略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。送信側・受信側ともにECM 機能を持っていないとECM通信は行われません。

● FTP
File Transfer Protocolの略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのことです。

● JPEG
画像データを保存するファイル形式のひとつでJoint Photographic Experts Groupの略。写真などの圧縮に効果的な圧縮方式です。

● IPフォン
インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。

● ISDN
NTT が行っている総合デジタル通信網サービスです。「INS ネット64」では、デジタル回線で電話とファクスを同時に使用することができますので、アナログ回線2本と同様な使い方ができます。

● LAN
Local Area Networkの略で、同一のフロアやビルなどにあるコンピュータ同士を接続したネットワークのことです。

● OCR機能
Optical Character Readerの略。手書きの文字や印字された文字を光学的に読み取り、前もって記憶された文字のパターンと照合して文字を特定し、文字データに変換する機能のことです。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。Windows、MacもOSのひとつです。

● PC/AT互換機
IBM社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM. PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本ではDOS/Vパソコンとも言われます。

● PCファクス受信
受信したファクスをパソコンで画像データとして保存できる機能です。

● PCファクス送信
パソコンのアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● PDF
電子形式書類のひとつで、Portable Document Formatの略。PostScriptをベースとしたフォーマットで、Adobe Readerというソフトウェアを使用して閲覧できます。

- Presto!® PageManager®
  書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。プリンタドライバをインストール時に同時にインストールできます。また、付属のCD-ROMから個別にインストールすることもできます。
- Scan to 機能
  本製品でスキャンした原稿をネットワークを通じて送信することができる機能です。本製品では、スキャン to OCR、スキャン to FTPの機能を使用できます。
- TIFF
  画像データを保存する形式のひとつでTagged Image File Formatの略。データの型を表すタグによって、ひとつの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できます。
- TWAIN
  スキャナなどの画像入力装置と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェースに関する規格です。TWAIN対応の機器を使用するためには、TWAINドライバをパソコンにインストールする必要があります。
- USBケーブル
  USBは、Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源スイッチをONにしたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。
- Vcards（vcf形式）
  電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。
- WIA
  Windows Imaging Acquisitionの略でイメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。
- Windows® 2000/XP/ XP Professional x64 Edition、Windows Vista®
  Microsoft社が開発したOSで、それぞれXPは01年、XP Professional x64 Editionは05年、Vistaは2007年に発売されました。

索　引

■索引の使いかた

・このページでは、本書および「画面で見るマニュアル」で説明されている項目を検索できます。
　マークの付いた用語は、「画面で見るマニュアル」に詳しい説明や設定方法が記載されています。

・「画面で見るマニュアル」では単語を入力して検索する機能があります。「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の閲覧方法はP.3を参照してください。詳しい使い方は「画面で見るマニュアル（HTML形式）の表示画面と操作」P.24を参照してください。

こ

さ

し

す

せ

そ

た

Memo

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号

○ ○ ○ ＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3.「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が３回聞こえますので、もう１度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
メモリー受信を解除（※1）		951
ファクス転送に設定（※2）		952
電話呼び出しに設定（※2）		953
ファクス転送番号の登録・変更		954＋転送番号+##
メモリー受信を設定		956
ファクスの取り出し		962＋ダイヤル入力+##
ファクス消去		963
受信状況のチェック(※3)	ファクス	971

③

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電	981
	自動切替	982
	ファクス	983
終了		90

※1 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

④

〈キリトリ線〉

ご注文シート

・消耗品はお近くの家電量販店でも取扱いがございますが、弊社にてインターネット、電話、FAXによるご注文も承っております。
・FAXにてご注文される場合は下記にご記入の上、お申し込み下さい。
・配送料は、お買い上げ金額の合計が3,000円以上の場合は全国無料です。
・3,000円未満の場合は350円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
・納期については土日祝日長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
・配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

＜代引き＞ ・・・・・・・・・・・・・・ **ご注文後２～３営業日後の商品発送**
　※　配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。
＜お振込（銀行・郵便）＞・・・・・・・ **ご入金確認後２～３営業日後の商品発送**
　※　代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙等からお振り込み下さい）
　※　振込手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞ ・・・・・・・・ **カード番号確認後２～３営業日後の商品発送**

【ご注文先】

ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ
インターネット　：http://direct.brother.co.jp/shop/
携帯サイト　：右の二次元バーコードにアクセス　http://direct.brother.co.jp/
FAX　：052-825-0311
フリーダイヤル®　：0120-118-825　土・日・祝日、弊社長期休暇を除く
9:00 ～ 12:00、　13:00 ～ 17:00
振込先　口座名義：ブラザー販売株式会社ダイレクトクラブ
三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357
ゆうちょ銀行　振替口座番号　00860-1-27600

お客様ご住所　〒

お名前　　TEL　　FAX

お支払い方法　代引き・カード・銀行前振込

カード種類　① VISA　② JCB　③ UC　④ DINERS　⑤ CF　⑥ Master　⑦ JACCS

カード No.

カード名義人名　　有効期限　　年　　月

商品名	型番	単価(税込)	ご注文数	金額
トナーカートリッジ	TN-26J	8,190円		
ドラムユニット	DR-21J	12,600円		
			合計	

※配送料および消費税は変更の可能性があります。（消費税：2008年5月現在）
※必要な場合はコピーしてお使いください。
※トナーカートリッジとドラムユニットは用途が異なる消耗品で、分離可能な一体型となっています。
※ブラザーサービスパック、年間保守サービスをご購入されるお客様は、製品同梱の別紙「サービスパックのご案内」をご覧ください。

Memo

Memo

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

● 【お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）】
MFC製品のご質問と障害に関するご相談
TEL：0120-143-410
電話番号はおかけ間違いのないようご注意ください。
受付時間：月～金　9:00～20:00
　　　　　土　　　9:00～17:00
日曜日およびブラザーコールセンターの休日は休みとさせていただきます。
ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。
お客様相談窓口の情報は下記のサポートサイトにてご確認ください。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）：
http://solutions.brother.co.jp/
オンラインユーザー登録：
https://myportal.brother.co.jp/

● 消耗品ご注文窓口
ブラザー販売（株）情報機器事業部 ダイレクトクラブ
〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15-1
TEL:0120-118-825
（土・日・祝日、長期休暇を除く
　9:00～12:00　13:00～17:00）
FAX:052-825-0311
ホームページ：http://direct.brother.co.jp/shop/

- 純正消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
- 万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。

brother
〒467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
ブラザー工業株式会社

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口」にご連絡ください。
※ Presto!® PageManager® については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL:03-5472-7008　FAX:03-5472-7009　10:00 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

商標について

Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
Windows® XP Professional x64の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft Windows Vista® operating systemです。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OSは、Apple Inc.の登録商標です。
Pentium、Intel、Xeonは、米国Intel Corporationの登録商標です。
AMD Opteron、AMD Athlonは、Advanced Micro Devices社の登録商標です。
Presto!® PageManager® は、NewSoft Technology Corporationの登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

トナーカートリッジ・ドラムユニットは、当社指定品をご使用ください。当社以外の品物をご使用いただくと、故障の原因となる可能性があります。純正品のトナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。